

## 4 共同研究・学会等の活動状況

### 1 共同研究・受託研究（国内・外）の実施状況

#### （細胞情報学分野）

ホスホリパーゼ D の遺伝子発現（神戸大学理学部），線虫ホスホリパーゼ D の機能解析（名古屋大学大学院理学研究科・分子生物），EDG 発現 CHO 細胞の情報伝達機構解明（金沢大学医学部・生理学），スフィンゴシンキナーゼの組織分布（名古屋大学医学部・病態制御研究施設細胞），アポトーシスの分子機構解析（岐阜県国際バイオ研究所），ゲルゾリントランスフェクト線維芽細胞の機能解析（北海道大学医学部・癌研究所分子遺伝），リボザイムによるシグナル伝達分子の機能制御（通産省工業技術院），ホスホリパーゼ D 下流シグナルの解析（岐阜薬科大学・生化学），大腸がん細胞アポトーシスの分子メカニズム（近畿大学医学部・第一外科），抗血栓性素材の開発（岐阜大学工学部）

#### （分子病態学分野）

岡野幸雄，木村正志：Aurora キナーゼファミリーの機能解析（IGMCB, Univ. Strasbourg, 1999-；熊本大学医学部，1999-），岡野幸雄，吉岡孝，伊藤賢一，足立政治，高野幸彦：ユビキチン付加酵素の機能解析（東京薬科大学生命科学部，1997-；ヘリックス研究所，1999-）

#### （薬理病態学分野）

小澤 修：血液循環障害予防および/または治療用医薬用組成物およびその有効成分であるペプチドに関する研究（山之内製薬(株)創薬研究所，2000），糖尿病患者における血小板凝集能の検討（国立療養所中部病院，2002-）  
丹羽雅之：新規キノロン系抗菌薬グレパフロキサシンの白血球機能に及ぼす影響（大塚製薬(株)応用開発部，1998-），松野浩之：線溶系因子ノックアウトマウスに関する共同研究（近畿大学医学部第2生理学，1998-）血管肥厚と再狭窄のメカニズム（ベルギー，ルーバン大学医学部 Center for Molecular & Vascular Biology，1995-），血小板粘着とインテグリン機能（ベルギー，ルーバン大学薬学部 Laboratory for Thrombosis Research IRC，1995-）

#### （腫瘍病理学分野）

森 秀樹：ベーター・グルクロニダーゼ阻害剤の癌発生及び増殖抑制効果に関する研究（中外製薬，2000），天然抗酸化物質（トコフェロールとトコトリエロール）による発がん修飾作用（オリザ油化，2000-2001），米胚芽発酵生成物の発癌抑制に関する研究（玄米酵素，2000-），アスコフラノンによる大腸発がん修飾作用（アリジェン，2002-），パチカノール C による大腸発がん修飾作用（岐阜県国際バイオ研・遺伝子診断部，2002-），エゴマによる大腸発がん修飾作用（静岡県立大学環境科学研究所，2002-），セサミノール配糖体による大腸発がん修飾作用（名古屋大学大学院生命農学研，2002-），ミリストリンによる大腸発がん修飾作用（静岡県立大学薬学部衛生化学，2002-），廣瀬 善信：肥満関連因子の大腸発がん修飾作用（伏見製薬所，2003-）

#### （腫瘍総合外科学分野）

対象期間内に以下の受託研究を行った。

がん集学的治療研究財団特定研究 29「大腸癌肝転移に対する肝切除後の動注化学療法（WHF療法）の有効性に関する研究（第 相試験）」

塩野義製薬(株)「大腸癌肝転移に対する S-6820 後期第 相臨床試験」

日本ワイズレダリー(株)「I-LV・5-FU 療法市販後第 相臨床試験」

三菱ウェルファーマ(株)「ヘパリン生食キット製剤（Y-1223）の臨床試験」

#### （蛋白高次機能学分野）

恵良聖一，桑田一夫，村山幸一：分子分光法による血清アルブミンの高次構造に関する研究（岡崎国立共同研究機構・生理学研究所，1997-），ラマン分光法によるタンパク質の動的挙動に関する研究（関西学院大学・理学部・化学，1993-），桑田一夫：蛋白質フォールディング反応と 転移機構（大阪大学蛋白質研究所，1997-），プリオン蛋白質の構造・ダイナミクスと病原性（カリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF），2000-）

#### （神経高次機能学分野）

伊藤和夫，中村浩幸：サル・視覚連合野の解析（京都大学霊長類研究所，2000-），小野塚 實：高次脳機能の老化とその予防（神奈川歯科大学，2000-；藤田保健衛生大学医学部，2000-；東京都老人総合研究所，2000-），唾液腺癌と性ホルモンレセプター（神奈川歯科大学，2000-），頬粘膜内 受容器の加齢変化（東京歯科大学，2000-），磁気共鳴機能画像法（fMRI）及び陽電子放射断層法（PET）による記憶情報処理システムの解明（養老中央病院，2000-；早稲田大学人間科学部，2000-；京都府立医科大学，2000-）

#### （神経・老年学分野）

保住 功，松山善次郎，犬塚 貴：メタロチオネイン -3 の治療への応用にむけての研究（東京都老人総合研究所 老年病ゲノムグループ，東京都神経科学総合研究所 分子神経病理研究部門，2000-），保住 功，松山善次郎，犬塚 貴：メタロチオネイン -3 と筋萎縮性側索硬化症との関連性に関する研究（国立精神・神経センター国府台病院神経内科，2002-），保住 功，松山善次郎，犬塚 貴：メタロチオネイン -3，4 の局在に関する研究（名古屋大学医学部保健学科，

東北大学大学院薬学研究所生体防御薬学分野， 国立環境研究所環境健康領域，2000-)，松山善次郎，保住 功，犬塚 貴：P/Q 型電位依存性カルシウムチャネル異常による神経疾患の病態メカニズムの解明 (国立岡崎共同研究機構 生理学研究所 液性情報部門，鹿児島大学医学部第一生理，岡崎国立共同研究機構統合バイオサイエンスセンター生命環境研究領域細胞生理，1999-)，犬塚 貴，保住 功，松山善次郎：脳の損傷によって生じる抗神経組織抗体とその認識抗原に関する研究 (東京都老人総合研究所 老年病ゲノムグループ，2002-)

(脳神経外科学分野)

海外渡航助成金)平成 12 年度文部省海外研究開発動向調査派遣：岩間 亨，文部省高度先進医療開発経費)平成 12 年度 高度先進医療開発経費「脳血管拡張術における再狭窄予防法とその有効性及び安全性の指標の開発」：坂井 昇，文部省科学研究費補助金展開(B)坂井 昇：低酸素による神経細胞死におけるセラミドを中心としたアポトーシスシグナルの解明，文部省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)岩間 亨：ヒトグリオーマ細胞における Bax/Bcl-2 発現比の意義，文部省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)坂井 昇：主要血管の接着因子から検討した脳腫瘍の悪性化，文部省科学研究費補助金萌芽的研究)西村康明：実験的視床破壊後の神経回路代償機構に関する検討，文部省科学研究費補助金萌芽的研究)野田伸司：脳虚血時における細胞死シグナル伝達機構の調節に関する検討 - シグナル調節蛋白(14-3-3 蛋白質)の役割 - ，財団法人病態代謝研究会平成 13 年度研究助成金留学補助金)ネクローシス様形態を示すカスパーゼ非依存的プログラム細胞死の分子機構の解明：澤田 元史，平成 12 ~ 13 年循環器病研究委託事業 12 公 - 4 特殊な脳血管障害(脳動脈瘤，脳動静奇形，モヤモヤ病等)の遺伝子解析に関する研究 脳動脈瘤の遺伝子解析(エンドグリン遺伝子を中心として)代表者：坂井 昇・分担者：岩間亨，竹中 勝信，文部省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)腫瘍血管の接着因子から検討した脳腫瘍の悪性化 - 平成 12 ~ 平成 14 年：代表者：坂井 昇・分担者：篠田 淳，野田伸司，森 秀樹，村瀬 悟，竹中勝信，原 明，文部省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)C6 グリオーマ細胞の分化誘導時に発現する新規分泌型セリンプロテアーゼの機能解析 - 平成 13 ~ 平成 14 年：代表者：篠田 淳・分担者：郭 泰彦，野田伸司，坂井 昇，中島 茂，平成 13 年度岐阜大学活性化研究費)神経幹細胞の脳への移植に関する研究 - 中枢神経疾患モデルの応用 - 吉村 紳一，文部省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)腫瘍血管の接着因子から検討した脳腫瘍の悪性化 平成 12 ~ 14 年，代表者：坂井 昇・分担者：篠田 淳，吉村紳一，森 秀樹，文部省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)C6 グリオーマ細胞の分化誘導時に発現する新規分泌型セリンプロテアーゼの機能解析，平成 13 ~ 14 年：代表者：篠田 淳・分担者：郭 泰彦，吉村紳一，坂井 昇，中島 茂，文部省科学研究費補助金萌芽研究)脳移植を目指した新しい神経幹細胞培養システムの開発 平成 14 ~ 15 年，代表者：岩間 亨・分担者：吉村紳一，郭 泰彦，篠田 淳，矢野大仁，坂井 昇，文部省科学研究費補助金基盤研究(B)(2)，悪性脳腫瘍におけるアポトーシス関連因子操作による放射線感受性の増強，平成 14 ~ 15 年，代表者：岩間 亨・分担者：坂井 昇，篠田 淳，吉村紳一，中島 茂，坂野喜子，循環器病研究委託事業 12 公 - 4，特殊な脳血管障害(脳動脈瘤，脳動静脈奇形，モヤモヤ病)の遺伝子解析に関する研究， 脳動脈瘤の遺伝子解析(エンドグリン遺伝子を中心として) ，代表者：坂井 昇・分担者：岩間 亨，竹中勝信，吉村紳一，岐阜県脳医学研究振興補助金) fMRI による高次脳機能障害の診断法及び各種治療評価法の開発，代表者：桑田一夫・分担者：岩間 亨

(生体構造学分野)

早川大輔：海棲哺乳類の甲状腺および上皮小体の形態に関する共同研究(伊豆三津シーパラダイス)，胆嚢動脈の分布パターン解析(ドイツ・ヴェルツブルク大学)，陳 華岳，正村静子：老人性骨粗鬆症モデルマウス SAMP6 に対するチベット薬の効果(青海省藏医学院)，陳華岳：ラットを用いた，骨に関する実験形態学的研究(ユタ大学医学部放射線医学講座)

(生理機能学分野)

磁気共鳴イメージングによる自律神経中枢の同定：岡崎国立共同研究機構・生理学研究所 EMS を応用した末梢循環改善装置の開発：東光株式会社，アルドステロン産生中枢神経細胞と末梢自律神経系の関連：School of Medicine，Washington University，圧迫性船外活動宇宙服の開発：School of Medicine，University of California San Diego，タイ国東北部における食環境が腎結石発生に及ぼす影響：School of Medicine，Khon Kaen University

(消化器病態学分野)

森脇久隆：発癌予防に関する基礎的・臨床的研究(国立がんセンター，癌研究会，埼玉がんセンター，東京女子医科大学，1995-)，Columbia 大学(米国)，1997-)，金沢医科大学，日研化学(株)，1999-)，合成レチノイドによる肝発癌抑制(日研化学株式会社，1998-)，高齢者の栄養アセスメントと栄養治療に関する研究(椋山女学園大学，1998-)，劇症肝炎に関する研究(木曾川町，1997-)，奥野正隆：肝線維化の病態と治療に関する研究(理化学研究所，大阪市立大学，1994-)，Mount Sinai 大学(米国)1996-)，California 大学 Davis 校(米国)1999-)，TGF- $\beta$  活性化機構に関する研究(理化学研究所，2000-)，肝発癌抑制に関する研究(Columbia 大学(米国)，1999-)，肝疾患の分子病態解明に基づく新規治療・予防法の確立(理化学研究所)，永木正仁：HBV トランスジェニックマウスを用いた肝炎発症における免疫学的機序に関する研究(愛知医科大学，2002-)，肝細胞死における細胞内シグナル伝達に関する研究(North Carolina 大学(米国)，1999-2003，Columbia 大学，2003-)，パイオ人工肝臓の開発に関する研究(テルモ研究開発センター，1996-)，テグー大学(韓国)，1996-)，肝細胞分化機構に関する研究(長崎シーボルト大学，1999-)，応用生化学研究所，1999-)

(運動器外科学分野)

清水克時：郡上郡における大腿骨頸部骨折(郡上中央病院, 2001-2002), 清水克時：グローバルコンバインドシステムによる腰椎固定術隣接椎間への影響に関する研究(昭和医科工業株式会社, 2001-2003), 清水克時：関節炎滑膜, 軟骨からのカルパイン分泌に対する非ステロイド系抗炎症剤(NSAIDs)の影響(三共株式会社, 2001-2002)

(泌尿器病態学分野)

出口 隆：Sifloxacin (DU-6859) の Chlamydia trachomatis に対する抗菌活性の検討(第一製薬株式会社, 2000 - 2001) 石原 哲：尿路感染症分離菌感受性調査(武田薬品工業株式会社, 2002 - )

(女性生殖器学分野)

大学院生として,日本人医師7名,外国人9名(中国4名,パングラディッシュ4名,モンゴル1名)を中心に研究をすすめる,日本産婦人科学会,日本内分泌学会,日本不妊学会,日本癌治療学会,日本癌学会等で発表している。

(口腔病態学分野)

受託研究(大鵬薬品工業株式会社)(28,600円)ユーエフティの副作用症例調査:柴田敏之/土井田 誠  
共同研究(B)(大鵬薬品工業株式会社応用開発研究所)(10万円)口腔がん症例の化学療法における血中および組織中における5-FU代謝酵素活性についての検討:柴田敏之/土井田 誠・加藤恵三  
福島正和奨学寄付金(大日本製薬株式会社)(100万円)PGE1等の血管新生作用を応用した口腔癌に対する抗癌剤の抗腫瘍効果増強に関する実験的研究:柴田敏之/土井田 誠・藤塚秀樹・加藤幸弘・加藤恵三・吉田浩二郎  
奨学寄付金(大日本製薬株式会社)(50万円)PGE1等の血管新生作用を応用した口腔癌に対する抗癌剤の抗腫瘍効果増強に関する実験的研究:柴田敏之/土井田 誠・牧田浩樹・加藤恵三・吉田浩二郎・藤塚秀樹・加藤幸弘

(免疫病理学分野)

日ハンガリー科学技術協力協議:ハンガリーデブレツェン大学医学部臨床疫学 プロジェクト名:ヒト腫瘍の進展に関連する遺伝子変異の検討,株式会社東海細胞研究所,研究課題:新たなリンパ球加工法の開発

(感染制御学分野)

ブラストシスチスの遺伝子多型(奈良女子大学,1995-継続中)

(小児病態学分野)

近藤直実:免疫不全症の分子遺伝学的研究(Karolinska Institute,スウェーデン,1993-),BLMの核移行シグナルの同定(エイジーン研究所,1997-),BLMと協調的に働くタンパク同定(The Queensland Institute of Medical Research,オーストラリア,1998-),毛細血管拡張性失調症および Bloom 症候群の原因蛋白の機能・相互作用の解明(The Queensland Institute of Medical Research,オーストラリア,2000-),アトピーの病因遺伝子解明(Univ of Wales Swansea,英国,2000-),ムコ多糖症動物モデルの開発(St Louis Univ,米国,1999),小児気管支喘息患者と親または保護者の QOL(Quality of life)調査票改訂版の開発(三菱化学医療カンパニー,1998-),免疫アレルギー疾患病因蛋白質の立体構造解析(奈良先端科学技術大学院大学,1997-),アトピー疾患の病因病態解明(順天堂大学,2000-),アレルギー疾患における抗原呈示細胞-抗原-T細胞の相互作用(熊本大学,1997-),毛細血管拡張性失調症の解明(St.Jude Childrens Reseach Hospital 米国,2001-),アトピー疾患の病因病態解明(日本大学,2001-)免疫アレルギー疾患病因蛋白質の立体構造解析(横浜市立大学総合理学研究科生体超分子計測科学研究室,2002-)ハンター症候群ナチュラルヒストリー調査 多国籍多施設長期観察試験(Transkaryotic Therapies Inc Combridge,MA,USA,日本ケミカルリサーチ社,2002-),ハンター症候群患者とその血縁者の遺伝子異常に関する研究(日本ケミカルリサーチ社,2003-)

鈴木康之:ペルオキシソーム病の病因(信州大学医学部生化学,1985-),副腎白質ジストロフィーの病態と治療(Johns Hopkins Univ,米国,1990-,新潟大学・九州大学・東海大学・富山医科薬科大学,1999-),プラスマローゲン代謝異常(Amsterdam Univ,オランダ,1996-),ハンター症候群ナチュラルヒストリー調査 多国籍多施設長期観察試験(Transkaryotic Therapies Inc Combridge, MA, USA,日本ケミカルリサーチ社,2002-),ハンター症候群患者とその血縁者の遺伝子異常に関する研究(日本ケミカルリサーチ社,2003-)

下澤伸行:ペルオキシソーム欠損症病態解明(1992-アムステルダム大学,オランダ),ペルオキシソーム形成機構(姫路工業大学理学部生命科学,1994-),遺伝性ペルオキシソーム欠損症の病因解明(九州大学理学部生物学,1994-),遺伝性ペルオキシソーム欠損症の相補性解析(Amsterdam Univ,オランダ,1994-),ペルオキシソーム欠損症温度感受性現象の解明(1996-姫路工業大学大学院理学研究科生命科学専攻細胞機能学分野),ペルオキシソーム病モデルマウスの作成(St Louis Univ,米国,1999-),新規ペルオキシソームタンパクの同定(2001-富山医科薬科大学薬学部分子細胞機能学,徳島大学分子酵素学研究センター-酵素分子生理学部門),オルガネラプロテオミクスに基づくペルオキシソーム形成とその障害の分子機構の解明(2001-徳島大学分子酵素学研究センター-酵素分子生理学部門),新規ペルオキシソームタンパクの同定(徳島大学分子酵素学研究センター,2002-),ペルオキシソーム形成機構の解明(宇都宮大学遺伝子実験施設,2002-),高橋幸利:グルタミン酸受容体による中枢神経系障害の早期診断・治療(東京大学,1996-),異種文化圏間の色彩認識差の科学的解析とマルチメディア環境下における色彩伝達への応用(京都工芸繊維大学,1997-),テレビ・パソコン等のCRT映像による光感受性発作防止のための基礎的研究(京都工芸繊維大学・静岡東病院,1998-)

金子英雄:Chediak-Higashi 症候群の病因遺伝子の機能解析(信州大学1999-),ATMとBLMの会合(The Queensland Institute of Medical Research,オーストラリア,2000-),IgG欠損症の解析(横浜市立大学小児科2001-)

深尾敏幸： - ケトチオラーゼ欠損症，サクシニル-CoA:3-ketoacid CoA トランスフェラーゼ欠損症の病因解析（島根医科大学小児科 1994-，福井医科大学小児科 2001-，Laboratory of Protein Informatics, 大阪大学蛋白質研究所 1997-，Hopital Sainte-Justine, カナダ 1994-，Dpto Biologia Molecular. Fac. de Ciencias, Universidad Autnoma de Madrid, スペイン 1994-，Lab Genetic Metab, Universiteit van Amsterdam オランダ 1994-，Department of Molecular and Medical Genetics, Oregon Health & Science University アメリカ 1994-，Department of Biochemistry and Biocenter Oulu, University of Oulu, フィンランド 2000-），ミトコンドリア 酸化系異常症の病因解析（島根医科大学小児科 1994-，Lab Genetic Metab, Universiteit van Amsterdam オランダ 1994-），Ataxia-Telangiectasia の病因病態解析（Queensland Institute of Medical Research, オーストラリア 1997-）

祐川和子：ムコ多糖症の分子病態解析とモデルマウス作成（St Louis Univ，米国，1995-），Sulfatase 酵素蛋白質の構造と機能解析（大阪大学蛋白質研究所，1998-），リソソ - ム病の骨髄移植治療（東海大学小児科，1986-）

伊上良輔：アレルギー疾患における抗原呈示細胞 - 抗原 - T 細胞の相互作用（熊本大学，1997-）

加藤善一郎：免疫アレルギー疾患病因蛋白質の立体構造解析（奈良先端科学技術大学院大学，1997-），サイトカインレセプターのアンタゴニストペプチドの研究（ファルマデザイン，1999-，大阪大学蛋白質研究所，2000-），アレルギー治療ミルクの開発（ビーンスターク・スノー，2002-）

（皮膚病態学分野）

天疱瘡に関する研究：慶応大学皮膚科，サンフランシスコ大学皮膚科

（麻酔・蘇生学分野）

過去の3年間に，新しい鎮痛薬（カブサイシン軟膏），麻酔補助薬（dexmedetomidine），新しい経口オピオイド（オキシコドン），鎮静薬（集中治療中の患者，ミダゾラム），新しい局所麻酔薬（ロピバカイン）など，数件の受託研究を受けてきた。特に麻酔補助薬（dexmedetomidine）と新しい局所麻酔薬（ロピバカイン）は現在，臨床使用されている。

（疫学・予防医学分野）

清水弘之：ヒトがんの環境・宿主要因に関する疫学的研究（名古屋大学医学部，2000-），Japan/Hawaii mammographic density study（ハワイ大学，2000-2001），乳がん，大腸がんの家族内集積性に関する研究（大阪大学医学部 2000-2001），インフルエンザ予防接種のEBMに基づく政策評価に関する研究（大阪市立大学大学院医学研究科 2002-），永田知里：HPV感染と子宮頸部発がんに関するコホート研究（筑波大学臨床医学系，2000-），生涯を通じた健康管理・保持増進のための健康教育・相談支援等の充実に関する研究（順天堂医学部，2002-），乳がん，大腸がんの家族内集積性に関する研究（大阪大学医学部，2002-），大規模地域・職域健診データに基づくがん予防とがん対策への活用と評価（名古屋市立大学大学院医学研究科，2002-），Determinants of breast density in three populations（ハワイ癌センター，2003-）

（法医学分野）

大谷 勲，武内康雄：薬物代謝酵素の組織化学的研究（岐阜薬科大学，継続中）

大谷 勲，武内康雄，永井 淳：歯牙 X 線写真の高次局所自己相関特徴を用いた個人識別に関する研究（岐阜大学大学院医学研究科再生医科学専攻再生工学講座知能イメージ情報分野，2001- 継続中）

武内康雄，永井 淳：ヒトの神経伝達関連遺伝子の多型解析に関する研究（岐阜大学農学部生物資源生産学科学多様性生物学講座遺伝資源学分野，2003- 継続中）

（スポーツ医科学分野）

高地トレーニングに関する研究については県からの依頼事業であり，研究成果ならびに競技選手の成績の向上に大変貢献している。

（臨床検査医学分野）

清島 満，斉藤邦明，山田泰弘，和田久泰，前田悟司，竹村正男，古田伸行，紀ノ定保臣：次世代臨床検査情報システムに関する研究（臨床検査におけるナレッジ・マネージメント）（株）エイアンドティー，2001-2004）

（放射線・腫瘍・画像医学分野）

Kanematsu M, Kondo H, Semelka RC, Matsuo M, Goshima S, Hoshi H, Moriyama N, Itai Y. Early-Enhancing Non-Neoplastic Lesions on Gadolinium-Enhanced MR Imaging of the Liver. Clin Radiol 2003 (in press)（ノースカロライナ大学，国立がんセンター中央病院）

Kanematsu M, Matsuo M, Yamada Y, Semelka RC, Kondo H, Goshima S, Hoshi H, Moriyama N. Perilesional hyperintense rim of malignant hepatocellular tumors on ferumoxide-enhanced T1-weighted gradient-echo MR images: correlation between MR imaging and histopathologic findings. J Magn Reson Imaging 2003;18:40-48（ノースカロライナ大学）

Matsuo M, Kanematsu M, Kim T, Hori M, Takamura M, Murakami T, Kondo H, Moriyama N, Nakamura H, Hoshi H. Esophageal varices: diagnosis with gadolinium-enhanced MR imaging of the liver for patients with chronic liver damage. Am J Roentgenol 2003;180:461-466（大阪大学）

Goshima S, Kanematsu M, Yamada T, Kondo H, Matsuo M, Osada S, Nakashima O, Moriyama N, Hoshi H. Small scirrhous hepatocellular carcinoma with central scar: MR imaging findings. J Magn Reson Imaging 2002;16:741-745（久留米大学，国立がんセンター中央病院）

Kanematsu M, Semelka RC, Matsuo M, Kondo H, Enya M, Goshima S, Hoshi H. Gadolinium-enhanced MR imaging of the liver: optimizing imaging delay for hepatic arterial and portal venous phases—a prospective randomized study in patients with chronic liver

damage. Radiology 2002;225:407-415 (ノースカロライナ大学)

Zhang X, Fujita H, Hara T, Kondo H, Kanematsu M, Li W, Jiang H. Segmentation of liver region in dynamic MR imaging. Technical Report of IEICE 2002;MI2001-66 (2002-01):49-54 (岐阜大学工学部)

Matsuo M, Kanematsu M, Itoh K, Ito K, Maetani Y, Kondo H, Kako N, Matsunaga N, Hoshi H, Shiraishi S. Detection of Malignant Hepatic Tumors: Comparison of Gadolinium- and Ferumoxide-enhanced MR Imaging. American Journal of Roentgenology 2001;177:637-643 (京都大学, 山口大学)

Zhang X, Kanematsu M, Fujita H, Hara T, Hoshi H. Computerized classification of liver disease in MRI using artificial neural network. Proceedings of SPIE 2001;4322:1735-1742 (岐阜大学工学部)

Kondo H, Kanematsu M, Shiratori Y, Murakami T, Itoh K, Hori M, Moriwaki H, Nakamura H, Hoshi H. MR Cholangiography with Volume Rendering: receiver-operating-characteristic curve analysis in patients with Choledocholithiasis. American Journal of Roentgenology 2001;174:947-954 (大阪大学, 京都大学)

Matsuo M, Kanematsu M, Inaba Y, Matsueda K, Yamagami T, Kondo H, Arai Y, Hoshi H. Preoperative detection of malignant hepatic tumours: value of combined helical CT during arterial portography and biphasic CT during hepatic arteriography. Clinical Radiology 2001;56:138-145 (愛知県がんセンター)

Kanematsu M, Hoshi H, Itoh K, Matsuo M, Maetani Y, Ametani F, Kondo H, Kato H. Malignant hepatic tumor detection with ferumoxides-enhanced MR imaging with a 1.5-T system: comparison of four imaging pulse sequences. Journal of Magnetic Resonance Imaging 2001;13:249-257 (京都大学)

Matsuo M, Kanematsu M, Murakami T, Kim T, Hori M, Kondo H, Nakamura H, Hoshi H. T2-weighted MR imaging for focal hepatic lesion detection: supplementary value of breath-hold imaging with half-fourier single-shot fast spin-echo and multishot spin-echo echoplanar sequences. Journal of Magnetic Resonance Imaging 2000;12:444-452 (大阪大学)

Hori M, Murakami T, Kim T, Kanematsu M, Tsuda K, Takahashi S, Takamura M, Hoshi H, Nakamura H. Single breath-hold T2-weighted MR imaging of the liver: value of single-shot fast spin-echo and multishot spin-echo echoplanar imaging. American Journal of Roentgenology 2000;174:1423-1431 (大阪大学)

Inaba Y, Arai Y, Kanematsu M, Takeuchi Y, Matsueda K, Yasui K, Hoshi H, Itai Y. Revealing hepatic metastases from colorectal cancer: value of combined helical CT during arterial portography and CT hepatic arteriography with a unified CT and angiography system. American Journal of Roentgenology 2000;174:955-961 (愛知県がんセンター)

Kondo H, Kanematsu M, Hoshi H, Murakami T, Kim T, Hori M, Matsuo M, Nakamura H. Preoperative detection of malignant hepatic tumors: comparison of combined methods of MR imaging with combined methods of CT. American Journal of Roentgenology 2000;174:947-954 (大阪大学)

後藤裕夫: 食道胃接合部の画像診断 (神戸大学大学院医学系研究科 放射線医学講座, 神戸, 2002)

(産業衛生学分野)

井奈波良一: 運動及び健康食品のマウス免疫機能に及ぼす影響 (岐阜薬科大学, 1996-)

(東洋医学講座 (ツムラ))

厚生労働科学研究費補助金 (長寿科学総合研究事業)

「関節リウマチに対する鍼灸治療の多施設ランダム化比較試験に関する研究」2000年7月から2003年3月までの3年間

主任研究者: 山本一彦 東京大学大学院医学系研究科内科学専攻 教授

分担研究者

磯部秀之 東京大学大学院医学系研究科内科学専攻 助手

沢田哲治 東京大学大学院医学系研究科内科学専攻 助手

粕谷大智 東京大学医学部技官

藤原久義 岐阜大学大学院医学研究科再生医科学・循環・呼吸・腎臓内科 教授

赤尾清剛 岐阜大学医学部東洋医学講座 助教授

鈴木輝彦 埼玉医科大学内科学 教授

山口 智 埼玉医科大学内科学 研究生

代田文彦 東京女子医科大学東洋医学研究所 教授

吉川 信 東京女子医科大学東洋医学研究所 研究生

(組織・器官形成統御部門)

株式会社ライオンとの共同研究「白髪の発生の分子機構」, 2001年より継続中

株式会社サントリーとの共同研究「ストロマ細胞の発現する機能分子のDNAアレーによる探索」, 2002年より継続中

株式会社資生堂との共同研究「毛の再生治療モデルの確立」, 2003年より継続中

東京理科大学理工学部 菊池研究室との技術協力「iBoneを用いた最適設計法の開発」, 2000年より継続中

岡山大学歯学部 山本研究室との共同研究「有限要素法による、骨微細形態シミュレーション」, 2003年より継続中

東京大学医科学研究所 中内研究室との共同研究「M83 遺伝子のノックアウトマウスの作成」, 2002年より継続中

その他学内臨床科との共同研究3件が継続中

(高次神経・反射部門)

川島卓：両側上肢運動時にサル大脳神経活動で観測される同期周期活動の研究(米国ワシントン大学地域霊長類研究センターとの共同研究)

(微生物・バイオインフォマテイクス部門)

共同研究：2000年度5件，2001年度0件，2002年度4件，2003年度3件

受託研究：2000年度3件，2001年度0件，2002年度2件，2003年度2件

(生命機能分子設計部門)

受託研究：脳内 IP2 受容体選択的リガンドの開発：藤沢薬品工業株式会社，3,000 千円(2001 年度)

共同研究：新規プロスタグランジンリガンドの神経作用：エーザイ(株)筑波研究所，財団法人大阪バイオ研究所，150 千円(2000 年度)

新規中枢型 PGI2 受容体作用物質の探索研究：藤沢薬品工業株式会社，100 千円(2001 年度)

(知能イメージ情報部門)

(財)ソフトピアジャパンからの受託研究(平成 11 - 13 年度)「医療画像診断のための高度知能情報システムに関する研究」など

(再生応用(循環器内科学)部門)

塩酸セリプロロールの心筋梗塞およびアポトーシスに及ぼす影響(2000-2001)

心筋梗塞後の心血管イベント発生に関する研究 - 遮断薬とCa拮抗薬との比較 - The Japanese Betablocker and Calcium antagonist in myocardial infarction (JBCMI) study (1998-2001)

経口血糖降下薬 miglitol の狭心症に対する効果について(2002)

コロニー刺激因子を用いた閉塞性動脈硬化症に対する非侵襲性再生医療の開発(2002)

厚生労働省健康科学総合研究:わが国の冠動脈疾患に対する薬物・インターベンション治療の予後とコスト(2000-2002)

厚生科学研究:急性心筋梗塞およびその他の虚血性心疾患の診療情報の整理に関する研究(1999-2000)

厚生労働科学研究特定疾患対策研究:特発性心筋症に関する調査研究班(2000-2002)

CASE-J プロトコルに基づく研究(2001-2002)

川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(2001-2002)

(倫理・社会医学部門)

平成 14(2002)年度は，文部科学省科学研究費補助金「人体利用に関する生命倫理基本法研究プロジェクト」(研究代表 北海道大学大学院法学研究科 東海林邦彦教授)から研究協力者として研究に参画するよう要請があり，プロジェクトに参加した。その他，民間の研究機関など外部団体との共同研究ならびに受託研究の実績はなかった。

(輸血部)

輸血副作用の病因検索；日本赤十字血液センター(東京都赤十字血液センター・名古屋および岐阜血液センター)

(総合診療部)

石塚達夫，森田浩之，梅本敬夫，宇野嘉弘：過疎地域に於ける生活習慣病の在宅モニタリングによる疫学的研究とアミノ酪酸富化胚芽米摂取による生活習慣病への効果(㈱イセツト，2000-2001)，石塚達夫，森田浩之，宗友厚：SNK-860 第 2 相二重盲検群間比較試験(糖尿病性神経障害)の追加調査(㈱エヌケーキューレックス，2001)，石塚達夫，森田浩之，梅本敬夫，宇野嘉弘：過疎地域に於ける生活習慣病の疫学的研究と音声による脳の疲労度分析(㈱イセツト，2002)

(医療情報部)

梅本敬夫：過疎地域における高齢農業従事者の生活習慣病予防を目的とした JA 健康管理システム(イセツト株式会社，2000-)

紀ノ定保臣：MRI を用いた心筋壁運動の解析(三重大学工学部，2000-)，MRI を用いた合成高分子ゲルの性状分析(名古屋工業大学，2000-)，電子カルテシステムにおける患者生体情報管理システムの研究(株式会社テクノアスカ，日本光電工業株式会社，日本ダイナシステム株式会社，株式会社ティー・エス・エス，2001-2003)

(薬剤部)

片桐義博 杉山 正：薬物代謝酵素の精製と分類に関する研究(岐阜薬科大学・薬剤学，1994-)，Dihydrodiol dehydrogenase の性状と機能に関する研究(岐阜薬科大学・生化学，1997-)，内皮細胞結合型活性酸素消費酵素に関する研究(岐阜薬科大学・臨床薬剤学，1998-)，片桐義博，杉山 正，林 秀樹：抗癌剤の薬物相互作用に関する細胞生物学的研究(北海道薬科大学・薬剤学，2000-)

(生体支援センター)

共同研究：国立大学医学部附属病院共通ソフトウェア開発「感染症管理システム」

群馬大学主管に岐阜大学，岡山大学，新潟大学と共同開発(平成 13 年度～)

受託研究：HIV 感染者等保健福祉相談推進研究

財団法人エイズ予防財団より(厚生労働省委託事業)(平成 13 年度～)

厚生科学研究費補助金：薬剤耐性菌発生動向のネットワークに関する研究班

東邦大学主管の全国研究班に参加(平成 9 年度～)

(医学教育開発研究センター(全国共同利用施設))

鈴木康之, 高橋優三: 放射線診断教育システム(ソフトピアジャパン共同研究, 株式会社ティー・エス・エス, 2002)

高橋優三, 鈴木康之: 知的クラスター創成事業, パーチャル患者ロボットの作成(文部科学省, 岐阜県, 2002-)

鈴木康之: インターネットを利用した日英間の相互医学教育システムの構築(エジンバラ大学, 2003-)

受託研究受入状況 (単位 円)

年 度	受入件数	歳入額
平成 10 年度	29	65,743,093
11 年度	25	108,730,400
12 年度	22	40,878,000
13 年度	15	20,756,250
14 年度	19	73,767,000

共同研究受入状況 (単位 円)

年 度	受入件数	歳入額
平成 10 年度	2	4,870,000
11 年度	7	49,790,800
12 年度	7	61,009,000
13 年度	10	45,264,200
14 年度	21	41,684,000

医薬品等受託研究費受入状況 (単位 円)

年 度	受入件数	歳入額
平成 10 年度	130	107,034,617
11 年度	112	87,614,893
12 年度	105	109,495,603
13 年度	92	80,812,409
14 年度	92	76,396,685

## 2 研究費の状況

細胞情報学分野 文部科学省・基盤研究(C)中島 茂: 線虫ホスホリパーゼDスーパーファミリーの機能解析(2000-2002, 代表), 基盤研究(C)坂野喜子: 新規伝達物質スフィンゴシン1-リン酸の産生機構と受容体を介するシグナル伝達機構(2000-2002, 代表), 基盤研究(B)坂野喜子: 膜脂質シグナリングによるアポトーシス誘導・制御機構の解明(2000-2002, 分担), その他・全国牛乳普及協会牛乳栄養学術研究助成金, 坂野喜子: 白血病細胞アポトーシス誘導新規ラクトフェリン分解産物の同定とその生理機能解明(2000)

分子病態学分野 文部省科学研究費補助金特定領域研究(C)(2), 岡野幸雄, 木村正志, 吉岡孝: AIK キナーゼファミリーの癌細胞における発現と機能(2000). 基盤研究(C)(2), 吉岡孝, 岡野幸雄, 木村正志: AIK ファミリーの正常および癌組織での発現(2000-2001). 奨励研究(A), 木村正志: ヒトAIK ファミリータンパク質の細胞分裂における機能の解析(2000-2001). 特定領域研究(C)(2), 岡野幸雄, 木村正志, 吉岡孝: AIK キナーゼファミリーの癌細胞における発現と機能解析(2001). 基盤研究(C)(2), 岡野幸雄, 吉岡孝, 木村正志: ステロイド受容体のユビキチン化の分子機構(2001-2002). 特定領域研究(C)(2), 岡野幸雄, 木村正志, 吉岡孝, 武藤吉徳: ヒト Aurora および細胞分裂関連蛋白質の機能解析(2002)

薬理病態学分野 文部科学省・基盤研究 B, 小澤 修(分担): 網膜中心動脈の血栓性閉塞・溶解による新たな虚血再灌流モデルと薬理的神経細胞死制御(2000-2001) 基盤研究 C, 小澤 修(代表): 分子シャペロン, p20 の血小板凝集抑

制作用に関する研究 (1999-2001). 基盤研究 C, 松野浩之 (代表): 静脈血栓由来肺塞栓の病態解明と予防・制御: 治療薬開発への薬理学的アプローチ (2001-2002) 基盤研究 C, 丹羽雅之 (代表): 線溶系関連遺伝子制御による虚血性神経細胞死の予防・防御に関する基礎的研究 (2001-2002) 基盤研究 C, 小澤 修 (代表): 遺伝子ノックアウトマウスを用いた急性冠症候群における線溶系因子の分子基盤の解析 (2002-2003) 基盤研究 C, 松野浩之 (代表): 再生医療におけるプラスミンの VEGF 制御機構の意義と役割の解明: (2-antiplasmin 欠損マウスを用いての創薬への可能性追求と薬理学的アプローチ (2003-2004), その他・精神神経・血液医薬研究財団血液医学研究助成金, 松野浩之 (代表): 低分子量 Heat Shock Protein (HSP) -20 の生理的意義の探求 (2000) 財団法人成長科学協会助成金, 小澤 修 (代表): 骨の成長におけるストレス蛋白質の役割の解析 (2002) 金原一郎記念医学医療振興財団, 松野浩之 (代表): 線溶系阻害因子 (Serpins) の血栓形成における役割の解析: 新規血栓治療薬としての可能性 (2002)

腫瘍病理学分野 文部省基盤研究 (B) (2), 森 秀樹: カテニン蛋白蓄積大腸異常陰窩巣を指標とするヒト大腸前癌性に関する研究 (2001-2002, 代表) 厚生省がん研究助成金, 森 秀樹: 発がん過程におけるアポトーシスの役割とその治療への応用に関する研究 (2000, 分担) がん研究助成金, 森 秀樹: ラット大腸発がんにおけるアポトーシスの役割 (2001-2002, 分担) がん研究助成金, 森 秀樹: 個体レベルでの発がん予知と予防に関する基礎的研究 (2002, 分担) がん研究助成金, 吉見直己: 大腸がん予防検索モデルの検討 (2000, 分担) がん研究助成金, 原 明: 肝がん及び乳がん発生に対する食品中の抑制要因とその作用機序に関する研究 (2001-2002, 分担) 食品・化学物質安全総合研究, 廣瀬善信: 反復投与毒性や発がん性試験等の実施による既存添加物の安全性評価に関する研究 (2002, 分担) がん研究助成金, 山田 泰広: 動物モデルを用いた大腸前癌病変における遺伝子・エピジェネティック変異の研究 (2001-2002, 分担)

腫瘍総合外科学分野 対象期間内に以下の科学研究費補助金を交付された。文部省 萌芽的研究 担癌生体末梢血中の樹状細胞の抗原提示機能の評価方法の開発。文部科学省基盤研究 (B) (2) 消化器癌症例における末梢血樹状細胞の抗原呈示機能増強法の開発とその臨床応用。文部科学省 基盤研究 (C) (2) 癌の染色体不安定性に關与する HsAIRK と PLK 遺伝子の解析とその臨床応用。文部科学省 萌芽的研究 新しく開発したコラーゲンゲル法を用いたアポトーシスによる抗癌剤感受性試験の試み。文部科学省 萌芽的研究 ラット自然高肺転移モデル (GKS-HL) を用いた LEM の転移抑制効果に関する検討

蛋白高次機能学分野 文科省・基盤研究 (C) (2) 桑田一夫: ファンクショナル MRI による大脳機能部位間の時間相関の研究 (1998 ~ 2000) 文科省・基盤研究 (B) 桑田一夫: 蛋白質のフォールディング反応と機能発現における転移反応の役割 (1999 ~ 2001) 文科省・大学院創造性開発推進経費 桑田一夫: 蛋白質の立体構造解析 (2000) 文科省・大学院創造性開発推進経費 桑田一夫: ファンクショナル MRI による立体視の研究 (2001) 文科省・基盤研究 (C) (2) 恵良聖一: 生体組織内の生体高分子に対する結合水の可視化とその臨床応用 (2001 ~ 2002) 文科省・大学院創造性開発推進経費 桑田一夫: 蛋白質立体構造に基づくドラッグ・デザイン (2001) 文科省・基盤研究 (B) (2) 桑田一夫: アミロイドーシスの高圧予防・治療法の開発 (2001) 文科省・高度先進医療開発経費 桑田一夫: 免疫・アレルギー疾患病因タンパク質立体構造に基づいた構造生物学的創薬による治療法の確立 (2001) 文科省・基盤研究 (B) (1) 桑田一夫: 広い構造空間における新しい蛋白質概念の確立とその応用 (2002) 文科省・特定領域研究 (2) 桑田一夫: プリオン活性型立体構造に基づくプリオン予防・治療薬の開発 (2002) 文科省 桑田一夫: タンパク 3000 代謝系グループに参加 (2002 ~ ) 文科省・若手研究 B 寺田知新: 分類不能型免疫不全症の病因遺伝子の網羅的解析と診断・治療への応用 (2003), その他岐阜大学活性化研究費 桑田一夫: プリオン立体構造に基づくプリオン病予防・治療薬の開発 (2001) 岐阜県脳医学研究振興補助金 桑田一夫: fMRI による高次機能障害の診断法及び各種治療法の開発 (2002)

神経高次機能分野 中村浩幸, 文部科学省・基盤研究 (C) (2): 霊長類頭頂連合野における三次元空間視覚から運動空間構成に關与する神経回路 (2000-2002, 代表) ブレインサイエンス振興財団研究助成金: 多重三次元空間情報の脳内処理と神経回路 (2002) 小野塚實, 文部科学省・基盤研究 B (展開研究): 高齢化社会におけるヒトの加齢変化に關連する咀嚼機能の役割 -fMRI 機能画像法による解析 (2000-2002, 分担) 文部科学省・基盤研究 (B) (2): 咬合咀嚼刺激による高齢者の知的機能回復の解明 (2002-, 代表) 藤田雅文, 文部科学省・萌芽研究: 高齢期における適切な義歯装着と痴呆予防の關連性 -fMRI 法による解析 (2002-, 代表)

神経・老年学分野 文部科学省・奨励研究 A, 松山善次郎: P/Q 型電位依存性カルシウムチャネル異常による神経疾患の病態メカニズムの解明 (2000-2001) 文部科学省・基盤研究 C 犬塚 貴, 保住 功, 松山善次郎: 脳の損傷によって生じる抗神経組織抗体とその認識抗原に関する研究 (2001-2002) 平成 12 年度三井住友福祉財団研究基金, 保住 功, 犬塚 貴, 松山善次郎, 内田洋子: 高齢モデル動物における脳組織傷害と修復機構および治療に関する研究 (2000) 平成 12 年度 臨床薬理財団研究助成金, 松山善次郎, 保住 功, 犬塚 貴: Ca チャネル異常による神経疾患の薬物治療 (2000) 第 14 回金原一郎医学医療振興財団研究交流助成金, 松山善次郎 (2000) 平成 13 年度精神神経疾患研究基金, 保住 功: 神経

幹細胞を用いた頭部外傷後の神経回路網の形成に関する研究と老年痴呆への応用に向けての検討(2001)平成14年岐阜大学活性化研究費, 保住 功, 松山善次郎, 西田 浩, 林 祐一, 橋爪龍磨, 渡部和彦, 内田洋子, 犬塚 貴: ヒトメタロチオネイン-3 遺伝子の遺伝子多型とアルツハイマー病と筋萎縮性側索硬化症の疾患感受性と臨床所見との相関性に関する研究(2002)平成14年 ALS 基金研究奨励金, 保住 功, 内田洋子, 渡部和彦, 吉野 英: ALS の発症, 症状進展におけるメタロチオネイン-3 の役割の解明に関する研究(2002)

平衡・耳鼻咽喉科学分野 文部科学省・基盤研究(B)(2), 伊藤八次, 水田啓介, 青木光広, 松波謙一, 山田宏尚: ヒトの視性・前庭性空間認知感覚中枢の脳波双極子追跡法による研究(2002-2003). 基盤研究(C)(2), 水田啓介, 青木光広, 伊藤八次, 桑田一夫: 視覚の運動認知と空間認知の統合過程の検討 視運動刺激を用いた functional MRI による大脳活動の計測(2000-2001). 基盤研究(C)(2), 水田啓介, 青木光広, 桑田一夫, 浅野隆彦: 視覚性空間識失認に関する大脳機構の検討 視刺激を用いた functional MRI による空間情報混乱時の大脳活動(2002-2003). 奨励研究(A), 青木光広: ヒトの心血管・呼吸系制御に関わる耳石受容体と前庭空間認知感覚中枢の役割(1999-2000). 若手研究(B), 青木光広: メニエール病におけるホルモン分泌・自律神経機能の日内リズムに関する研究(1999-2000)

眼科学分野 文部科学省・基盤研究(B)(2), 杉山和久: 緑内障性視神経障害の発生と乳頭血流障害・微小血管障害の関連の解明(1999-2001) 文部科学省・基盤研究(C)(2), 山本哲也: 緑内障性視神経症に対する治療法の確立(1998-2000) 文部科学省・基盤研究(C)(2), 谷口徹: 血管作動性の生理活性物質と眼圧との関連(2000) 文部科学省・奨励研究A, 川瀬和秀: 緑内障原因遺伝子異常と臨床像の検討(2000-2001) 文部科学省・奨励研究A, 内田英哉: 日本人の正常眼における視神経乳頭形態の検討(2000-2001) 文部科学省・若手研究B, 澤田明: ラット慢性高眼圧モデルにおける熱ショック蛋白の発現(2002-)

生理機能学分野 門脈-肝臓領域 Na<sup>+</sup> 受容器感度および受容器発現に対する高食塩食の影響: 科学研究費補助金(基盤研究C(2))(2001-2002) 長期間重力変化に対する循環, 自律神経, 中枢応答のモデル作成: 科学研究費補助金(基盤研究B(2))(2003-2005) パラボリックフライトによる微小重力環境が腎交換神経活動に与える影響に関する研究: 日本宇宙フォーラム(宇宙環境利用に関する地上研究公募)(1998-2000) 重力変化に対する自律神経応答のモデル作成に関する研究: 日本宇宙フォーラム(宇宙環境利用に関する地上研究公募)(2001-2003) 長期間の高 NaCl 食および高 KCl 食が門脈-肝臓領域 Na<sup>+</sup>, K<sup>+</sup> 受容器発現および門脈-肝臓領域受容器を介する Na<sup>+</sup>, K<sup>+</sup> 調節機構の感度に及ぼす影響: ソルト・サイエンス研究財団(2000) 口腔-門脈肝臓領域に至る Na<sup>+</sup> 受容器の中枢投射: Mn<sup>2+</sup> 造影 f-MRI を用いた研究: ソルト・サイエンス研究財団(2001)

消化器病態学分野 文部科学省・特定領域研究(C), 森脇久隆: 核受容体蛋白を標的分子としたがん化学予防の研究(2001-, 代表). 基盤研究(B) 展開, 森脇久隆: 合成レチノイドによる核レセプターを介した肝癌細胞クローン除去機構に関する研究(1998-, 代表). 基盤研究(B) 展開, 森脇久隆: レチノイドによるサイトカイン受容体発現調節を介した癌細胞サイトカイン感受性の制御(2001-, 代表). 基盤研究(C), 森脇久隆: レチノイドによる核内転写因子を介した肝発癌制御の遺伝子機構に関する研究(1999-, 代表). 基盤研究(C), 奥野正隆: TGF- $\beta$  活性化の制御を介した肝線維化抑制に関する研究(1997-, 代表). 基盤研究(C), 奥野正隆: 肝再生不全機序の解明と TGF- $\beta$  の制御を介した治療薬の開発(2000-, 代表). 基盤研究(C), 永木正仁: バイオ人工肝臓の開発(1998-, 代表). 基盤研究(C), 安藤量基: TNF- $\alpha$  ノックアウト CTL を用いた肝炎ウイルス排除機構の研究(2000-, 代表). 基盤研究(C), 白鳥義宗: 新しいユビキチン結合蛋白による核内受容体転写活性制御と細胞増殖・細胞死(2000-, 代表). 基盤研究(C), 植松孝広: 固形癌に対するテロメラーゼを分子標的としたプログラム細胞死回復療法についての検討(2002-, 代表). 厚生労働省・特定疾患調査研究補助金, 森脇久隆: 肝炎劇症化の機序ならびにバイオ人工肝臓に関する研究(1997-, 分担). がん研究助成金, 森脇久隆: 発がんプロモーター作用の抑制に関する研究(1998-, 分担). がん研究助成金, 森脇久隆: 肝炎ウイルス感染による肝細胞がん発生の抑制に関する研究(1998-, 分担). がん研究助成金, 森脇久隆: C型肝炎ウイルスの感染による肝炎, 肝硬変及び肝がん発生等の病態の解明に関する研究(2001-, 分担). 医療技術評価総合研究事業, 森脇久隆: メディカルコミュニケーション技術教育システム開発に関する研究(2001-, 代表). 肝炎等克服緊急対策研究事業, 森脇久隆: 肝がん患者の QOL 向上に関する研究(2002-, 代表). 肝炎等克服緊急対策研究事業, 森脇久隆: 末期肝硬変に対する治療に関する研究(2002-, 代表). その他・第32回がん研究助成金, 森脇久隆: 新規合成レチノイドによる新しい癌予防・治療法(2000, 代表). 岐阜大学教育研究改革・改善経費, 森脇久隆: 合成レチノイドによる肝発癌抑制に関する研究(2000, 代表). 財団法人循環器学振興財団, 白鳥義宗:(2000, 代表). 平成12年度(第10回) 横山臨床薬理研究助成金, 白鳥義宗: レチノイドとインターフェロンによる新しい癌予防・治療法(2000, 代表). 第18回(平成12年度) 持田記念研究助成金, 白鳥義宗: インターフェロン感受性増強による新しい癌治療法(2000, 代表). 2001年度日本人工臓器学会 JSAO-Grant, 永木正仁: スーパー肝細胞の確立とバイオ人工肝臓への応用(2001, 代表). 平成13

年度 Liver Forum in Kyoto 研究奨励賞, 永木正仁: 劇症肝炎発症における肝細胞死とその制御機構 (2001, 代表). 財団法人那古野医学振興会 第 32 回研究助成, 奥野正隆: インターフェロン感受性増強による新しい癌治療法 (2002, 代表). 平成 14 年度 Liver Forum in Kyoto 研究奨励賞, 奥野正隆: 肝再生不全の治療を目的とした TGF-beta 阻害剤の開発 (2002, 代表). 平成 14 年度財団法人持田記念医学薬学振興財団研究助成, 奥野正隆: 肝再生不全の治療を目的とした TGF-beta 阻害剤の開発 (2002, 代表). 第 4 回肝病態・治療研究会研究奨励賞, 奥野正隆: セリンプロテアーゼインヒビターによる TGF- 活性化の抑制 (2002, 代表).

運動器外科学分野 文部省科学研究費若手研究 (B), 宮本 敬: 急性腰痛発症因子としての脊椎弾性破綻の 3 次元的評価 (2001-2002), 文部省科学研究費基盤研究 (B)(2), 清水克時: カルパインによる特異的プロテオグリカン分解マーカー抗体の作成と臨床への応用 (2002-2003), 文部省科学研究費基盤研究 (C)(2), 伊藤芳毅: 滑膜線維芽細胞, 軟骨細胞におけるカルパインの発現 (2002-2003), 文部省科学研究費萌芽研究, 大野貴敏: RNAi によるユーイング肉腫, 横紋筋肉腫のキメラ遺伝子を標的とした遺伝子治療 (2003), GICD・SSAF 2000 Fellowship Application (2000), 児玉博隆: Cancun, Mexico Total Spine: Advanced Concepts and Constructs, The Daiwa Anglo-Japanese Foundation (大和日英基金), 清水克時: (2000), 財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 宮本敬: 体幹部スポーツウエアの体幹位置覚・スポーツパフォーマンスへの影響 (2000) 笹川科学研究助成 (財団法人日本科学協会), 赤池 敦: 滑膜線維芽細胞のアポトーシスにおける calpain の発現, (2000), 上原記念生命科学財団, 尾下英史: マトリックス分解酵素としてのカルパインの研究, (2000), 平成 12 年度助成事業費助成金 (財団法人総合健康推進財団), 宮本 敬: バーチャルリアリティーを用いた高齢者の転倒予防システムの開発, (2000), 平成 12 年度日仏整形外科学会 宮本 敬: (2000) (財) サウンド技術振興財団, 宮本 敬: 安静臥床を要する高齢者患者に対する音楽療法のリラクゼーション効果 - サーモグラフィによる検討 - (2001), 第 9 回小林孫兵衛記念医学振興財団研究助成金, 宮本 敬: ヴァーチャルリアリティーを用いた高齢者の早期離床を目的としたリハビリテーションシステムの開発 (2001), 岐阜大学交流協定大学との研究者交流 (招聘), 清水克時: 硬膜外病痕形成における COX-2 抑制剤の作用, (2001), 岐阜大学交流協定大学との研究者交流 (派遣), 宮本敬: 脊椎外科, 脊椎側弯症に対する外科的治療の臨床的研究・学術交流, (2001), 平成 13 年度教育研究改革・改善経費 (学長裁量経費), 宮本 敬: 体幹筋の血行動態解析のスポーツリハビリテーション応用 (2001) 岐阜大学活性化研究費, 宮本 敬: 早期離床を目指す高齢者のためのヴァーチャルリアリティーを用いたリハビリテーションシステムの開発 (2001), 平成 14 年度岐阜医学奨励賞形態・病態及び社会医学系, 宮本敬: Use of Fast MRI to Evaluate the Effect of Abdominal Belts During Contraction of Trunk Muscles. (2002), LILLY FELLOWSHIP, 神谷宣広: (2003) 2003 年度 (財) 日米医学医療交流財団 (JANAMEF) フェロー, 神谷宣広: 軟骨における生物学的な解明, (2002), (財) 金原一郎記念医学医療振興財団, 神谷宣広: 軟骨細胞分化における細胞 - 細胞外マトリックス相互作用の解明, (2002), 平成 15 年度国際研究集会派遣研究員, 清水克時: 脊椎短縮術, (2003) 日本学術振興会日欧科学協力事業 (セミナー), 細江英夫: 脊椎固定術手技セミナー, (2003)

泌尿器病態学分野 文部科学省科学研究費 基盤研究 (C)(2), 出口隆: 尿路性器感染症由来ニューキノロン剤耐性機構の分子生物学的解析 (1998-2000). 基盤研究 (C)(2), 出口隆: DNA チップを応用した男子尿道炎診断システムの開発 (2001-2002). 基盤研究 (C)(2), 山本直樹: 臨床ヒト膀胱腫瘍に対する BCG 膀胱内注入療法の抗癌作用機序の免疫学的解析 (1999-2000). 基盤研究 (C)(2), 高橋義人: 前立腺癌リンパ節転移の術中迅速分子診断法の開発 (2001-2002). 基盤研究 (C)(2), 江原英俊: 尿路性器癌の抗癌剤耐性遺伝子発現に関する DNA チップを用いた解析法の開発 (2000-2001). 基盤研究 (C)(2), 江原英俊: DNA マイクロアレイを用いた前立腺癌のホルモン療法無効予測遺伝子マーカーの同定 (2002-2003). 奨励研究 (A), 西野好則: 高感度尿中癌細胞検出法の開発 -Lightcycler を用いた hTERT の定量化 - (2001-2002). 若手研究 (B), 西野好則: 高感度尿中癌細胞検出法の開発 -Lightcycler を用いた hTERT の定量化 - (2001-2002). 奨励研究 (A), 伊藤慎一: 移植拒絶反応時に出現する細胞障害性マクロファージの標的細胞特異性 - 認識分子生物学的解析 - (2001-2002). 若手研究 (B), 伊藤慎一: 移植拒絶反応時に出現する細胞障害性マクロファージの標的細胞特異性 - 認識分子生物学的解析 - (2001-2002). 若手研究 (B), 山田徹: 定量的 PCR によるホルモン耐性前立腺癌のステロイドホルモンレセプターの機能解析 (2002)

女性生殖器学分野 文部科学省・基盤研究 (B)(2), 玉舎輝彦: 性ステロイドと関連して女性生殖器ならびにその腫瘍の細胞増殖とその制御に関する研究 (1997-2000) 基盤研究 (B)(2), 玉舎輝彦: ホルモン支配と関連して女性生殖器ならびにその腫瘍の細胞増殖とその制御に関する研究 (2001-2004) 萌芽の研究, 玉舎輝彦: 植物エストロゲンの子宮内膜癌発生・発育の予防 (1998-2000) 萌芽の研究, 玉舎輝彦: オーフアンレセプター, エストロゲン関連レセプター (ERR) の研究 - リガンド検出と ERR の生物学的作用への環境汚染物質の影響 (2001-2003) 基盤研究 (B)(2), 今井篤志: 子宮内膜癌におけるプロ GnrH および GnrH 分泌の分子機構と機能 (2000-2003) 基盤研究 (B)(2), 藤本次良: 女性生殖器癌における血管新生と腫瘍休眠療法に関する研究 (2002-2004) 基盤研究 (C)(2), 藤本次良: 女性生殖器癌におけ

る血管新生とその抑制に関する研究(1999-2001) 基盤研究(C)(2), 丹羽憲司: 子宮内膜癌に対するイソフラボンの抑制作用の検討(2000-2001) 基盤研究(C)(2), 横山康宏: 子宮内膜癌細胞のホルモン依存性増殖へのPTENの関与(2002-2003) 基盤研究(C)(2), 伊藤直樹: 子宮内膜症に対する遺伝子治療の基礎的検討(2001-2003) 奨励研究(A), 操 良: エストロゲン依存性婦人科疾患における性ステロイド結合蛋白の生物学的意義(1999-2000) 奨励研究(A), 古井辰郎: 卵巣癌におけるリソフォスファチジン酸の診断的意義と治療標的への応用に関する研究(2000-2001) 厚生省・厚生科研生活安全総合研究事業石川班, 玉舎輝彦: ダイオキシン類の汚染状況および子宮内膜症等健康に関する研究(1999-2001, 分担) 厚生科研がん克服戦略研究事業坂本班 藤本次良: 婦人科がんの発生・進展の分子機構解析に基づいた新しい分子診断・治療法の開発(2000-2003, 分担) その他・日母おぎゃー献金補助金, 玉舎輝彦: 子宮内胎児発育遅延の原因解明のための胎盤, 血管内皮細胞機能における性ステロイド(受容体)およびレプチンの遺伝子の発現に関する基礎的研究(2000-2002) 赤枝医学研究財団助成, 三鴨廣繁: 女性生殖器感染症と不定愁訴に関する研究(2000) 日本東洋医学会奨励賞, 丹羽憲司: 子宮内膜癌に対する十全大補湯の抑制作用。科学研究費の補助金(特別研究員奨励賞) 丹羽憲司: 子宮内膜癌, 頸癌の一次予防とサイトカイン, テロメラゼとの関連(2002-2003)

口腔病態学分野 2000年度文部科学省科学研究費補助金(12671931) 基盤(C)一般/新規(110万円) 骨芽細胞のプロスタグランジン F2 刺激による細胞内情報伝達機構の解明, 加藤幸弘/立松憲親。文部科学省科学研究費補助金(12671111) 基盤(C)一般/継続(80万円) カルシトニン受容体を介する骨細胞のカルシウム代謝制御機構に関する研究, 安岡 忠/他。2001年度文部科学省科学研究費補助金(13672115) 基盤(C)一般/新規(190万円) EGF 刺激によるヒト口腔癌細胞の運動シグナル伝達の解析, 柴田敏之/他 3名。文部科学省科学研究費補助金(12576026) 基盤(B) 海外/継続(260万円) スリランカ共和国における口腔がん発生機序の分子疫学的調査, 柴田敏之/他 9名。文部科学省科学研究費補助金(12671931) 基盤(C)一般/継続(80万円) 骨芽細胞のプロスタグランジン F2 刺激による細胞内情報伝達機構の解明, 加藤幸弘/土井田 誠・兵東 巖・安田 聡・横山 恭子。文部科学省科学研究費補助金(13671986) 基盤(C)一般/新規(170万円) 舌発がんに係るペロキシゾーム増殖活性受容体の発現とリガンドによる発がん防御, 田中卓二/甲野裕之・土井田 誠。日本私学振興財団・研究科分/新規(150万円) 口腔癌・上部消化器癌に関する Genetic Background の検討, 柴田敏之/他 3名。2002年度, 文部科学省科学研究費補助金(13672115) 基盤(C)一般/継続(220万円) EGF 刺激によるヒト口腔癌細胞の運動シグナル伝達の解析, 柴田敏之/河野 峰・永易裕樹・浜田淳一・土井田 誠・加藤幸弘・山下知巳。文部科学省科学研究費補助金(12576026) 基盤(B) 海外/継続(230万円) スリランカ共和国における口腔がん発生機序の分子疫学的調査, 柴田敏之/千葉逸朗・安彦善裕・土井田 誠・加藤幸弘・多田光宏・宮本 謙/A. ナシハン・M.A.M. シデック。文部科学省科学研究費補助金(12671931) 基盤(C)一般/継続(50万円) 骨芽細胞のプロスタグランジン F2 刺激による細胞内情報伝達機構の解明, 加藤幸弘/土井田 誠。文部科学省科学研究費補助金(13671986) 基盤(C)一般/継続(130万円) 舌発がんに係るペロキシゾーム増殖活性受容体の発現とリガンドによる発がん防御, 田中卓二/甲野裕之・土井田 誠。文部科学省科学研究費補助金(14571730) 基盤(C)一般/新規(120万円) 歯原性腫瘍の遺伝子異常と増殖活性に関する研究, 土井田 誠/藤塚秀樹・加藤幸弘・柴田敏之/Margit BALAZS・Roza ADANY。文部科学省科学研究費補助金(14571884) 基盤(C)一般/新規(140万円) 口腔癌動物モデルにおける抗癌剤の抗腫瘍効果に及ぼすプロスタグランジン E1 の影響, 藤塚秀樹/土井田 誠・加藤幸弘・柴田敏之・田中卓二。文部科学省科学研究費補助金(14571907) 基盤(C)一般(2)/新規(140万円) 上皮成長因子 EGF がヒト口腔がん細胞の遺伝的不安定性と悪性形質獲得に与える影響, 永易裕樹/河野 峰・柴田敏之・有末 真。日本私学振興財団・研究科分/継続(150万円) 口腔癌・上部消化器癌に関する Genetic Background の検討, 有末 真/柴田敏之・他 2名。平成 14年度岐阜大学教育研究改革・改善経費(366万円) 口腔癌変の分子疫学的研究, 柴田敏之, 2003年度, 文部科学省科学研究費補助金(15390610) 基盤(B)(2)一般/新規(470万円) EGF 受容体・シグナル伝達を分子標的とする口腔がん治療の基礎的検討, 柴田敏之/浜田淳一・土井田 誠・山下知巳・牧田浩樹。文部科学省科学研究費補助金(12576026) 基盤(B)(2) 海外/継続(260万円) スリランカ共和国における口腔がん発生機序の分子疫学的調査, 柴田敏之/千葉逸朗・安彦善裕・土井田 誠・加藤幸弘・多田光宏・山下知巳・牧田浩樹/A. ラナシンハ・M.A.M. シデック。文部科学省科学研究費補助金(14571730) 基盤(C)一般/継続(110万円) 歯原性腫瘍の遺伝子異常と増殖活性に関する研究, 土井田 誠/牧田浩樹・山下知巳・藤塚秀樹・加藤幸弘・柴田敏之/Margit BALAZS・Roza ADANY。文部科学省科学研究費補助金(14571884) 基盤(C)一般/継続(160万円) 口腔癌動物モデルにおける抗癌剤の抗腫瘍効果に及ぼすプロスタグランジン E1 の影響, 藤塚秀樹/土井田 誠・牧田浩樹・加藤幸弘・柴田敏之・田中卓二。文部科学省科学研究費補助金(14571907) 基盤(C)一般(2)/継続(140万円) 上皮成長因子 EGF がヒト口腔がん細胞の遺伝的不安定性と悪性形質獲得に与える影響, 永易裕樹/河野 峰・柴田敏之・有末 真。

免疫病理学分野 平成 14年度 共同研究: 新たなリンパ球加工法の開発 高見剛 850千円, 平成 14年度 15年度 科学研究費補助金(基盤研究(C)2) 高見剛 平成 14年 3300 平成 15年 700千円

感染制御学分野 文部科学省・基盤研究(C)(2)高橋 優三: 旋毛虫の新生幼虫が産生する生理活性物質の合成に関する研究(2000-2001, 代表) 日本学術振興会 高橋 優三: 実験動物における胆管癌の発生に関する超微形態的研究(2000-2001, 論博事業研究指導) ぎふ生命科学推進協議会 高橋 優三: 感染源の同定を目的とした寄生虫遺伝子指紋ライブラリーの構築(2000-2001) 文部科学省・基盤研究(C)(2) 呉 志良: クリプトスポリジウムの遺伝子多型検出法の検討及びその疫学的应用(2001-2002, 代表) 厚生労働省・厚生労働科学研究補助金 高橋 優三: メディカルコミュニケーション技術教育システム開発に関する研究(2001-2002, 分担) 文部科学省・基盤研究(C)(1) 高橋 優三: プラスチシスチスのゲノムの多様性を利用した人畜共通株の同定(2001-2004, 分担) 文部科学省・基盤研究(A)(2) 高橋 優三: 思考促進型医学教材の開発研究(2002-2003, 代表) 岐阜県・知的クラスター創成事業 高橋 優三: ロボチックパーチャルシステム産業育成構想 パーチャル患者ロボットの開発(2002-2003, 代表) 文部科学省・基盤研究(C)(2) 長野 功: 筋肉細胞を変異させる旋毛虫由来物質の分子生物学的解析と宿主細胞への作用機序の解明(2003-2004, 代表)

内分泌代謝病態学分野 厚生省科学研究費補助金特定疾患対策研究事業, 安田圭吾: 副腎ホルモン産生異常に関する研究(2000). 安田圭吾: 11 HSD タイプ 1・2 の発現調節および各種病態と遺伝子多型との関連に関する研究(2001-2002). 長寿科学総合研究事業, 安田圭吾: 老人病に対する介入療法及び予防法に関する研究(2000). 安田圭吾: 老化防止のためのホルモン療法に関する研究(2001-2002). 文部省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 山本真由美: 糖尿病状態における血管平滑筋細胞のアポトーシス制御機構に關与する PKC の役割(2000-2002). 基盤研究(C), 安田圭吾: 生活習慣病発症・進展予防に対する DHEA(S) の作用: 疫学的, 基礎的検討(2002). 特定領域研究, 武田則之: 乳ガン予防を目指した生活環境要因と血清エストロゲンに関する研究(2001-2002). 岐阜県労働基準協会連合会, 産業医学に関する調査研究助成金, 武田則之: 食事・運動習慣と腹部脂肪蓄積, 糖尿病(2001)

小児病態学分野 特定研究(B)(2): 近藤直実: DNA の切断と再結合における helicase 遺伝子 family の機能解析(1998-2002 分担). 特定研究(A)(2): 加藤善一郎: インターロイキン 18 レセプター複合体解析と新たな治療法の解析(2000-2001 分担). 特定研究(2): 近藤直実: 乳がん予防を目指した生活環境要因と血清エストロゲンに関わる研究(2000-2002 分担). 基盤研究(B)(2)一般: 近藤直実: ミトコンドリア 酸化異常症の生化学的評価・診断および病因解析に関する研究(1998-2000 分担). 基盤研究(B)(2)展開研究: 近藤直実: アレルギーの病因遺伝子群の分子遺伝学的, 構造生物学的解明と治療・予防への応用(1998-2000 代表). 基盤研究(B)(2)一般: 近藤直実: アトピー病因遺伝子群の構造生物学的解明と環境中でのオーダーメイド治療予防への応用(2001 ~ 2003 代表). 基盤研究(C)(2): 鈴木康之: 先天性ジカルボン酸代謝異常症と ABC 蛋白質に関する研究(2000-2001 代表), 基盤研究(C)(2): 高橋幸利: グルタミン酸受容体自己抗体による中枢神経系障害の早期診断・治療,(1998-2000 代表). 基盤研究(C)(2): 金子英雄: 遺伝性高発癌症候群の分子病態の解析および遺伝子治療の基礎的研究(2000-2001 代表). 基盤研究(C)(2): 金子英雄: 高発癌を伴う先天性免疫不全症候群の分子病態ならびに新規治療法の開発(2002-2003 代表). 基盤研究(C)(2): 祐川和子: 遺伝性ムコ多糖代謝異常症の分子病態解析と酵素補充療法開発に関する研究(2000-2001 代表). 基盤研究(C)(2): 祐川和子: 遺伝性ムコ多糖代謝異常症の構造生物学的病態解析と分子治療法開発への展開(2002-2003 代表). 基盤研究(C)(2): 深尾敏幸: 先天性ケトン体代謝異常症の分子病態—サクシニル-CoA: 3 ケト酸 CoA トランスフェラーゼ欠損症を中心として—(1999-2000 代表). 基盤研究(C)(2): 深尾敏幸: 先天性ケトン体代謝異常症の臨床および分子病態に関する研究(2002-2003 代表). 基盤研究(C)(2): 伊上良輔: アレルギーにおける T 細胞受容体と抗原提示分子の構造と結合に関する研究(2000-2001 代表). 基盤研究(C)(2): 下澤伸行: ペルオキシソーム欠損症における病因蛋白の立体構造による発症機構の解明について(2001 ~ 2002). 基盤研究(C)(2): 下澤伸行: 遺伝性ペルオキシソーム欠損症の発症に温度が関わる機序を解明する(2003 ~ 2004). 基盤研究(C)(2): 寺本貴英: 喘息におけるアラキドン酸カスケードの薬理遺伝学的解析とオーダーメイド治療の確立(2003 ~ 2004). 基盤研究(C)(1): 祐川和子: ムコ多糖症 II 型(ハンター病)の重症度の判定と保因者診断による一次予防に関する研究(2000 ~ 2001, 分担). 萌芽的研究: 近藤直実: 川崎病の病因の未知抗体をコードする遺伝子探索にもとづく独創的手法による解明と展開(1999-2000 代表). 萌芽的研究: 近藤直実: 川崎病の病因の未知抗体および T 細胞レセプター遺伝子探索に基づく画期的解明と展開(2001-2002 代表) 奨励研究(A): 加藤善一郎: 免疫アレルギー疾患病因タンパク質の NMR 法による立体構造解析と新たな治療法の開発(1999-2000 代表). 奨励研究(A): 磯貝光治: 小児血液腫瘍に対する遺伝子治療の基礎と実践(2000-2001 代表). 奨励研究(A): 加藤善一郎: インターロイキン 18- レセプター複合体構造解析によるシグナル伝達制御機構の解明(2002 ~ 2003 代表). 奨励研究(A): 折居建治: 病的なサイトカイン血症を来す病因関連蛋白質の立体構造解析と新たな治療法の開発(2001 代表). 若手研究(B): 加藤善一郎: インターロイキン 18- レセプター複合体構造解析によるシグナル伝達制御機構の解明(2002 ~ 2003 代表). 若手研究(B): 松井永子: アレルギーの病因遺伝子群の総括的同定と機能解析に基づくオーダーメイド治療も確立(2002 ~ 2003 代表). 若手研究(B): 磯貝光治: 遺伝性ムコ多糖症のろ紙血液を用いた新生児マススクリーニング法の開発とその展開(2003 ~ 2004 代表). 文部科学省, 高度先進医療, 開発経費: 近藤直実, 加藤善一郎, 下澤伸行, 金子英雄, 祐川和子, 伊上良輔, 桑田一夫, 鈴木正昭, 白川昌宏: 免疫・アレルギー疾患

病因タンパク質立体構造に基づいた構造生物学的創薬による治療法の確立(2001～2003).日英科学技術協力等プロジェクト:近藤直実, JM Hopkin, Taro Shirakawa (Univ.of Wales Swansea):アトピーの病因遺伝子解明(2000).厚生科学研究費補助金感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業:(柳原行義):近藤直実:アトピー病因遺伝子の同定とその機能解析に関する研究(1996～1998, 1999～2001).厚生科学研究費補助金感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業:(海老澤元宏):近藤直実:食物アレルギーの実態及び誘発物質の解明に関する研究(2000～2002, 2003～).厚生科学研究費補助金感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業:(森川昭廣):近藤直実:アレルギー疾患に関わる胎内・胎外因子の同定に関する研究(2000～2002, 2003～).厚生労働省特定疾患対策研究事業:(辻 省次):鈴木康之:副腎白質ジストロフィーの治療法開発のための臨床的及び基礎的研究(1999～2001).厚生労働省特定疾患対策研究事業:(青木継稔):折居忠夫:効果的な健康及び検査(マスキリーニング)事業の実施に関する研究(1998～2000)

厚生労働省特定疾患対策研究事業:(小宮山 淳):近藤直実:原発性免疫不全症候群に関する調査研究(1998～2001).厚生労働省特定疾患対策研究事業:(衛藤義勝):鈴木康之:ライソソーム病の病態の解明及び治療法の開発に関する研究(2001～2003).厚生労働省特定疾患対策研究事業:(桜川宣男):祐川和子:ライソソーム病の病態の解明及び治療法の開発に関する研究(2001～2003).厚生労働省予防接種研究班:(平山宗宏):近藤直実:予防接種の効果の実施と副反応に関する総合的研究(1997～).厚生労働省アトピー性皮膚炎疫学調査班:(山本昇壮):近藤直実:アトピー性皮膚炎の患者数の実態及び発症・悪化に及ぼす環境因子の調査に関する研究(2000～2002).厚生科学研究費補助金子ども家庭総合事業:(黒田泰弘, 青木継念):折居忠夫:マスキリーニングの効率の実施及び開発に関する研究(2001～2003).厚生科学研究費補助金免疫・アレルギー疾患予防・治療研究事業:(出原賢治):近藤直実:アレルギー疾患の遺伝要因と環境要因の相互作用に関する研究(2002～2004)

厚生労働省生活安全総合研究事業:(多田 裕):近藤直実:母乳中のダイオキシン類と乳児への影響に関する研究(1998～2000, 2001～2003).厚生労働省小児医療委託研究:(赤澤 晃):近藤直実:遺伝子情報に基づく小児アレルギー疾患の診断・治療法と予防法に関する研究(2000～2002).厚生労働省成育医療研究委託事業研究:(松原洋一):下澤伸行:成育医療における患者・家族の前方視的研究(2002～2004).厚生労働省効果的医療技術の確立推進臨床研究事業:(堀部敬三):磯貝光治:プロトコルマニュアルワーキング担当研究(2002～).厚生労働省特定疾患対策研究事業:(辻省次):鈴木康之:運動失調に関する調査および病態機序に関する研究(2002～2004).厚生労働省特定疾患対策研究事業:(宮脇利男):近藤直実:原発性免疫不全症候群に関する調査研究(2002～).厚生労働省特定疾患対策研究事業:(古山順一):下澤伸行:遺伝子医療の基盤整備に関する研究(2002～),厚生省精神・神経疾患委託研究:(大沼悌一):高橋幸利:新技術を用いた難治てんかんの診断法と治療法(1999～).厚生省精神・神経疾患委託研究:(加我牧子):高橋幸利:発達期における高次脳機能障害の病態解明研究(2000～2002).公害健康被害補償予防協会委託研究:(眞弓光文):近藤直実:気管支喘息の発症に関する免疫遺伝子の解明と検査手法の開発に関する研究(1996～2002).日豪科学協力事業:近藤直実, 深尾敏幸, 金子英雄, 鈴木康之, Martin F Lavin (Queensland Institute of Medical Research):毛細血管拡張性失調症および BLOOM 症候群の原因蛋白の機能, 相互作用の解明(2000～2002).近藤直実, 下澤伸行, 金子英雄, 深尾敏幸, 伊上良輔, 加藤善一郎, 寺本貴英, 松井永子:アレルギー免疫神経異常の統合の機能的ゲノムかつタンパク構造学的解明とその応用(2002).平成 11 年度放送文化基金:高橋幸利:光感受性発作防止用光学フィルターの開発(2000).平成 12 年度森永奉仕会研究奨励金:伊上良輔:ミルクアレルギーにおける抗原認識に関わる HLA, 抗原, T 細胞受容体の遺伝子解析(2001).平成 13 年度森永奉仕会研究奨励金:松井永子:アレルギーの病因遺伝子群の総括的同定と機能解析に基づくオーダーメイド治療の確立に関する研究(2002).平成 14 年度上原記念生命科学財団研究奨励金:加藤善一郎:IL-18 受容体構造基盤と病態解析・薬剤開発(2002)

平成 13 年度母子健康協会小児医学研究助成金:金子英雄:家族性高発癌症候群の分子病態, 新たな治療法に関する研究(2001).第 34 回三井生命厚生事業団医学研究助成:金子英雄:DNA の複製・修復の異常により早老症を呈する遺伝性疾患群の病態・治療法に関する研究(2001).財団法人森永奉仕会西暦 2000 年記念特別企画・最優秀研究賞:近藤直実:食物アレルギーをはじめとするアトピーの病因遺伝子群の遺伝子学的・構造生物学的解明と臨床応用(2000).平成 11 年度岐阜医学奨励賞:深尾敏幸:日本人 Ataxia-telangiectasia の分子病態と ATM (ataxia-telangiectasia mutated) 蛋白の末梢血単核球における誘導(2000).平成 12 年度岐阜医学奨励賞:松井永子:Mutations of the IL-12 receptor 2 chain gene and reduced responses of lymphocytes to IL-12 in atopic subjects(2001).平成 12 年度日本小児アレルギー学会大塚学術論文賞:加藤善一郎:病態解析・新規機能分子開発へ向けたインターロイキン -18 タンパク質原子解像度立体構造決定(2000).平成 13 年度日本小児アレルギー学会大塚学術論文賞:寺本貴英:気管支喘息発症における遺伝的要因と環境要因との接点とその制御:IL-12-IFN- $\gamma$  情報伝達系の遺伝子異常とウイルス感染による IFN- $\gamma$  低下による患者の悪化(2001).日本アレルギー学会・日本アレルギー協会アストラゼネカ喘息研究奨励助成:加藤善一郎:構造生物学的創薬・治療法確立へ向けたアレルギー疾患病因タンパク質立体構造解析(2001).加藤記念パイオサイエンス研究振興財団第 12 回加藤記念海外派遣助成:加藤善一郎:Solution Structure of Interleukin-18(2000).The 8 th Annual International Schering-Plough Young Investigator Award:松井永子:Mutations of the IL-12 receptor 2 chain gene in some atopic subjects(2000).岐阜大第

6号 岐阜大学発明委員会：近藤直実，松井永子，金子英雄，青木美奈子，渡邊みづほ，笠原貴美子：アレルギー・IgE産生抑制系受容体遺伝子発現異常診断セットの開発（2002）. 特許申請中：近藤直実，松井永子，金子英雄，青木美奈子，長尾みづほ，笠原貴美子，服部浩明，江頭 徹：アレルギー素因を規定する遺伝子の検出方法（2002年8月30日）. 岐大研第3の16号 岐阜大学発明委員会：加藤善一郎，近藤直実：インターロイキン18蛋白立体構造及びレセプター複合体モデル（2001）. 特許申請中：白川昌宏，近藤直実，加藤善一郎：インターロイキン-18変異体タンパク質（2003）

皮膚病態学分野 文部科学省・基盤研究(B)(2)北島康雄：表皮細胞接着分子・細胞骨格構築制御シグナル伝達と自己免疫性水疱症の分子医学的解析（1998-2000; ¥12,500,000）基盤研究(C)(2)高木肇：悪性黒色腫におけるアポトーシス誘導と細胞骨格・接着因子の変化の分子医学的解析（2000-2001; ¥4,000,000）奨励研究(A)市橋直樹：悪性黒色腫の薬剤耐性遺伝子発現と予後，再発の関係に関する研究（2000-2001; ¥2,200,000）基盤研究(B)(2)北島康雄：デスモソームの接着制御におけるその分子機能とシグナル伝達；天疱瘡抗体の干渉（2001-2003; ¥14,600,000）奨励研究(A)佐藤美貴：尋常性天疱瘡は desmosome の接着性を阻害するか否かの検討（2001-2002; ¥1,800,000）若手研究(B)江崎智香子：落葉状天疱瘡をモデルとした表皮上層細胞接着構造蛋白のリン酸化と接着制御機構の解析（2002-2003; ¥3,400,000）厚生労働省・北島康雄：特定疾患稀少難治性皮膚疾患調査研究班（2000-2001; ¥4,000,000）北島康雄：特定疾患稀少難治性皮膚疾患調査研究班長（2002-; ¥45,000,000）北島康雄：がん研究助成金山本班（2000-2002; ¥600,000）北島康雄：アトピー性皮膚炎疫学班（2000-2002; ¥1,500,000）その他・青山裕美：JSID Shiseido Aes International Fellowship Shiseido Award 2000（2000; ¥1,200,000）. 佐藤美貴：風戸研究奨励金（2000; ¥1,000,000）佐藤美貴：資生堂基礎医学研究費（2001; ¥500,000）

麻酔・蘇生学分野 文部省・基盤研究(A)，土肥修司：麻酔・疼痛シグナル伝達機構と脊髄でのイオントランスポーターの役割（1999～2001）. 基盤研究(B)，土肥修司：ポリマー化オピオイドによる脊髄鎮痛法の開発（2000～2002）. 萌芽的研究，土肥修司：脊髄に於ける疼痛受容機構と ion cotransporters の役割（2000～2001）. 特別研究員奨励費，麻酔・疼痛の細胞内シグナル伝達とその制御機構（2000～2002）. 基盤研究(A)，土肥修司：麻酔・疼痛シグナル伝達におけるイオンチャンネルとイオントランスポーターの制御機構（2002～2005）. 萌芽研究，土肥修司：脊髄損傷後の脊髄再生プロセスにおける Na<sup>+</sup> - K<sup>+</sup> ATPase の役割（2003～2005）. 基盤(C)，飯田宏樹：大動脈遮断・解除に伴う脳・脊髄微小循環の変動とそのメカニズム（2001～2003）. 基盤(C)，赤松 繁：心臓内局所麻酔薬投与が循環動態に及ぼす効果の基礎的研究 - 拍動下心臓手術の管理 -（2002～2003）. 基盤(C)，大島 勉：麻酔中における呼吸シグナル行動の神経性調節機構の解明（2000～2002）. 若手(B)，大島博人：グルタミン酸受容体を介した脳血流調節における麻酔薬と脳低温の影響（2002～2003）. 基盤(C)，古橋亜沙子：2作動薬，NADA 拮抗薬の低体温時における脳血管反応のウィンドー法を用いた検討（1999～2000）. 奨励(A)，織田章義：後根神経節細胞の各種 Na<sup>+</sup> チャンネルへの局所麻酔薬作用のパッチクランプ法による解析（2001～2002）. 若手(B)，道野朋洋：星状神経節ブロックはシバリングを抑制するか（2002～2003）. 若手(B)，柳樹富美：脊髄および脊髄上部におけるオピオイド K 受容体の疼痛制御と NSAIDs の相互作用（2002～2003）. 若手(B)，長瀬 清：一過性全脳虚血後の脳微小循環反応に対する NMDA 受容体遮断薬の影響（2003～2004）

疫学・予防医学講座 文部科学省・特定領域研究(C)(1)，清水弘之：ヒトがんの環境・宿主要因に関する疫学的研究（2000 - ，分担）. 特定領域研究(C)(2)，清水弘之：乳がん予防を目指した生活環境要因と血清エストロゲンに関する研究（2000 - ）. 基盤研究(B)(1)，清水弘之：閉経期女性の愁訴とイソフラボン摂取および生体内エストロゲン・イソフラボンの関連性（1999 - 2001）. 特定領域研究(C)(1)，永田知里：HPV感染と子宮頸部発がんに関するコホート研究（2000 - ，分担）基盤研究(C)(2)，永田知里：イソフラボンその他の栄養摂取が癌・心血管障害死亡および女性の閉経に及ぼす影響（2000 - 2001）. 基盤研究(B)(2)，永田知里：イソフラボン摂取と皮膚生体測定値および骨密度に関する研究（2002-2003）奨励研究(A)，高塚直能：がん一次予防のための遺伝子素因情報サービスに対する経済的評価研究（2001）厚生労働省・がん研究助成金，清水弘之：乳がん，大腸がんの家族内集積性に関する研究（2000 - 2001，分担）新興・再興感染症研究事業 清水弘之：インフルエンザ予防接種の EBM に基づく政策評価に関する研究（2002 - ，分担）がん研究助成金 永田知里：乳がん，大腸がんの家族内集積性に関する研究（2002 - ，分担）子ども家庭総合研究事業，永田知里：生涯を通じた健康管理・保持増進のための健康教育・相談支援等の充実に関する研究（2002 - ，分担）がん克服戦略研究事業，永田知里：大規模地域・職域健診データに基づくがん予防とがん対策への活用と評価（2002 - ，分担）

スポーツ医科学分野 研究費はフィールドワークに必要な測定のための備品，消耗品を中心に使用している。現在のところ校費のみであり，決して十分でないために，奨学寄附金などを要請中であり，受託研究も現在積極的に進めている状況である。

臨床検査医学分野 文部科学省・基盤研究(B)，清島 満，湊口信也，斉藤邦明，和田久泰，藤井秀比古，斉藤和典：血清中脂質フリーアポタンパク濃度の測定法確立とその臨床的応用（1999-2001，代表）

文部科学省・基盤研究(C), 藤井秀比古, 和田久泰, 斉藤邦明, 清島 満, 関川賢二: ダブルノックアウトマウスを用いた動脈硬化におけるサイトカインの役割に関する研究(1999-2000, 代表)

文部科学省・基盤研究(C), 長岡 利, 清島 満: 新規評価法を活用したポリフェノールの抗動脈硬化作用機構解析(2000-2001, 分担)

文部科学省・基盤研究(B), 清島 満, 斉藤邦明, 和田久泰, 山田泰弘: サイトカインノックアウトマウスを用いた粥状硬化発症機序に関する研究(2001-2003, 代表)

文部科学省・基盤研究(C), 斉藤邦明, 和田久泰, 山田泰弘, 清島 満, 鍋島俊隆, 関川賢二: 遺伝子組み換えによるエイズ痴呆発症機構の解明ならびに治療薬の評価(2001-2002, 代表)

文部科学省・基盤研究(C), 和田久泰, 山田泰弘, 斉藤邦明, 清島 満: 心筋虚血/再灌流傷害の形成における炎症性サイトカインの役割 - サイトカインノックアウトマウスと骨髄移植を用いた検討 - (2002 ~ 2003, 代表)

文部科学省・基盤研究(C), 藤井秀比古, 斉藤邦明, 和田久泰, 清島 満: 動脈硬化巣形成に關与するマクロファージ発現タンパク質の Proteome 解析(2002-2003, 代表)

文部科学省・基盤研究(C), 山田泰弘, 斉藤邦明, 和田久泰, 清島 満: マウス骨髄移植技術を用いた肝不全発症機構の解明とその臨床応用に関する研究(2002-2004, 代表)

厚生労働省・厚生科学研究費補助金(エイズ対策研究事業), 出雲周二, 田平 武, 岸田修二, 馬場昌範, 納 光弘, 宇宿功市郎, 斉藤邦明, 高宗暢暁, 木戸 博: HIV 等のレトロウイルスによる痴呆や神経障害の病態と治療に関する研究(2000-2002, 分担)

その他 岐阜大学医学部学術振興基金(平成 12 年度助成事業), 藤垣朱和子, 斉藤邦明, 和田久泰, 清島 満: 脳内 Indoleamine 2,3-dioxygenase (IDO) におよぼす炎症性サイトカインの影響(2000)

その他 財団法人中谷電子計測技術振興財団(平成 12 年度技術交流助成金), 清島 満: 第 73 回米国内臓学会, New Orleans, LA., USA, 2000. 11. 12-15 (2000)

その他 財団法人医科学応用研究財団(平成 12 年度調査研究助成金), 斉藤邦明: エイズ脳症ににおよぼす TNF などの各種炎症性サイトカインによる影響: マウスエイズ脳症モデルを用いた行動薬理的解析(2000)

その他 日本学術振興会日韓科学協力事業共同研究, 鍋島俊隆, Kim Hyoung-Chun, 山田清文, 斉藤邦明: メタンフェタミンとフェンシクリジン類縁物質の薬物依存と神経毒性の分子機構(2001 ~ 2002)

その他 公益信託臨床病理学研究振興基金(平成 13 年度研究奨励金), 和田久泰: ノックアウトマウスを用いた, 循環器疾患の形成における炎症性サイトカインの役割に関する研究(2001)

その他 平成 14 年度科学研究費補助金奨励研究, 澤村治樹: E.coli および K.pneumoniae の FSBLs 産生菌検出に関する研究(2002)

その他 平成 14 年度岐阜大学活性化研究費・萌芽研究: 山田泰弘, 清島 満: TNF リセプターノックアウトマウスを用いた炎症性腸疾患の病態(2002)

放射線・腫瘍・画像医学分野 兼松雅之, 厚生労働省厚生科学研究費補助金 がん克服戦略研究事業森山班「ME 機器の進歩に基づく新しい診断法の開発に関する研究(H12-がん-009)」, 研究協力者, 平成 13 年 12 月 - 平成 15 年 3 月, 兼松雅之, 平成 13 年度厚生労働省石川班「画像診断に基づく肺がんと消化器がんの clinical staging の確立」班長協力者, 平成 13 年 9 月, 松尾政之, 兼松雅之, 近藤浩史, 星 博昭. 「肝硬変症の MRI 診断のための artificial neural network [ANN] を用いたコンピュータ支援診断システムの開発」岐阜大学医学部学術振興基金による助成, 平成 13 年 5 月 14 日, 後藤裕夫, 財団法人名古屋公衆医学研究所, 第 29 回集団検診開発助成金, 「胃癌検診の効率化に関する研究」平成 14 年 4 月 4 日, Grant by Department Research Advisory Committee. Hepatic Nodules in Cirrhosis: A Study of Angiogenesis Using Pretransplantation MR Imaging Findings Correlated with I. Semelka RC, Kanematsu M, Woosley JT, Armao D, Leonardou P, Mastropasqua M. Pathologic Evaluation in Explanted Livers. Oct. 30, 2002. , 兼松雅之, 平成 14 年度文部科学省在外研究員, 「肝移植の MRI 診断に関する研究」, ノースカロライナ大学放射線科客員教授, 平成 14 年 6 月 1 日 - 平成 15 年 4 月 4 日, 兼松雅之, 平成 14 年度稲盛財団研究助成金, 「慢性肝疾患の臨床診断のためのコンピュータ支援画像診断ソフトウェアの開発」, 平成 14 年 3 月 8 日

産業衛生学分野 厚生労働省・厚生労働科学研究費補助金, 井奈波良一: 上肢における筋骨格系障害の診断と防止に関する研究(2002-, 分担)

東洋医学講座(ツムラ) 年間 180 万円

遺伝子治療再生医科学講座(フェロー) 文部科学省 基盤研究(C)小財健一郎: 新しいベクター開発による先天代謝疾患への新世代肝遺伝子治療法の確立(2000-2001)

文部科学省 基盤研究(C)小財健一郎: 遺伝子治療技術と ES 細胞(胚生幹細胞)による新たな再生医学の開発と先天疾

患への応用 (2002-2003)

文部科学省 奨励研究 (A) 高橋知之: LIM キナーゼ遺伝子の心臓発生過程における機能的役割の解析 (2001-2002)  
小財健一郎 鈴木謙三記念財団邦人医科学応用研究財団第 22 回 (平成 14 年度) 研究助成金 (名古屋) 生活習慣病としての心筋梗塞, 難治性肝炎患に対する, 新しい遺伝子治療法 (HB-EGF, CD9 遺伝子治療) 開発の萌芽的研究 11.28 (2002)  
三上敦 Functional expression of the retrograde transport motor 米国 MDA Development Grant (1999-2002)

組織・器官形成統御部門 平成 13 年度: 持田記念医学薬学振興財団 (國貞隆弘) 100 万, 内藤記念科学振興財団 (國貞隆弘) 150 万, 住友財団 (國貞隆弘) 200 万, 岐阜大学活性化資金 (國貞隆弘) 300 万, 科学研究費 (基 C2, 國貞隆弘) 190 万, 科学研究費 (若手研究, 手塚建一) 250 万円, 他 2 件総計 1790 万円, 平成 14 年度: 科学研究費 (基 C2, 國貞隆弘) 190 万, 科学研究費 (特定領域, 國貞隆弘) 230 万, 科学技術振興調整費 (國貞隆弘) 1566 万, 科学研究費 (萌芽研究, 手塚建一) 240 万, 科学研究費 (若手研究 B, 本橋力) 200 万, 他 4 件総計 3029 万円. 平成 15 年度: 科学研究費 (基盤 B2, 國貞隆弘) 950 万, 科学研究費 (特定領域, 國貞隆弘) 220 万, 科学研究費 (特定領域, 國貞隆弘) 250 万, 科学技術振興調整費 (國貞隆弘) 13,89 万, 科学研究費 (萌芽研究, 手塚建一), 340 万, 科学研究費 (若手研究, 本橋力) 130 万, 他一件総計 3349 万円

高次神経・反射部門 文部科学省科学研究費: 文部省科学研究費基盤研究 (C)(2), 中川敏幸: 神経発生分化におけるカスパーゼの分子メカニズムの解明 (2002-3). 文部省科学研究費特定領域研究 (2), 中川敏幸: Bcl-xL による小胞体ストレス誘導性アポトーシスの制御機構の解明 (2002). 文部省科学研究費特定領域研究 (2), 渡部 稔: 転写因子 FAST-1 を用いた形態形成遺伝子の網羅的探索と機能解析 (2002-3)

その他: 公益信託成茂動物科学振興基金研究助成金, 渡部 稔: アフリカツメガエル左右軸遺伝子の系統的な探索 (2001). 財団法人医薬資源振興会医薬資源研究奨励金, 渡部 稔: TGF の新たな阻害分子 (SID) に関する研究 (2001). 岐阜大学活性化研究費 (コア・プロジェクト), 中川敏幸: カスパーゼによる神経細胞分化誘導因子の探索 (2001). 岐阜大学活性化研究費 (萌芽研究), 渡部 稔: 脊椎動物の正常発生をすすめる遺伝子の系統的探索と機能解析 (2002). 財団法人上原記念生命科学財団, 中川敏幸: 小胞体ストレスとタンパク質活性制御機構 (2002). 財団法人加藤記念バイオサイエンス研究振興財団, 渡部 稔: アフリカツメガエル形態形成遺伝子 XSPR-2' の機能メカニズムの解析 (2002)

微生物・バイオフィーマティクス部門 各年度の厚生科学研究費, 受託研究費, 共同研究費, 文部省科学研究費の合計は下記の通り: 2000 年度一億 3163 万円, 2001 年度 2430 万円, 2002 年度 5052 万円, 2003 年度 2212 万円

生命機能分子設計部門 基盤研究 (B)(2): プロスタグランジン受容体をターゲットとした PET トレーサーの創製と活用, 4,100 千円 (2000 年度). 基盤研究 (A)(2): 神経細胞アポトーシス死阻害剤の開発と脳内動態, 7,000 千円 (2000 年度). 創成的基礎研究: 生体内分子科学, 10,000 千円 (2000 年度). 基盤研究 (B)(2): プロスタグランジン受容体をターゲットとした PET トレーサーの創製と活用, 2,300 千円 (2001 年度), 基盤研究 (A)(2): 神経細胞アポトーシス死阻害剤の開発と脳内動態, 5,600 千円 (2001 年度). 学術創成研究費: 生物新機能と創薬をめざす生体内分子科学, 230,000 千円 (2001 年度). 学術創成研究費: 生物新機能と創薬をめざす生体内分子科学, 220,000 千円 (2002 年度). 基盤研究 (C)(2): 新規エノン型プロスタグランジン分子プローブの創製と活用, 2,200 千円 (2002 年度). 特別研究員奨励費: 3,900 千円, 科学技術振興調整費: 4,177 千円, 岐阜県脳医学研究振興補助金: 1,500 千円 (2002 年度)

知能イメージ情報部門 校費, 学内産官学融合センター重点研究助成金, 文部科学省科学研究費補助金, 企業からの委任経理金, 文部科学省知的クラスター創成事業, 厚生労働省がん研究補助金, (財) ソフトピアジャパンなどからの研究費により講座の運営をしている

再生応用 (循環器内科学) 部門 奨励研究 (A), 土屋邦彦: KATP および Ca チャネルは心筋細胞のアポトーシスに重要な役割を演ずる (2000-2001) 基盤研究 (B), 藤原久義: New in vivo 心筋細胞アポトーシスモデルの開発と Bcl-2 遺伝子治療 (2001-2002) 基盤研究 (C), 湊口信也: 心臓の虚血・再灌流障害に対する可溶性 Fas 遺伝子治療の試み - 最近開発されたガットレス ADV ベクターを用いた検討 - (2001-2002) 基盤研究 (C), 竹村元三: 成人心筋細胞におけるアポトーシス・シグナル伝達機構の特異性の解明 - ラット培養成人心筋細胞を用いた検討 - (2001-2002) 基盤研究 (C), 西垣和彦: 慢性心不全に対するアポトーシス抑制因子可溶性 Fas 遺伝子治療 - 新たに開発されたガットレス adenovirusvector を用いた検討 - (2002-2003) 基盤研究 (C), 土屋邦彦: ES 細胞 (胚性幹細胞) により分化誘導した心筋細胞のイオンチャンネルと超微形態の特徴 - 心筋 ATP 感受性チャンネルと L 型 Ca チャネルについて - (2001-2002). 文部省高度先進医療開発経費, 藤原久義: コロニー刺激因子を用いた骨髄幹細胞移植による心筋梗塞組織の再生療法の開発 (2002-2004). 文部省高度先進医療開発経費, 藤原久義: HMG-CoA 還元酵素阻害剤, スタチン療法の動脈硬化組織性状に与える影響 (2002-2004). 厚生科学研究費, 藤原久義: 我が国の冠動脈疾患に対する治療の予後とコスト (2001-

2003). 日本心臓財団研究助成, 藤原久義: 低リスク安定労作性狭心症に対する薬物療法とインターベンション療法の長期予後とコスト (2001-2005)

倫理・社会医学部門 冒頭記述したとおり, 平成 14 (2002) 年 4 月から, 当倫理・社会医学部門は大学院医学研究科の一部門として教育・研究活動をスタートすることとなった。これにより, 大学から配分された経常的な部門予算は平成 14 年度が 840,000 円であった。また, 再生医科学専攻の施設拡充のための特別予算が平成 14 年度分として 900,000 円配分され, 教育研究設備図書及び教育研究機器備品として, 予算を 100% 執行した。

その他, 民間の研究機関など, 外部団体からの共同研究ならびに受託研究による資金の受け入れの実績はなかった。

輸血部 平成 13 ~ 14 年度科学研究費補助金・基盤研究 (B) (2); 課題番号 13470503: 「バーコード読取機能付き携帯情報端末を用いた医療過誤防止システムの開発と構築」(代表者, 紀ノ定保臣)

総合診療部 石塚達夫: 糖尿病における血小板凝集能亢進と糖尿病性合併症との関連 - 分子生物学的検討 - (文部省基盤研究 (C), 1997-2000)

医療情報部 文部科学省・科学研究費補助金・基盤研究 (B) (2), 紀ノ定保臣: バーコード読取機能付き携帯情報端末を用いた医療過誤防止システムの開発と構築 (2001-2002, 研究代表者), 文部科学省・科学研究費補助金・萌芽研究, 紀ノ定保臣: クリニカルパスの最適化を目的とした総合診療行為履歴データベースシステムの構築 (2002-2003, 研究代表者), 民間等との共同研究 (区分 A), 紀ノ定保臣: 電子カルテシステムにおける患者生体情報管理システムの研究 (2001-2003, 研究代表者)

薬剤部 厚生労働省・厚生科学研究・片桐義博: 再評価制度に基づく医薬品の品質確保に関する研究 (1996-2001), 文部科学省・奨励研究 (B)・後藤千寿: 抗生物質使用量と MRSA 患者数の関係に関する検討 (2002), 文部科学省・奨励研究 (B)・岡安伸二: 腎臓病患者を対象とした薬剤管理指導用「患者向け説明文書」の作成とその評価 (2002), 文部科学省・奨励研究 (B)・高木直子: 薬物療法に起因するインシデント事例の解析 (2002), 文部科学省・奨励研究 (B)・丹羽 隆: クリニカルパスへの薬剤管理指導の導入とその効果の検討 (2002)

生体支援センター 別記共同研究費, 受託研究費, 厚生科学研究費のほか, 奨学寄附金で運用

医学教育開発研究センター (全国共同利用施設) 文部科学省・基盤研究 (A) (2), 高橋優三: 思考促進型医学教材の開発研究 (2002-2003, 代表). 文部科学省・萌芽研究, 鈴木康之: インターネット・テュートリアルによる小児医学教育に関する研究 (2002-2003, 代表). 厚生労働省・厚生科学研究費補助金 “医療技術評価総合研究事業”, 高橋優三: メディカルコミュニケーション技術教育システム開発に関する研究 (2001-2002, 分担)

#### 科学研究費補助金採択状況

(単位 千円)

年度	医学部			附属病院			計		
	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額
平成 10 年度	165	72	145,400	78	25	26,900	243	97	172,300
11 年度	165	64	150,800	88	27	42,800	253	91	193,600
12 年度	133	64	153,116	84	33	43,200	217	97	196,316
13 年度	132	69	180,470	90	31	44,200	222	100	224,670
14 年度	191	77	216,300	99	37	66,000	290	114	282,300

#### 奨学寄附金受入状況

(単位 千円)

年度	医学部		附属病院		計	
	受入件数	歳入額	受入件数	歳入額	受入件数	歳入額
平成 10 年度	274	216,653	192	99,631	466	316,284
11 年度	326	290,118	175	83,988	501	374,106
12 年度	357	301,002	183	90,637	540	391,639
13 年度	295	313,110	205	112,939	500	426,049
14 年度	298	326,204	189	116,984	487	443,188

### 3 学会等における活動状況

#### (細胞情報学分野)

中島 茂：日本アレルギー学会評議員，日本生化学会評議員，中島 茂：日本接着学会論文賞（2002）

#### (分子病態学分野)

日本生化学会（評議員，1993-），岐阜県科学技術振興会議（委員，2001-2002）

#### (薬理病態学分野)

教授 小澤 修：日本内分泌学会代議員（継続中），助教授 松野浩之：日本血栓止血学会評議員（継続中），日本臨床薬理学会評議員・認定薬剤師，指導薬剤師（継続中），助教授（併任）丹羽雅之：日本薬理学会評議員（継続中），日本炎症・再生学会評議員（継続中），日本臨床薬理学会評議員・認定薬剤師（継続中）

#### (腫瘍病理学分野)

学会の役員・委員等：教授 森 秀樹：日本癌学会（評議員，継続中），日本病理学会（評議員，継続中），日本毒性病理学会（監事及び試験委員，継続中），日本トキシコロジー学会（評議員，継続中），日本環境変異原学会（評議員，継続中），Jpn. Soc. Food Factors（評議員，継続中），日本がん予防研究会（世話人，継続中），国際毒性病理学会（評議員，継続中），助教授 原 明：日本脳神経外科学会（評議員，継続中），日本病理学会（評議員，継続中），学会誌の編集委教授：森 秀樹：Carcinogenesis（編集委員），Jpn. J. Cancer Res.（編集委員，-2002.），Rev. Mutat. Research（編集委員），J. Toxicol. Sciences（編集委員），Asian Pacif. J. Cancer Prev.（編集委員），学会等の主催：第14回日本毒性病理学会スライドコンファランス（2001年1月24日，淡路島，森 秀樹）

#### (腫瘍総合外科学分野)

日本外科学会，日本消化器外科学会，日本消化器病学会，日本臨床外科医学会，日本小児外科学会，日本食道学会，日本胃癌学会，日本大腸肛門病学会，日本肝胆膵外科学会，日本乳癌学会，日本癌学会，日本癌治療学会，日本外科系連合学会，日本腹部救急医学会，日本バイオセラピー学会，日本低温医学会等において，各々1～3名の評議員を輩出しており，学会集会においては多くのシンポジウム，パネルディスカッション，ワークショップに参画し，また多数の一般演題も発表した。また，大腸癌研究会，肝癌研究会においては施設会員として参画し，学会集会が開催される毎に，主題に即した基礎的・臨床的研究成果を発表した。

国際的には，アメリカ癌学会（AACR）の active member が2名，アメリカ癌治療学会（ASCO）の active member が1名おり，発表者あるいはスポンサーとして活動している。国際胃癌学会，アジア・太平洋癌学会にも一般演題として発表を行った。2002年9月には，岐阜県高山市で第38回中部外科学会を，2002年11月には岐阜県岐阜市にて第29回日本低温医学会を主催した。

#### (蛋白高次機能学分野)

教授 恵良聖一：日本生理学会（評議員，継続中；教育委員会委員，継続中），日本磁気共鳴医学会（評議員，継続中），日本病態生理学会（評議員，1994 - ）

助教授 桑田一夫：日本生理学会（評議員，継続中），日本磁気共鳴医学会（評議員，1996 - ），日本生物物理学会（分野別専門委員（MRI））

助手 村山幸一：国際近赤外分光学会（評議員），日本生物物理学会（生物物理編集地区委員（中部地区））

#### (神経高次機能学分野)

伊藤和夫：日本解剖学会（評議員），日本神経科学会（専門会員）

中村浩幸：日本解剖学会，日本神経科学会（専門会員）

藤田雅文：日本解剖学会，日本神経科学会（専門会員）

#### (神経・老年学分野)

学会の役員，委員等）教授 犬塚 貴：日本神経学会（評議員，1993-），日本内科学会（評議員，2000-，生涯教育委員，2002-），日本老年医学会（評議員，1999-，教育委員，2001-），日本神経学会免疫学会（評議員，1998-），日本神経感染症学会（評議員，1999-）

助教授 保住 功：日本神経学会（評議員，2001-），日本老年医学会（評議員，2002-），日本内科学会（内科専門医会評議員，2001-），日本内科学会東海地方会（評議員，2000-），メタロチオネイン研究会（幹事，2000-，第4回研究会委員長）学会誌の編集委員等）教授 犬塚 貴：日本老年医学会誌（編集委員），第99回日本神経学会東海北陸地方会（2001年3月3日，未来会館，犬塚 貴），第13回日本老年医学会東海地方会（2002年9月21日，中小企業会館，犬塚 貴），第4回メタロチオネイン研究会（2003年11月21-22日，ぱるる岐阜，保住 功）

#### (神経行動学分野)

学会の役員，委員等）小出浩之：日本精神病理学会（評議員），高岡 健：日本精神神経学会（評議員，学会認定医準備委員会委員，高速バス乗っ取り事件（佐賀 広島）に関わる調査特別委員会委員），日本児童青年精神医学会（理事，子どもの人権と法に関する委員会委員長），日本総合病院精神医学会（評議員，在り方・渉外委員会委員），植木啓文：日本精神神経学会（国際交流委員会委員），日本プライマリ・ケア学会（評議員），日本精神診断学会（評議員），高田知二：日本総合病院精神医学会（有床総合病院精神医療問題委員会委員），柴田明彦：日本児童青年精神医学会（評議員），深尾 琢：日本児童青年精神医学会（評議員），高橋隆夫：日本精神神経学会（評議員），若林慎一

郎：日本小児精神神経学会（理事，名誉会員），日本児童青年精神医学会（認定医審査委員会委員長，名誉会員），日本心身医学会（功労会員），日本発達障害学会（評議員）

学会誌の編集委員等）小出浩之：Psychiatry and Clinical Neurosciences（編集顧問），臨床精神医学（編集顧問），精神医学（編集同人），高岡 健：Psychiatry and Clinical Neurosciences（Advisory editor），精神医療（編集委員），植木啓文：精神療法（編集同人），若林慎一郎：精神医学（編集同人）

学会等の主催）第16回精神病理コロク（2000年12月2-3日，ぎふ長良川ハイツ，小出浩之）

#### （脳神経外科学分野）

教授 坂井 昇：日本脳神経外科学会（評議員），日本脳卒中学会（評議員），日本脳循環代謝学会（評議員），日本脳卒中中の外科研究会（運営委員），日本小児神経外科学会（世話人），日本脳腫瘍の外科学会（運営委員），日本神経外傷学会（世話人），日本脳ドック学会（評議員），日本脳神経CI学会（世話人），Active Member of International Society for Pediatric Neurosurgery

助教授 篠田 淳：日本脳神経外科学会（評議員），日本脳神経外科学会（代議員），World Federation of Neuro-Oncology Societies（active member）

講師 岩間 亨：日本脳神経外科学会（評議員），日本脳卒中学会（評議員），International active member of Congress of Neurological Surgeons

講師 郭 泰彦：日本脳神経外科学会（評議員），日本脳卒中学会（評議員）

併任講師 吉村紳一：日本脳神経外科学会（評議員）

併任講師 矢野大仁：日本脳神経外科学会（評議員）

助手 大江直行：日本脳神経外科学会（評議員）

助手 山田 潤：日本脳神経外科学会（評議員）

#### （平衡・耳鼻咽喉科学分野）

教授 伊藤八次：日本耳鼻咽喉科学会（評議員，継続中），Barany Society（regular member，継続中），International Society for Posture and Gait（member，継続中），日本めまい平衡医学会（理事，2001-，評議員，継続中），耳鼻咽喉科臨床学会（運営委員，継続中）日本耳科学会（評議員，継続中），日本鼻科学会（評議員，継続中），日本口腔咽頭科学会（評議員，継続中），日本喉頭科学会（評議員，継続中），日本気管食道科学会（評議員，継続中）日本頭頸部外科学会（評議員，継続中），日本耳鼻咽喉科感染症研究会（運営委員，継続中），耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会（評議員，継続中），耳鼻咽喉科情報処理研究会（幹事，継続中）

助教授 水田啓介：日本めまい平衡医学会（評議員，継続中）

講師 青木光広：日本めまい平衡医学会（評議員，2001-）

#### （眼科学分野）

教授 山本哲也：日本眼科学会（評議員，継続中），日本緑内障学会（理事，評議員，継続中），日本眼薬理学会（評議員，継続中），日本眼科手術学会（理事，継続中），国際緑内障学会（会員，継続中）助教授 川瀬和秀：日本緑内障学会（評議員），眼科分子生物研究会（世話人）

#### （生体構造学分野）

教授 正村静子：日本解剖学会評議員，日本解剖学会解剖組織技術士資格審査委員会委員，日本臨床電子顕微鏡学会評議員，日本顕微鏡学会関西支部評議員，Associate Editor of American Association of Clinical Anatomists，講師 陳 華岳：日本臨床電子顕微鏡学会評議員

#### （生理機能学分野）

日本生理学会，米国生理学会，病態生理学会，臨床生理学会，自律神経学会，日本神経科学会，北米神経科学会

#### （消化器病態学分野）

学会の役員，委員等）教授 森脇久隆：日本臨床分子医学会（評議員，1991-），日本消化器病学会（評議員，1992-，英文誌編集委員，2000-），日本肝臓学会（評議員，1994-），日本ビタミン学会（評議員，1994-，幹事，1997-，理事，2003-），日本内科学会（評議員，1998-，英文誌編集委員，2000-），日本健康・栄養システム学会（理事，2001-，編集委員，2002-）

助教授 奥野正隆：日本消化器病学会（評議員，2003-），日本肝臓学会（支部評議員，1999-），

講師 永木正仁：日本人工臓器学会（評議員，1999-），日本消化器病学会（評議員，2003-），日本肝臓学会（評議員，2002-），日本臨床分子医学会（評議員，1998-）

助手 内藤智雄：日本消化器病学会（支部評議員，2003-）

学会誌の編集委員等）教授 森脇久隆：医学と薬学（編集委員），Internal Medicine（編集委員），J Gastroenterol（編集委員），J Cancer Res Clin Oncol（編集委員）

助教授 奥野正隆：Hepatology（査読委員），J Hepatol（査読委員），J Gastroenterol Hepatol（査読委員）

学会等の主催）教授 森脇久隆：第32回岐阜県内科医会講演会（2000年10月15日），第2回肝不全治療研究会（2000年10月27日），第11回日本レチノイド研究会（2000年11月20日），第33回岐阜県内科医会講演会（2001年4月8日），平成13年度日本肝臓学会肝臓週間講演会（2001年5月27日），第94回日本消化器病学会東海支部例会（2001年6月16日），日本消化器病学会東海支部第5回教育講演会（2001年6月16日），日本消化器病学会東海支部第40回

市民公開講座(2001年6月17日),第185回日本内科学会東海地方会(2001年10月6日),第34回岐阜県内科医会講演会(2001年10月21日),第23回日本臨床栄養学会総会(2001年11月1日),第12回日本レチノイド研究会学術講演会(2001年11月8日),第35回岐阜県内科医会講演会(2002年4月14日),第36回岐阜県内科医会講演会(2002年10月6日),第37回岐阜県内科医会講演会(2003年4月13日)

(運動器外科学分野)

教授 清水克時:日本学術振興会会長 科学研究費委員会専門委員,第74回日本整形外科学会学術集会(プログラム委員,2000),日本脊椎脊髄病学会(評議員,渉外委員会委員,会則検討委員会委員,2000),Spine across the Sea 2000(プログラム委員,2000),第15回日本整形外科学会基礎学術集会(プログラム委員,2000),日本骨・関節・軟部組織移植研究会(幹事,2000),社団法人日本整形外科学会(第13回専門医試験口頭試験委員,2000),日本骨・関節・軟部組織移植研究会(幹事,2000),第18回東海北陸理学療法士学会,(顧問,2000-2001)

第17回東海地区整形外科診断・治療手技研究会(当番世話人,2001),新OS NOW(編集委員),第74回日本整形外科学会学術集会(プログラム委員,2001),第16回日本整形外科学会基礎学術集会(プログラム委員,2001),第30回日本脊椎脊髄病学会(プログラム委員,2001),第75回日本整形外科学会学術集会(プログラム委員,2001),社団法人日本整形外科学会(代議員選挙管理委員,2001),社団法人日本整形外科学会(専門医制度委員会委員,2001),社団法人日本整形外科学会(中部地区資格認定委員会委員,2001),社団法人日本整形外科学会(第14回専門医試験口頭試験委員,2001),日本再生医療学会(評議員,2001),(財)愛知骨軟部組織移植振興財団(理事,2001),第96回中部日本整形外科災害外科学会(広報委員会委員,2001),日本脊椎脊髄病学会(学術雑誌編集委員会委員 渉外委員会委員長,2001),岐阜整形外科セミナー(顧問,2001),第97回中部日本整形外科災害外科学会(会長,2001),第14回日本軟骨代謝学会(会長,2001),新OS NOW(編集委員,2002),The 2nd Meeting of Advanced Technologies in Spinal Treatment(会長,2002),第18回東海地区整形外科診断・治療手技研究会(当番世話人,2002),第17回日本整形外科学会基礎学術集会,第13回日本臨床スポーツ医学会学術集会,第76回日本整形外科学会学術集会(プログラム委員,2002),日本手の外科学会(評議員,2002),社団法人日本整形外科学会(第15回専門医試験口頭試験委員,2002),社団法人日本整形外科学会(専門医制度委員会ワーキンググループ,2002),東海関節鏡研究会(顧問,2002),第5回日本PLIF研究会(会長,2002),第11回日本インストゥルメンテーション学会(会長,2002),第5回アジア太平洋手の外科学会(組織委員・募金委員,2002),第100回中部日本整形外科災害外科学会(プログラム委員,2002),岐阜リハビリテーション研究会(世話人,2002~),助教授 系数万正:岐阜県整形外科集団会(幹事,継続中),東海関節鏡研究会(幹事,2001),第13回東海関節鏡研究会(当番幹事,2001),助手 福田 雅:第6回岐阜県画像医学研究会(当番世話人,2001),岐阜大学医学部公開講座実施委員会(委員,2001-2002)

(泌尿器病態学分野)

教授 出口隆:日本泌尿器科学会(評議員,教育委員会委員),日本化学療法学会(評議員,臨床試験委員会プロトコール作成委員会(泌尿器科系)委員,学術委員会委員),日本性感染症学会(理事),日本感染症学会(評議員),尿路感染症研究会(幹事),泌尿器科分子・細胞研究会(世話人),日本泌尿器科学会東海地方会(監事)

助教授 石原哲:日本泌尿器科学会(voting member),日本化学療法学会(評議員),日本泌尿器科学会東海地方会(運営委員)

講師 高橋義人:日本泌尿器科学会(voting member),日本Endourology・ESWL学会(教育委員会委員)

講師 江原英俊:泌尿器科分子・細胞研究会(評議員),東海腹膜透析研究会(幹事)

(女性生殖器学分野)

玉舎輝彦:広汎子宮全摘術後の感染症予防のコントロールシー。第18回日本産婦人科感染症研究会(岐阜)H12,7,15

玉舎輝彦:母性,21世紀へのメッセージ。第41回日本母性衛生学会(岐阜)H12,9,28-29

玉舎輝彦:21世紀の漢方治療・駆?血剤と補剤。道北産婦人科医会4月例会(旭川)H13,4,6

玉舎輝彦:21世紀の漢方治療・駆?血剤と補剤。第2回山形県産科婦人科漢方研究会学術集会(山形)H13,6,8

玉舎輝彦:Rokitansky症候群を考える。第3回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜)H13,6,22

玉舎輝彦:性差からみる性ステロイドと関係する疾患とEBM。第7回高知県内分泌代謝研究会(高知)H13,10,3

玉舎輝彦:ホルモン依存性腫瘍の増殖抑制。第9回近畿 GnRH研究会(大阪)H13,11,17

玉舎輝彦:21世紀における女性の健康と疾患について。岐阜県鍼灸師マッサージ師 涯教育研修会(岐阜)H14,10,27

玉舎輝彦:環境ホルモン。京都府立医科大学学友会岐阜県支部総会(岐阜)H14,11,17

玉舎輝彦:婦人科腫瘍とホルモン支配。婦人科疾患を考える・北陸セミナー(金沢)H14,11,30

三嶋廣繁:マクロライド系抗菌薬に関する最新の知見。中濃医学セミナー(美濃加茂)H12,7,28

荒堀憲二:避妊の指導を巡る諸問題。第30回全国性教育研究大会・全国性教育研究体連絡協議会(京都)H12,8,3

玉舎輝彦:環境ホルモンとエストロゲン作用。厚生科研石川班第1回班会議(旭川)H12,8,11

川崎市郎:産婦人科「産科領域での超音波検査の在り方」。第89回超音波診断法講習会(名古屋)H12,9,3

玉舎輝彦:補助生殖医療と高度先進医療。H12年度医学概論講義(岐阜)H12,9,7

藤本次良:女性生殖器癌における血管新生とその制御。第6回北陸婦人科腫瘍講演会(金沢)H12,9,9

山田新尚:岐阜県母性衛生学会活動の現況と未来。第41回日本母性衛生学会(岐阜)H12,9,28-29

荒堀憲二:女性受刑者と母性。第41回日本母性衛生学会(岐阜)H12,9,28-29

三鴨廣繁：母性と細菌感染症。第41回日本母性衛生学会（岐阜）H12,9,28-29

横山康宏：Telomerase in gynecologic field; Expression and suppression. 浙江大学学術講演会（中国,浙江省）H12,10,11

玉舎輝彦：環境ホルモンとは。平成12年度女性のための公開講座（岐阜）H12,11,11

玉舎輝彦：女性における駆？血と補益。第30回日本東洋医学会東海支部学術総会（名古屋）H12,11,19

三鴨廣繁：性に関する講話。岐阜県高等学校教育研究会保健部会岐阜地区研修会（岐阜）H13,2,6

川鱒市郎：周産期の超音波診断。静岡県東部産婦人科医会学術講演会（富士市）H13,2,8

川鱒市郎：産婦人科領域における最近の超音波診断。北河内地区学術講演会（大阪）H13,2,10

荒堀憲二：家庭内暴力から見た女性の心理。平成13年度全国助産婦教育協議会・講演会（東京）H13,3,3

川鱒市郎：産婦人科領域における画像診断。第16回岐阜支部画像研究会（岐阜）H13,3,24

玉舎輝彦：基礎助産学 産科学の現状。岐阜県立衛生専門学校助産学科（岐阜）H13,4,13

荒堀憲二：女性のトラウマ。第10回トラウマカウンセリング勉強会・岐阜（岐阜）H13,4,14

川鱒市郎：産婦人科における最近の超音波診断。兵庫県産科婦人科学会認定医生涯研修会（尼崎）H13,4,14

玉舎輝彦：少子化および高齢化に伴う子育てに対する不安や悩みの解消。東近江子育ての会（近江八幡）H13,4,14

玉舎輝彦：婦人科疾患。（社）日本東洋医学会専門医制度委員会主催学術講演会（東京）H13,4,15

三鴨廣繁：B群レンサ球菌（GBS）の病原性とその発現機構。札幌市産婦人科医会平成13年度春季総会学術講演会（札幌）H13,4,21

荒堀憲二：性講話・これからの若者に必要な性の知識。羽島北高校（羽島）H13,5,9

荒堀憲二：思春期の子を持つ母と子。羽島市保育園保護者連合会総会・基調講演（羽島）H13,5,30

荒堀憲二：いのちのバトンタッチを考える。曹洞宗務所・平成13年度寺族中央集会（横浜）H13,6,5

川鱒市郎：明日の親学級・妊婦さんの勉強会。平成13年度巢南町公民館講座（岐阜県巢南町）H13,6,14

三鴨廣繁：産婦人科領域感染症研究の臨床応用。第227回筑後ブロック産婦人科医会研修会（久留米）H13,6,20

三鴨廣繁：性について。岐阜県立東濃実業高等学校（岐阜）H13,6,22

三鴨廣繁：現代の性感染症とその実態。エイズサポートぎふ第7回総会と講演（岐阜）H13,6,24

玉舎輝彦：産科の歴史と先端医療。医学史 岐阜大学 H13,6,27

三鴨廣繁：STIについて。岐阜県立岐阜北高等学校（岐阜）H13,6,27

荒堀憲二：保健講話。加茂農林高校（美濃加茂）H13,7,4

荒堀憲二：性教育講話。飯田長姫高校（飯田）H13,7,10

三鴨廣繁：最近、若者に広がっている性感染症の症状と予防について。岐阜県立岐陽高等学校（岐阜）H13,7,11

三鴨廣繁：青少年に増加している性感染症について。岐阜県立東濃実業高等学校（岐阜）H13,7,12

三鴨廣繁：性に関する講話。岐阜県立岐阜総合学園高等学校（岐阜）H13,7,12

三鴨廣繁：産科婦人科領域細菌感染症の最近の話題。第2回三重県産婦人科感染症研究会（津）H13,7,19

三鴨廣繁：現代の性感染症とその実態。岐阜県立加納高等学校（岐阜）H13,7,19

玉舎輝彦：喘息患者の経口避妊薬の使用。7月のラジオ短波放送番組 日産婦人科医報（東京）H13,7,23

山田新尚：「増える子どもの虐待」病院での取り組み。三重県看護協会研修会（津）H13,7,24

三鴨廣繁：カルバペネム系抗菌薬の適正使用。ラクタム講演会（東京）H13,7,24

玉舎輝彦：子宮内膜癌の一次予防とサイトカイン。第2回ホルモンと癌研究会（大阪）H13,7,27-28

玉舎輝彦：補助生殖医療など高度先進医療。平成13年度医学概論（岐阜大学内）H13,9,6

三鴨廣繁：生と性について考えよう。岐阜県立本巣高等学校（岐阜）H13,9,13

荒堀憲二：プレママ・プレパパ教室。母子衛生研究会（名古屋）H13,9,30

川鱒市郎：「こどもの健康と生活環境」こどもの事故と予防 - こどもに多い外傷とチャイルドシートの効用 -。平成13年度岐阜県小児保健協会総会並びに研究発表会・こどもの健康を考えるつどい（岐阜）H13,10,11

川鱒市郎：「トヨタ・チャイルドセーフティコミュニケーション」子供の身体的特徴とチャイルドシートの必要性。トヨタ自動車株式会社・子供の安全ネットワークジャパン（岐阜）H13,10,20

三鴨廣繁：高校生の性について。岐阜県立可児高等学校（岐阜）H13,10,25

玉舎輝彦：少産少子を考える。第13年度女性のための公開講座（岐阜）H13,10,27

荒堀憲二：虐待問題から見たこれからの子育て。岐阜県人権擁護委員会研修会（岐阜）H13,11,5

玉舎輝彦：シリーズ先達者に聞く『漢方診療のコツ』。第31回日本東洋医学会東海支部学術総会（名古屋）H13,11,11

三鴨廣繁：最近、高校生を含む若者に広がっている性感染症の症状と予防法について。岐阜市立岐阜商業高等学校（岐阜）H13,11,14

荒堀憲二：心のケアと子育てについて。中島中学校区地域学校保健委員会（羽島）H13,11,15

三鴨廣繁：性感染症について。岐阜県立中濃西高等学校（岐阜）H13,11,15

藤本次良：婦人科癌および辺縁疾患における血管新生とチミジンフォスフォリラーゼ。第31回日本婦人科腫瘍学会学術集会 ランチョンセミナー（大阪）H13,11,29-30

三鴨廣繁：産科婦人科領域における感染症の起炎菌と抗菌化学療法。第24回日本産婦人科手術学会（大阪）H13,12,1

藤本次良：エストロゲンレセプターと婦人科疾患。第9回愛知乳腺疾患勉強会（名古屋）H14,3,1

荒堀憲二：熟年女性のクオリティ・オブ・ライフ。健康と福祉を考える集い（伊那市）H14,3,2  
 藤本次良：レクチャーシリーズ・どうあるべきか 21 世紀の女性医療「婦人科腫瘍と血管新生」。第 54 回日本産科婦人科学会（東京）H14,4,6-9  
 玉舎輝彦：産科学の現状。県立衛生専門学校基礎助産学 講義（岐阜）H14,4,12  
 三鴨廣繁：性について。羽島北高等学校（羽島）H14,5,8  
 三鴨廣繁：抗菌薬の選択と使用方法に関して。カルバペネム適性使用研究会・住友製薬㈱（京都）H14,5,17  
 三鴨廣繁：性教育「性に関する講話」。岐阜県立羽島高等学校（羽島）H14,5,22  
 荒堀憲二：性被害。岐阜県生涯教育センター相談員研修会（岐阜）H14,5,29  
 三鴨廣繁：座談会「臨床におけるカルバペネム系抗菌薬の位置付け」。明治製薬㈱オメガシン発売記念講演会（岐阜）H14,5,31  
 丹羽憲司：子宮内膜発癌に対する十全大補湯の抑制作用。第 53 回日本東洋医学会学術総会（名古屋）H14,5,31-6,2  
 三鴨廣繁：性感染症・産婦人科診察室からのメッセージ。山県高等学校（岐阜）H14,6,5  
 玉舎輝彦：不妊不育症治療。全学共通教育「現代医療の最先端」講義（岐阜大学内）H14,6,5  
 三鴨廣繁：性感染症診断・治療のガイドライン。第 13 回岐阜県産婦人科感染症研究会（岐阜）H14,6,8  
 高橋雄一郎,川鱈市郎,玉舎輝彦：分娩管理・よりよいお産のために。平成 14 年度岐阜県産科婦人科学会・医会合同総会（岐阜）H14,6,9  
 三鴨廣繁,玉舎輝彦：感染とパートナーシップ。平成 14 年度岐阜県産科婦人科学会・医会合同総会（岐阜）H14,6,9  
 三鴨廣繁：性講話。岐阜女子商業高等学校（岐阜）H14,6,14  
 玉舎輝彦：「美しく楽しい更年期を」ホルモン補充治療の最近の話題。岡崎市医師会健康教育講座（岡崎）H14,6,16  
 玉舎輝彦：産婦人科の歴史から先端医療まで。医学史講義（岐阜大学内）H14,6,26  
 三鴨廣繁：性に関する講話。岐阜県立岐阜藍川高等学校（岐阜）H14,6,27  
 三鴨廣繁：最近の耐性菌に関して。抗菌薬の選択基準に関する研究会・住友製薬㈱（広島）H14,6,28  
 三鴨廣繁：性感染症。岐阜県立白川高等学校（岐阜）H14,7,3  
 三鴨廣繁：性感染症。岐阜県立益田南高等学校（岐阜）H14,7,4  
 玉舎輝彦：補助生殖医療など高度先進医療。医学概論講義（岐阜大学内）H14,7,4  
 荒堀憲二：子どもの育ちを考える。羽島市児童虐待防止連絡会発足会（羽島）H14,7,4  
 三鴨廣繁：「婦人科領域の SIRS について」血流感染・血液培養セミナー第 1 回学術講演会。㈱日本薬学会（東京）H14,7,6  
 三鴨廣繁：性教育講話。岐阜県立長良高等学校（岐阜）H14,7,11  
 玉舎輝彦：プロラクチンをめぐる話題。臨床講義（岐阜大学内）H14,7,12  
 山田新尚：DV に子ども虐待が重なった事例・難しい...だからこそネットワークで。平成 14 年度児童虐待予防研修会（岐阜）H14,7,19  
 三鴨廣繁：臨床微生物学から見た最近の産婦人科領域感染症。長野市産婦人科医会学術講演会（長野）H14,7,22  
 三鴨廣繁：高校生のための性講話 - 性感染症・望まない妊娠を防ぐために -。中濃地域保健所郡上センター（郡上八幡）H14,7,26  
 三鴨廣繁：嫌気性菌感染症に対する勉強会「嫌気性菌感染症の対策に関して」。住友製薬㈱横浜支店（横浜）H14,7,26  
 三鴨廣繁：感染症対策勉強会「抗菌薬の効果的な使用方法に関して」。住友製薬㈱札幌支店（札幌）H14,8,9  
 川鱈市郎：周産期の画像診断。京都府産婦人科医会学術講演会（京都）H14,8,17  
 山際三郎：産婦人科医師から見た性犯罪、緊急避妊、性病について。岐阜県警察本部（岐阜）H14,9,2  
 荒堀憲二：性といのちの教育。苫小牧性協市民講演会（苫小牧市）H14,9,3  
 荒堀憲二：性教育講演会。駒沢大学附属苫小牧高等学校（苫小牧市）H14,9,4  
 荒堀憲二：性教育講演会。苫小牧総合学園高校（苫小牧市）H14,9,4  
 川鱈市郎：妊娠期子育て講座「育児と父親の役割」。妊娠期両親学級（御嵩町）H14,9,8  
 山際三郎：性講話。岐阜県立斐太農林高等学校（岐阜）H14,9,10  
 玉舎輝彦：女性と？血。総合医学講義（岐阜大学内）H14,9,11  
 荒堀憲二：思春期の子ども達への性指導のあり方。羽島市学校教育研究会・養護教諭部会（羽島）H14,9,13  
 玉舎輝彦：Rokitansky 症候群を考える。第 47 回日本不妊学会学術講演会（岐阜）H14,10,3  
 川鱈市郎：周産期専門相談会。愛知県地域周産期医療センター（小牧）H14,10,5  
 三鴨廣繁：外科領域感染症の予防と最新治療についての最新知見・意見交換。Symposium on Surgical Infections（東京）H14,10,5  
 川鱈市郎：超音波胎児診断・その前にちょっとだけチャイルドシート。産婦人科超音波研究会（福島）H14,10,17  
 三鴨廣繁：性感染症。恵那北高等学校（恵那）H14,10,17  
 高橋雄一郎：下大静脈血流と子宮収縮。第 4 回日本イアン・ドナルド超音波講座（名古屋）H14,10,26-27  
 三鴨廣繁：微生物検査に期待されるもの「産婦人科領域における細菌感染症」。第 9 回中部微生物検査研究班宿泊研修会（恵那）H14,10,27  
 玉舎輝彦：産婦人科疾患の漢方治療について。平成 14 年度日本東洋医学会関西支部例会（京都）H14,10,27

三鴨廣繁：高校生の性の実態とその対応について・性教育に関する指導の在り方。岐阜県立岐阜商業高等学校職員研修会（岐阜）H14,10,29

三鴨廣繁：高校生の生と性について。岐阜県立中濃高等学校（岐阜）H14,10,30

三鴨廣繁：性に関する講話 - 今大切なこと・気をつけること -。岐阜県立岐阜三田高等学校（岐阜）H14,11,6

三鴨廣繁：産婦人科領域における耐性菌の現況。三河耐性菌感染症研究会（知立）H14,11,8

三鴨廣繁：産婦人科感染症。第69回明石市産婦人科医会学術講演会（明石）H14,11,9

荒堀憲二：虐待問題から見たこれからの養育環境。岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会（羽島）H14,11,14

玉舎輝彦：不妊症患者へのサポート。第14年度女性のための公開講座（岐阜）H14,11,16

松波和寿：不妊患者へのサポート・病院の立場。第14年度女性のための公開講座（岐阜）H14,11,16

古井辰郎：「不妊症」原因及び病態などについて。岐阜県鍼灸師マッサージ師生涯教育研修会（岐阜）H14,11,24

三鴨廣繁：思春期の性感染症・現状とその対応。平成14年度思春期保健関係者研修会（郡上）H14,11,27

玉舎輝彦：女性疾患とサイトカイン。第17回日本生殖免疫学会ランチョンセミナー（大阪）H14,11,30

高橋雄一郎：分娩監視装置の周産期医療における活用法について。東濃産婦人科医会（多治見）H14,11,30

川鱒市郎：子どもの事故のための実践活動。子どもの事故予防関係職員研修会（各務原）H14,12,6

荒堀憲二：性教育。平成14年度岐阜県高校、特殊初任者校外研修会（岐阜）H14,12,10

古井辰郎：「不妊症」治療方法・不応症の対応などについて。岐阜県鍼灸師マッサージ師生涯教育研修会（岐阜）H14,12,22

玉舎輝彦：老年期・女性の高齢化と漢方。女性の医療と漢方 エージング、ライフスタイルの観点からみた役割・ツムラ（ラジオたんぱ）H14,12,25

三鴨廣繁：深在性真菌症。深在性真菌症勉強会（岐阜）H15,1,10

三鴨廣繁：エイズについての研修。金山町立金山小学校（岐阜）H15,1,16

三鴨廣繁：高校生の性意識について。多治見工業高等学校（多治見）H15,1,23

三鴨廣繁：女子生徒に対する性講話。中京高等学校（瑞浪）H15,2,7

三鴨廣繁：キャンディン系抗真菌薬を含めた深在性真菌症薬物治療についての検討。第1回キャンディン研究会（東京）H15,2,8

川鱒市郎：切迫早産実態調査結果発表会。キッセイ薬品工業株（東京）H15,2,17

三鴨廣繁：平成14年度健康相談活動支援体制整備事業・第2回連絡協議会。岐阜教育委員会（岐阜）H15,2,20

三鴨廣繁：深在性真菌症の診断と薬物治療についての検討。感染症学術講演会（岐阜）H15,3,15

三鴨廣繁：肺炎球菌。耐性菌フォーラム学術講演会（岐阜）H15,3,29

Fujimoto J, Sakaguchi H, Aoki I, Tamaya T: Endometrial cancer in chronic anovulation. X<sup>th</sup> Asian and Oceania Congress of Obstetrics & Gynaecology (Singapore) July 9-14, 2000

丹羽憲司：若年性子宮頸部初期病変に対する LEEP 円錐切除術前後における HPV 検出の意義。日中漢方医学講演会・岐阜漢方研究会（上海, 中国）July 9, 2000

松波和寿：日本の生殖補助医療。日中漢方医学講演会・岐阜漢方研究会（上海, 中国）July 9, 2000

山際三郎：温泉療法と更年期。日中漢方医学講演会・岐阜漢方研究会（上海, 中国）July 9, 2000

玉舎輝彦：日本での母性の変化。日中漢方医学講演会・岐阜漢方研究会（上海, 中国）July 9, 2000

藤本次良：女性生殖器癌における血管新生とその制御。厚生省がん克服戦略研究事業坂本班 H12 年度第1回班会議（東京）H12,9,14

Iwagaki S, Misao R, Sun WS, Fujimoto J, Tamaya T: Coexpression of growth arrest -specific gene 6 and receptor-type tyrosine kinase Ax1 and Sky in human uterine endometrium and ovarian endometriosis. International Symposium on Cell and Molecular Biology of Endometrium in Health and Disease (Kobe, JAPAN) October 3-5, 2000

藤本次良, 坂口英樹, 青木生美, 豊木 廣, 玉舎輝彦：子宮頸癌における血管新生とその特徴。第59回日本癌学会（横浜）H12,10,4-6

三鴨廣繁：岐阜県下より分離された Haemophilus influenzae の血清型別。第7回臨床細菌研究会（岐阜）H12,10,14

Fujimoto J, Sakaguchi H, Aoki I, Tamaya T: Angiogenesis in female genital tract cancers. 5th World Congress on Advances in Oncology (Crete, GREECE) October 19-21, 2000

丹羽憲司, 橋本 緑, 田上慶子, 玉舎輝彦：子宮内膜癌の一次予防とサイトカインの関与。第38回日本癌治療学会（仙台）H12,10,22-24

山本和重：気腹法 VS 腹壁吊り上げ法 - その実際とメリット・デメリット - 気腹法の立場から。第2回東海産婦人科内視鏡懇話会（名古屋）H12,10,28

伊藤直樹：環境ホルモンのヒトへのかわり・産婦人科医の立場から。平成12年度女性のための公開講座（岐阜）H12,11,11

藤本次良：女性生殖器がんにおける血管新生とその制御。厚生省がん克服戦略研究事業分野5総括班会議（東京）H12,11,21

Fujimoto J, Sakaguchi H, Aoki I, Khatun S, Tamaya T: Angiogenesis in gynecological cancers and its inhibition. The 2nd

Roche International Symposium on Cancer Sesarach (Tokyo, JAPAN) November 24-25, 2000

山本和重: 2 回の腹腔鏡下手術後に生児を得た進行子宮頸癌合併不妊症の一症例。第 12 回日本内視鏡外科学会総会(大阪) H12, 12, 14

松本 貴, 山本和重: 腹腔鏡下子宮全摘術に対する遠隔手術支援。第 12 回日本内視鏡外科学会総会(大阪) H12, 12, 14  
坂口英樹, 藤本次良, 玉舎輝彦: 性ステロイド誘導関連因子の動態変化による子宮内膜症の腫瘍性格。第 22 回エンドメトリオーシス研究会(大阪) H13, 1, 18-19

三鴨廣繁: 診療科別にみた感染症 依頼・検査・報告のあり方 - 産婦人科臨床から -。第 12 回日本臨床微生物学会(岐阜) H13, 2, 3-4

山田新尚: 「病院内ネットワークで子どもと家族に関わる視点」岐阜県立岐阜病院児童虐待予防連絡委員会。平成 13 年度児童虐待予防研修会(岐阜) H13, 6, 22

安田香子: 岐阜県における外科系女性医師の現状。第 26 回日本外科系連合学会学術集会(東京) H13, 6, 28-29

三鴨廣繁: 臨床細菌学から見た産婦人科悪性腫瘍術後感染症予防。第 19 回日本産婦人科感染症研究会(旭川) H13, 7, 7  
操 由美子, 岩垣重紀, 高橋雄一郎, 川鱈市郎, 玉舎輝彦: 早期発症 TTTS の受血児・供血児に対する子宮収縮の影響について。第 37 回日本新生児学会総会(横浜) H13, 7, 15-16

藤本次良, 玉舎輝彦: 「子宮内膜癌の取り扱い Update」ホルモン療法。第 30 回日本婦人科腫瘍学会学術集会(横浜) H13, 7, 26-28

横山康宏: 「21 世紀における癌治療の展望」テロメラーゼ RNA を標的にしたりボザイムによる癌治療。第 19 回日本ヒト細胞学会大会(東京) H13, 8, 24-25

高橋雄一郎, 岩垣重紀, 操 由美子, 川鱈市郎, 玉舎輝彦: Preload index は子宮収縮により変化する

陣痛モニターの基礎と臨床。第 24 回日本産科婦人科 ME 学会(福岡) H13, 8, 25-26

藤本次良: 女性生殖器がんにおける血管新生とその制御。厚生労働省がん克服戦略研究事業坂本班 H13 年度第 1 回班会議(東京) H13, 9, 14

山本和重: 救急医療と内視鏡手術・当科における緊急腹腔鏡下手術の現状。第 14 回日本内視鏡外科学会総会(札幌) H13, 9, 21

Mills GB, Furai T, Eder A, Fang X, Aoki J, Hasegawa Y, Erickson JR: Role of lysophospholipids in the diagnosis, pathophysiology and management of ovarian cancer. The Seventh International Congress on Platelet-Activating Factor and Lipid Mediators (PLM2001) (Tokyo, JAPAN) September 24-27, 2001

Fujimoto J, Aoki I, Toyoki H, Khatun S, Tamaya T: Clinical implication of estrogen receptor expression in women. 4th International Symposium on Molecular Medicine (Hersonissos, Crete, GREECE) October 18-20, 2001

荒堀憲二: 十代女性の性被害と性暴力。第 3 回性科学連合セミナー(千葉) H13, 10, 20

山本和重, 中西順子, 廣瀬玲子, 伊藤邦彦: 腹腔鏡下子宮外妊娠手術の実際・大量出血例の取り扱い。第 3 回東海産婦人科内視鏡懇話会(名古屋) H13, 10, 27

山田新尚: 少産少子を考える・医師の立場から。平成 13 年度女性のための公開講座(岐阜) H13, 10, 27

丹羽憲司: 婦人科癌症例における抗癌化学療法後の血小板減少症に対する十全大補湯の有用性。第 39 回日本癌治療学会総会(広島) H13, 11, 7-9

丹羽憲司: 若年性子宮内膜癌に対する温存療法とその限界。第 39 回日本癌治療学会総会(広島) H13, 11, 7-9

横山康宏ほか: 手術オンラインオーダリングに関わる問題点。第 23 回日本手術医学会総会(東京) H13, 11, 9

三鴨廣繁: 分離された A 群連鎖球菌の細菌学的特徴について。第 8 回臨床細菌研究会(岐阜) H13, 11, 10

Sakaguchi H, Fujimoto J, Aoki I, Toyoki H, Khatun S, Tamaya T: Estrogen receptor alpha and beta expressions in uterine endometrial and ovarian cancers. 3rd Biennial International Meeting of the Flemish Gynaecological Oncology Group (Brussels, BELGIUM) November 29 - December 1, 2001

藤本次良: 女性生殖器がんにおける血管新生とその制御。厚生省がん克服戦略研究事業分野 5 総括班会議(東京) H13, 12, 7

三鴨廣繁, 玉舎輝彦: 婦人科感染症の立場から・嫌気性菌感染症治療薬の選択基準。第 49 回日本化学療法学会西日本支部総会(名古屋) H13, 12, 6-7

藤本次良: 女性生殖器がんにおける血管新生とその制御。厚生労働省がん克服戦略研究事業坂本班 H13 年度第 2 回班会議(東京) H14, 1, 18

今井篤志: 異所性ペプチドホルモン受容体のシグナル伝達。第 92 回日本麻酔科学会東海地方会(岐阜) H14, 2, 23

三鴨廣繁, 玉舎輝彦: 日本の手術部位感染の現状分析・産婦人科手術の SSI。第 76 回日本感染症学会総会(東京) H14, 4, 11-12

Fujimoto J, Aoki I, Toyoki H, Khatun S, Tamaya T: Clinical implication of estrogen receptor- expression in female genital tract. 15th International Symposium of the Journal of Steroid Biochemistry and Molecular Biology (Munich, GERMANY) May, 17-20, 2002

Fujimoto J, Sun WS, Misao R, Aoki I, Toyoki H, Tamaya T: Expression of ER- exon deleted variant messenger RNAs in ovary and uterine endometrium. 15th International Symposium of the Journal of Steroid Biochemistry and Molecular Biology (Munich, GERMANY) May, 17-20, 2002

Aoki I , Fujimoto J , Sakaguchi H , Khatun S , Toyoki H , Tamaya T : Sex steroidal regulation of platelet-derived endothelial cell growth factor expression in uterine endometrial cancer cells. 15th International Symposium of the Journal of Steroid Biochemistry and Molecular Biology ( Munich , GERMANY ) May , 17-20 , 2002

三嶋廣繁 , 玉舎輝彦 : 感染症。第 53 回日本東洋医学会学術総会 ( 名古屋 ) H14 , 5 , 31 -6 , 2

Kawabata I: What is a role of MRI during pregnancy. 12th Taiwan-Japan Symposium on Obstetrical / Gynecological Ultrasound & Perinatology ( Keelung , TAIWAN ) June , 14-16 , 2002

Takahashi Y : Uterine contractions increase fetal heart preload. 12th Taiwan-Japan Symposium on Obstetrical / Gynecological Ultrasound & Perinatology ( Keelung , TAIWAN ) June , 14-16 , 2002

Iwagaki S : Amnioreduction decrease the recipient fetal preload of early onset twin-twin transfusion syndrome. 12th Taiwan-Japan Symposium on Obstetrical / Gynecological Ultrasound & Perinatology ( Keelung , TAIWAN ) June , 14-16 , 2002

玉舎輝彦 : 21 世紀の漢方診療における補剤の有用性。南飛驒 CAM 国際シンポジウム ( 岐阜 ) H14 , 6 , 22

今井篤志 : 生殖器腫瘍の GnRH 受容体と抗増殖シグナリング。第 3 回ホルモンと癌研究会 ( 仙台 ) H14 , 8 , 2-3

Fujimoto J , Tamaya T : Angiogenic factors and sex steroid effects in human endometrial carcinoma. International Symposium on Cell and Molecular Biology of Endometrial Carcinoma ( Kitasato Institute , JAPAN ) August , 30-31 , 2002

Niwa K , Tamaya T : Inhibitory effects of phytoestrogens and related herbal extracts on mouse endometrial carcinogenesis. International Symposium on Cell and Molecular Biology of Endometrial Carcinoma ( Kitasato Institute , JAPAN ) August , 30-31 , 2002

藤本次良 : 女性生殖器がんにおける血管新生とその制御。厚生労働省がん克服戦略研究事業坂本班 H14 年度第 1 回班会議 ( 東京 ) H14 , 9 , 13

今井篤志 : 不妊症と手術 - 可能性と限界 - 「不妊症と子宮筋腫核出術」。第 47 回日本不妊学会学術講演会 ( 岐阜 ) H14 , 10 , 3

丹羽憲司 : 癌治療における妊孕性維持への工夫・子宮癌に関して。第 47 回日本不妊学会学術講演会 ( 岐阜 ) H14 , 10 , 3

伊藤直樹 : 内分泌攪乱物質と生殖生理・免疫系。第 47 回日本不妊学会学術講演会 ( 岐阜 ) H14 , 10 , 4

Takahashi Y , Kawabata I , Tamaya T : Uterine contractions increase fetal heart preload. /amnioinfusion and amnioreduction : Are they effective tools for fetuses . Korean Society of Ultrasound in Obstetrics and Gynecology (KSUOG) in the 5th annual meeting (Mujoo , Korea) October , 11 , 2002

田上慶子 , 丹羽憲司 , 伊藤直樹 , 玉舎輝彦 : 子宮内膜増殖症におけるがん予防としてのアスピリン , MPA 療法と COX-2 発現。第 40 回日本癌治療学会総会 ( 東京 ) H14 , 10 , 16-18

佐藤英理子 , 藤本次良 , 青木生美 , 豊木 廣 , 玉舎輝彦 : 子宮内膜癌における腫瘍休眠療法。第 40 回日本癌治療学会総会 ( 東京 ) H14 , 10 , 16-18

山本和重 , 平工由香 , 中西順子 , 伊藤邦彦 : 卵巣腫瘍核出後の縫合法についての一考察・死腔縫合は、はたして必要なのか。第 4 回東海産婦人科内視鏡懇話会 ( 名古屋 ) H14 , 10 , 19

藤本次良 : 女性生殖器がんにおける血管新生とその制御。厚生労働省がん克服戦略研究事業 H14 年度森山班総括班会議 ( 東京 ) H14 , 11 , 1

Fujimoto J , Aoki I , Toyoki H , Khatun S , Tamaya T: Tumor dormancy therapy for uterine cervical cancers. The 3rd International Symposium on Cancer Reseach and Therapy ( Tokyo , JAPAN ) November , 22-23 , 2002

山本和重 , 平工由香 , 中西順子 , 伊藤邦彦 : 腹腔鏡下広汎子宮全摘 / 骨盤リンパ節廓清手術 4 症例の経験。第 8 回岐阜内視鏡外科研究会 ( 岐阜 ) H14 , 12 , 14

伊藤直樹 : Overview。岐阜県母性衛生学会第 18 回学術講演会 ( 岐阜 ) H15 , 1 , 19

藤本次良 , 豊木 廣 , 孫 文壑 , スフィアカートン , 青木生美 , 佐藤英理子 , 玉舎輝彦 : ネオバスキュラリゼーション。第 24 回エンドメトリオーシス研究会学術講演会 ( 岐阜 ) H15 , 1 , 23-24

横山康宏 , 唐 柳林 , 玉舎輝彦 : 子宮内膜症 / 子宮腺筋症と悪性腫瘍との共存と関連・卵巣類内膜癌。第 24 回エンドメトリオーシス研究会学術講演会 ( 岐阜 ) H15 , 1 , 23-24

山下 剛 , 伊藤直樹 , 玉舎輝彦ほか : 子宮内膜癌における子宮腺筋症の合併について。第 24 回エンドメトリオーシス研究会学術講演会 ( 岐阜 ) H15 , 1 , 23-24

藤本次良 : 女性生殖器がんにおける血管新生とその制御。厚生労働省がん克服戦略研究事業坂本班 H14 年度第 2 回班会議 ( 東京 ) H15 , 1 , 24

Kawabata I: Evaluation of placenta and maternal pelvis by MRI. 1st World Congress of Perinatal Medicine in Developing Countries (Tuzla , BOSNIA AND HERZEGOVINA) September 9-12 , 2000

Kawabata I: Prenatal diagnosis of fetal abnormality using MRI. 1st World Congress of Perinatal Medicine in Developing Countries (Tuzla , BOSNIA AND HERZEGOVINA) September 9-12 , 2000

Mikamo H , Shimamura Y , Uesugi K , Fukayama N , Satoh M , Tamaya T: Penetration of ravuconazole , a new triazole antifungal , into rat tissues. 40th Interscience Conference on Antimicrobial Agnets and Chemotherapy (Tronto , Ontario , CANADA) September 17-20 , 2000

Takahashi Y , Kawabata I , Tamaya T: Effect of uterine contraction on preload index in recipient fetus and reverse end-diastolic flow of umbilical artery in donor fetus. - A case of feto-fetal transfusion syndrome -. 10th World Congress on Ultrasound in

Obstetrics and Gynecology (Zagreb ,CROATIA) October 4-7 ,2000

Niwa K , Hashimoto M , Lian Z , Tagami K , Tamaya T: Preventive effects of glycyrrhizae radix extract on estrogen-related endometrial carcinogenesis in mice. 5th International Symposium on Predictive Oncology & Therapy (Geneva , SWITZERLAND) October 28-31 ,2000

Takahashi Y , Kawabata I , Tamaya T : Transabdominal amniocentesis changes fetal Doppler findings on growth restricted fetus. 11th Japan-Taiwan Symposium on Ultrasound in Ob/ Gyn Perinatology 第 3 回日本イアン・ドナルド超音波講座 ( Echigoyuzawa , JAPAN ) April 1-3 ,2001

川鱈市郎 : MRI vs 超音波・MRI vs Ultrasonography. 11th Japan-Taiwan Symposium on Ultrasound in Ob/ Gyn Perinatology 第 3 回日本イアン・ドナルド超音波講座 ( Echigoyuzawa , JAPAN ) April 1-3 ,2001

Niwa K , Hashimoto M , Lian Z , Tagami K , Tamaya T : Conservative therapy for endometrial carcinoma in young women treated with repeated curettages and progestogens. European society of gynaecological oncology 「ESGO 12 Inter-national Meeting of Gynaecological Oncology」 (Venice , ITALY) April 21-24 ,2001

Niwa K , Tagami K , Lian Z , Hashimoto M , Tamaya T : Pregnancies following ovarian-function preservative treatment of malignant ovarian tumors. European society of gynaecological oncology 「ESGO 12 International Meeting of Gynaecological Oncology」 (Venice , ITALY) April 21-24 ,2001

Mikamo H , Sato Y , Hayasaki Y , Yamada Y , Ito K , Izumi K , Yasuda K , Tamaya T : Effects of levofloxacin single therapy on uterine cervicitis. 7th International Symposium on New Quinolones (Edinburgh , UK) June 10-12 ,2001

Mikamo H , Sato Y , Hayasaki Y , Tamaya T : Efficacy of levofloxacin against uterine cervicitis caused by Chlamydia trachomatis. 7th International Symposium on New Quinolones (Edinburgh , UK) June 10-12 ,2001

Mikamo H , Yin XH , Sato Y , Hayasaki Y , Tamaya T : Penetration of oral telithromycin into gynecological tissues. 22nd International congress of chemotherapy (Amsterdam , Netherland) June 30 - July 3 ,2001

Izumi K , Mikamo H , Tamaya T : Study on the administration method of injectable carbapenems. 22nd International congress of chemotherapy (Amsterdam , Netherland) June 30 - July 3 ,2001

丹羽憲司 , 連 増林 , 橋本 緑 , 高 景春 , 田上慶子 , 玉舎輝彦 : マウス子宮内膜発癌に対する十全大補湯 , 四物湯の抑制効果. 南飛弾 CAM 国際会議 ( 岐阜 ) H13 , 7 , 10

三鴨廣繁 , 尹 香花 , 安田香子 , 玉舎輝彦 : 細菌性膣症に対する竜胆瀉肝湯 , 十全大補湯 , 牛車腎気丸の治療効果. 南飛弾 CAM 国際会議 ( 岐阜 ) H13 , 7 , 10

Toyoki H , Fujimoto J , Aoki I , Khatun S , Tamaya T: Serum platelet-derived endothelial cell growth factor , a novel tumor marker of uterine cervical cancers. 6th World Congress on Advances in Oncology (Hersonissos , Crete , GREECE) October 18-20 ,2001

Matsunami K , Furui T , Imai A , Tamaya T : In vivo maturation of human oocytes in IVF-ET. The 17th World Congress on Fertility and Sterility (Melbourne , AUSTRALIA) November 25-30 ,2001

Furui T , Imai A , Matsunami K , Itoh M , Tagami K , Aoki I , Iwagaki S , Tamaya T : Pregnancy and endometrial US profiles in PCOS. The 17th World Congress on Fertility and Sterility (Melbourne , AUSTRALIA) November 25-30 ,2001

Mikamo H , Yin XH , Tamaya T : The preterm prediction study. Failure of midtrimester cervical sialidase level elevation to predict subsequent spontaneous preterm birth (Chicago , USA) December 16-19 ,2001

Kawabata I , Takahashi Y , Iwagaki S , Tamaya T : MRI during pregnancy. The fetus as a patient ( Budapest , HUNGARY ) April , 25-28 ,2002

Kawabata I : Does MRI support ultrasonography . 3rd International Symposium 3D Power Doppler in Obstetrics and Gynecology (Dubrovnik , CROATIA ) May , 27-31 ,2002

Kawabata I: MRI - How to use it during pregnancy -. The Society of Ultrasound in Medicine , ROC ( Taipei , CHAINA ) October , 19-20 ,2002

Fujimoto J , Aoki I , Toyoki H , Khatun S , Sato E , Tamaya T : Sex steroid. dependent-angiogenesis and tumor dormancy therapy in uterine endometrial cancers. International Congress on Hormonal Steroids and Hormones and Cancer ( Fukuoka , JAPAN ) October , 21-25 ,2002

Niwa K , Lian Z , Gao J , Tagami K , Tamaya T: Preventive effects of toremifene on endometrial carcinogenesis in mice. International Congress on Hormonal Steroids and Hormones and Cancer ( Fukuoka , JAPAN ) October , 21-25 ,2002 < 一般講演 >

荒堀憲二 : 性教育講話. 大垣南高等学校 ( 大垣 ) H12 , 7 , 5

尹 香花 , 三鴨廣繁 , 早崎 容 , 佐藤泰昌 , 玉舎輝彦 : 膣内細菌のヒアルロニダーゼ活性に関する検討. 第 18 回日本産婦人科感染症研究会 ( 岐阜 ) H12 , 7 , 15

三鴨廣繁 , 早崎 容 , 佐藤泰昌 , 尹 香花 , 玉舎輝彦 : 膣内ラクトバチルス属に関する検討. 第 18 回日本産婦人科感染症研究会 ( 岐阜 ) H12 , 7 , 15

三鴨廣繁 , 早崎 容 , 佐藤泰昌 , 尹 香花 , 玉舎輝彦 , 安田香子: 岐阜県下における - ラクタム系抗菌薬耐性株である BLNAR の検出状況について. 第 18 回日本産婦人科感染症研究会 ( 岐阜 ) H12 , 7 , 15

早崎 容 , 三鴨廣繁 , 佐藤泰昌 , 尹 香花 , 玉舎輝彦 , 和泉孝治: 塩化ベンザルコニウム消毒薬の微生物汚染状況に関する検討. 第 18 回日本産婦人科感染症研究会 ( 岐阜 ) H12 , 7 , 15

佐藤泰昌,三嶋廣繁,早崎 容,尹 香花,玉舎輝彦:漢方薬の感染症治療への応用・十全大補湯および茯苓の好中球に及ぼす直接作用に関する検討。第 18 回日本産婦人科感染症研究会(岐阜)H12,7,15

川鱒市郎:子供の事故予防について・母子保健を中心とした予防活動について。母子保健関係職員研修会(岐阜)H12,7,18

三嶋廣繁,尹 香花,早崎 容,佐藤泰昌,玉舎輝彦:妊婦腔内ラクトバチルス属と H2O2 産生能。平成 12 年度岐阜県周産期研究会(岐阜)H12,7,22

篠原有美,杉山三知代,中川美紀,山田新尚:子宮内反症 3 例の検討。平成 12 年度岐阜県周産期研究会(岐阜)H12,7,22

中西順子,廣瀬玲子,山本和重,伊藤邦彦:当科における切迫早産の管理。平成 12 年度岐阜県周産期研究会(岐阜)H12,7,22

高橋雄一郎,川鱒市郎,玉舎輝彦:当科における先天性心疾患の出生前診断。平成 12 年度岐阜県周産期研究会(岐阜)H12,7,22

横山康宏,高橋雄一郎,万 小云,篠原有美,玉舎輝彦:子宮組織における hTERT splicing variant の発現。第 3 回産婦人科テロメラーゼ研究会(東京)H12,7,24

高橋雄一郎,川鱒市郎,玉舎輝彦:大動脈離断症の出生前診断。第 23 回日本産科婦人科 ME 学会(北海道,美瑛町)H12,7,27-28

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦ほか:テレビ会議システムを用いた Telesurgery・腹腔鏡下子宮全摘術への試み。第 40 回日本産科婦人科内視鏡学会(東京)H12,8,4-5

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦ほか:既往開腹手術症例に対する経腹超音波による臍部腹腔内癒着判定法と第 9 肋間穿刺の有用性について。第 40 回日本産科婦人科内視鏡学会(東京)H12,8,4-5

近藤英明:パーサポイントの使用経験と適応の検討。第 40 回日本産科婦人科内視鏡学会(東京)H12,8,4-5

橋本 緑,大西尚美,堀 昌志,近藤英明:当科における子宮外妊娠に対する卵管温存法の現況。第 6 回岐阜ホルモンと婦人科疾患研究会(岐阜)H12,8,27

篠原有美,杉山三知代,中川美紀,山田新尚:絨毛癌子宮穿破の一例。第 6 回岐阜ホルモンと婦人科疾患研究会(岐阜)H12,8,27

古井辰郎,操 良,岩垣重紀,青木生美,今井篤志,玉舎輝彦:不妊症患者の子宮筋腫核出術後の妊娠に関する検討。第 6 回岐阜ホルモンと婦人科疾患研究会(岐阜)H12,8,27

丹羽憲司,古井辰郎,田上慶子,今井篤志,玉舎輝彦:婦人科癌の抗癌剤無効例に対して酢酸リュープロレリンを使用した 4 例。第 6 回岐阜ホルモンと婦人科疾患研究会(岐阜)H12,8,27

荒堀憲二:女性の健康と避妊について。平成 12 年度愛知県看護協会研修会(名古屋)H12,9,19

山際三郎,桑原和男ほか:温泉療法と更年期障害。第 41 回日本母性衛生学会(岐阜)H12,9,28-29

石川梨佳,中西義人,長谷川幸生:骨盤位矯正法としての外回転術の検討。第 41 回日本母性衛生学会(岐阜)H12,9,28-29

安江富紀,山田新尚ほか:周産期における子供虐待のハイリスク要因の早期発見に向けて・虐待の起こった 5 症例の分析。第 41 回日本母性衛生学会(岐阜)H12,9,28-29

岩垣重紀,早崎 容,青木生美,高橋雄一郎,川鱒市郎,玉舎輝彦:MRI における先天性横隔膜ヘルニアと横隔膜弛緩症の鑑別。第 107 回東海産科婦人科学会(名古屋)H12,10,1

高橋雄一郎,青木生美,橋本 緑,川鱒市郎,玉舎輝彦,山田新尚,中山雅弘:臍帯因子・胎盤因子に垂急性壊死性臍帯炎を合併するも救命し得た妊娠 26 週の一症例。第 107 回東海産科婦人科学会(名古屋)H12,10,1

堀 昌志,橋本 緑,大西尚美,近藤英明,宮田和子,篠原有美:アトピー性脊髄炎合併妊娠。第 107 回東海産科婦人科学会(名古屋)H12,10,1

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦,松本 貴:テレビ会議システムを用いた Telesurgery・腹腔鏡下子宮全摘術への試み。第 107 回東海産科婦人科学会(名古屋)H12,10,1

篠原有美,杉山三知代,中川美紀,山田新尚ほか:当科における胚細胞性悪性腫瘍の治療の現状。第 107 回東海産科婦人科学会(名古屋)H12,10,1

早崎 容,丹羽憲司,操 良,田上慶子,連 増林,下川邦泰,玉舎輝彦:Bartholin 腺 adenoid-cystic carcinoma の 2 例。第 107 回東海産科婦人科学会(名古屋)H12,10,1

丹羽憲司,田上慶子,橋本 緑,森 秀樹,玉舎輝彦:マウス子宮内膜発癌に対する植物性エストロゲンの抑制効果。第 59 回日本癌学会(横浜)H12,10,4-6

篠原有美,横山康宏,万 小云,高橋雄一郎,森 良雄,坂本弘文,高見 剛,下川邦泰,玉舎輝彦:子宮頸部腫瘍におけるベータカテニンの細胞内局在と遺伝子変化の関連。第 59 回日本癌学会(横浜)H12,10,4-6

岩垣重紀,操 良,藤本次良,玉舎輝彦:ヒト子宮内膜癌組織における growth arrest-specific gene 6 およびそのレセプターの発現。第 59 回日本癌学会(横浜)H12,10,4-6

横山康宏,万 小云,篠原有美,高橋雄一郎,玉舎輝彦:子宮内膜癌への PTEN 遺伝子導入による抗癌剤感受性の変化。第 59 回日本癌学会(横浜)H12,10,4-6

石川梨佳:女性のからだについて。土岐市笠原町保健センター講演会(土岐)H12,10,5

荒堀憲二:プレママ・プレパパ教室(名古屋)H12,10,5

高橋雄一郎,青木生美,橋本 緑,川鱸市郎,玉舎輝彦,山田新尚,中山雅弘:臍帯因子・胎盤因子に垂急性壊死性臍帯炎を合併するも救命し得た妊娠 26 週の一例。第 24 回岐阜県未熟児新生児懇談会(岐阜)H12,10,14

川鱸市郎:男の子?女の子?だから,からだからだ。岐阜県養護教諭研修会(各務原)H12,10,21

田上慶子,丹羽憲司,橋本 緑,玉舎輝彦:十全大補湯,四物湯,四君子湯のマウス子宮内膜発癌に対する影響。第 38 回日本癌治療学会(仙台)H12,10,22-24

青木生美,藤本次良,坂口英樹,豊木 廣,玉舎輝彦:子宮頸癌における血管新生因子 IL-8 の臨床的意義。第 38 回日本癌治療学会(仙台)H12,10,22-24

岩垣重紀,操 良,坂口英樹,青木生美,藤本次良,玉舎輝彦:婦人科癌における腹水中の platelet-derived endothelial cell growth factor (PD-ECGF) の発現。第 38 回日本癌治療学会(仙台)H12,10,22-24

平野聡子,高橋誠治,丹羽憲司,伊藤直樹,玉舎輝彦:進行子宮頸癌に対する術前動注化学療法の予後。第 38 回日本癌治療学会(仙台)H12,10,22-24

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦,松本 貴:テレビ会議システムを用いた Telesurgery・腹腔鏡下子宮全摘術への試み。第 2 回東海産婦人科内視鏡懇談会(名古屋)H12,10,28

堀 昌志,橋本 緑,大西尚美,近藤英明:パーサポイントの使用経験と適応の検討。第 2 回東海産婦人科内視鏡懇談会(名古屋)H12,10,28

佐藤泰昌,三鴨廣繁,尹 香花,早崎 容,玉舎輝彦:十全大補湯を構成する生薬から 1 生薬を除いた処方による効果に関する検討。第 20 回産婦人科漢方研究会(広島)H12,10,29

岩垣重紀,古井辰郎,操 良,玉舎輝彦:ヒト培養顆粒膜細胞の性ステロイドおよびサイトカイン産生に及ぼす漢方製剤の影響。第 20 回産婦人科漢方研究会(広島)H12,10,29

篠原有美,杉山三知代,中川美紀,山田新尚ほか:悪性転化を伴う成熟性嚢胞性奇形腫 3 症例の治療経験。第 6 回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H12,11,2

丹羽憲司,連 増林,田上慶子,玉舎輝彦:婦人科悪性腫瘍患者周術期における E-selectin,interleukin 12 の変動とシメチジンの影響。第 6 回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H12,11,2

荒堀憲二:生と死と命。岐阜県立八百津高等学校人権講話(八百津町)H12,11,8

山田新尚:県立岐阜病院児童虐待予防委員会の活動・体制について。大阪府議会健康福祉常任委員会視察(県立岐阜病院)(岐阜)H12,11,9

松波和寿:当院における無精子症の取り扱いについて。第 12 回岐阜不妊内分泌研究会(岐阜)H12,11,11

川鱸市郎:チャイルドシートと幼児について。岐阜県交通指導員研修会(垂井町)H12,11,16

田上慶子,丹羽憲司,玉舎輝彦:十全大補湯,四物湯,四君子湯によるマウス子宮内膜発癌に対する影響。第 30 回日本東洋医学会東海支部学術総会(名古屋)H12,11,19

三宅泰次,新井正純,生駒哲郎,西垣和彦,川崎雅規,土屋邦彦,鷹津久登,湊口信也,後藤紘司,藤原久義,高木敦志,川鱸市郎,早崎 容,玉舎輝彦:膜性大動脈弁下狭窄の一例。日本循環器学会第 113 回東海・第 98 回北陸合同地方会(名古屋)H12,11,21-22

岩垣重紀,藤本次良,操 良,玉舎輝彦:ヒト子宮内膜症組織における growth arrest-specific gene 6 (gas 6) およびレセプター型チロシンキナーゼの発現。第 45 回日本不妊学会(神戸)H12,11,23-24

青木生美,操 良,古井辰郎,今井篤志,岩垣重紀,玉舎輝彦:不妊症患者の子宮筋腫核出術後の妊娠に関する検討。第 45 回日本不妊学会(神戸)H12,11,23-24

岩垣重紀,操 良,藤本次良,玉舎輝彦:ヒト子宮筋腫における exon-deleted progesterone receptor variant mRNA の発現。第 8 回ステロイドホルモン学会(大阪)H12,11,25

青木生美,藤本次良,坂口英樹,豊木 廣,操 良,玉舎輝彦:卵巣および子宮内膜におけるエストロゲン受容体 - の exon deleted variant mRNA の検出。第 8 回ステロイドホルモン学会(大阪)H12,11,25

三鴨廣繁,早崎 容,尹 香花,玉舎輝彦:塩化ベンザルコニウム消毒薬の微生物汚染状況に関する検討。第 13 回日本外科感染症研究会(東京)H12,12,1

岩垣重紀,古井辰郎,操 良,玉舎輝彦:ヒト培養顆粒膜細胞の性ステロイドおよびサイトカイン産生に及ぼす漢方製剤の影響。第 5 回日本生殖内分泌学会(豊中)H12,12,1)

三鴨廣繁,早崎 容,佐藤泰昌,安田香子,佐藤 勝,玉舎輝彦:嫌気性菌に対するアジスロマイシンの殺菌力および形態変化に及ぼす影響。第 48 回日本化学療法学会西日本総会(京都)H12,12,7-8

連 増林,丹羽憲司,田上慶子,玉舎輝彦:マウス子宮内膜発癌における十全大補湯の抑制効果と四物湯と四君子湯との関連(c-fos/jun,myc 及び内因性サイトカインの変動)を通じて。第 9 回日本東洋医学会東海支部岐阜県部会(岐阜)H12,12,9

佐藤泰昌,尹 香花,早崎 容,三鴨廣繁,玉舎輝彦:十全大補湯および茯苓投与による好中球貪食能及び細胞内殺菌能に及ぼす影響。第 9 回日本東洋医学会東海支部岐阜県部会(岐阜)H12,12,9

中尾幸子,山田新尚ほか:周産期における虐待ハイリスクの早期発見と継続援助の実態。第 6 回日本子どもの虐待防止研究会あいち大会(名古屋)H12,12,9

川鱸市郎:明日の親学級。平成 12 年度巣南町公民館公開講座(巣南町)H12,12,13

近藤英明,堀 昌志,橋本 緑,大西尚美:内視鏡手術および処置が有効であった子宮腔癒着症 2 例。第 6 回岐阜内視鏡外科研究会(岐阜) H12,12,16

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:テレビ会議システムを用いた Telesurgery・腹腔鏡下子宮全摘術への試み。第 6 回岐阜内視鏡外科研究会(岐阜) H12,12,16

岩垣重紀,古井辰郎,操 良,玉舎輝彦:ヒト培養顆粒細胞膜の性ステロイドおよびサイトカイン産生に及ぼす漢方製剤の影響。第 3 回岐阜東洋医学研究会(岐阜) H12,12,16

青木生美,藤本次良,豊木 廣,玉舎輝彦:子宮腺筋症およびチョコレート嚢胞における増殖進展の機構。第 22 回エンドメトリオーシス研究会(大阪) H13,1,18-19

三鴨廣繁:婦人科癌患者における真菌血症の現状。真菌症フォーラム第 2 回学術集会(東京) H13,1,27

中川美紀:へそのお。芥見東小学校 2 年生の生活の時間(岐阜) H13,1,29

川鱒市郎,高橋雄一郎,玉舎輝彦:MRI が診断に有用であった穿痛胎盤の一例。第 6 回岐阜県画像医学研究会(岐阜) H13,2,17

三鴨廣繁,尹 香花,早崎 容,玉舎輝彦:婦人科癌患者における真菌血症の現状。第 112 回岐阜感染症談話会(岐阜) H13,2,26

中川美紀,杉山三知代,篠原有美,山田新尚:当科における双胎妊娠の検討。第 108 回東海産科婦人科学会(名古屋) H13,3,4

岩垣重紀,早崎 容,青木生美,高橋雄一郎,川鱒市郎,玉舎輝彦:MRI が診断に有用であった placenta percreta の一例。第 108 回東海産科婦人科学会(名古屋) H13,3,4

阿知波みどり,丹羽憲司,田上慶子,川鱒市郎,村瀬稔子,下川邦泰,玉舎輝彦:卵巣粘液性嚢胞腺癌に対して温存療法ゴナドトロピン,生児を得た 2 症例。第 108 回東海産科婦人科学会(名古屋) H13,3,4

早崎 容,三鴨廣繁,古井辰郎,伊藤直樹,玉舎輝彦:塩化ベンザルコニウム消毒薬の微生物汚染状況に関する検討。第 108 回東海産科婦人科学会(名古屋) H13,3,4

中西義人,石川梨佳,長谷川幸生,日比野宣幸,丹羽憲司:G-CSF 産生の確認された卵巣癌の一例。第 108 回東海産科婦人科学会(名古屋) H13,3,4

三鴨廣繁,早崎 容,安田香子,玉舎輝彦:腔内細菌のヒアルロニダーゼ活性に関する検討。第 75 回日本感染症学会(奈良) H13,3,29-30

松波和寿:難治性不妊症。岐阜地区不妊研究会(岐阜) H13,4,7

丹羽憲司,伊藤直樹,玉舎輝彦:岐阜大学における婦人科癌の標準的治療方針。第 1 回岐阜婦人科癌化学治療法研究会(岐阜) H13,4,28

高橋雄一郎,岩垣重紀,操 由美子:IUGR の人工羊水注入とカラードップラーによる管理について。岐阜県未熟児新生児懇話会(岐阜) H13,4,28

豊木 廣,藤本次良,青木生美,玉舎輝彦:子宮頸癌の新しい腫瘍マーカー platelet-derived endothelial cell growth factor (PD-ECGF)。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

平野聡子,高橋誠治,田上慶子,丹羽憲司,伊藤直樹,玉舎輝彦:末梢血単核球におけるサイトカイン産生に対するダイオキシンの影響。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

高橋誠治,田上慶子,平野聡子,丹羽憲司,伊藤直樹,横山康宏,玉舎輝彦:婦人科腫瘍における BCL10 遺伝子の変異の検討。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

青木生美,藤本次良,豊木 廣,玉舎輝彦:子宮頸癌における血管新生因子 IL-8 の臨床的意義。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

田上慶子,丹羽憲司,古井辰郎,岩垣重紀,阿知波みどり,伊藤直樹,今井篤志,玉舎輝彦:婦人科癌における抗癌剤不能例に対する GnRHα 療法の試み。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

中田俊之,玉舎輝彦ほか:卵巣癌および子宮体癌における子宮内膜症の合併についての検討。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

安田香子,三鴨廣繁,早崎 容,玉舎輝彦:腔内ラクトバチルス属に関する検討。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

早崎 容,安田香子,玉舎輝彦:腔内細菌のヒアルロニダーゼ活性に関する検討。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

高橋雄一郎,操 由美子,川鱒市郎,横山康宏,玉舎輝彦:臍帯動・静脈におけるレプチン濃度と胎児 asphyxia との関連に関する検討。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

山本和重ほか:インターネット上での産婦人科内視鏡下手術の情報交換・手術支援の試み。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

古井辰郎,今井篤志,玉舎輝彦:A GnRH-responsive phosphatase hydrolyses LPA within the plasma membrane of ovarian cancer cells。第 53 回日本産科婦人科学会(札幌) H13,5,12-15

篠原有美,杉山三知代,中川美紀,山田新尚ほか:ステロイド及びガンマグロブリン無効の重症 ITP 合併妊娠の治療経験。第 13 年度岐阜県周産期研究会(岐阜) H13,5,19

操 由美子,高橋雄一郎,岩垣重紀,川鱈市郎,玉舎輝彦:当科における HELLP 症候群の管理について。第 13 年度岐阜県周産期研究会(岐阜) H13,5,19

篠原有美,杉山三知代,中川美紀,山田新尚ほか:妊娠 26 週の重症型妊娠中毒症に硬膜外麻酔と羊水注入法が有効であった一例。第 13 年度岐阜県周産期研究会(岐阜) H13,5,19

中西順子,廣瀬玲子,山本和重,伊藤邦彦:口唇口蓋裂児を出生したうつ病合併妊娠の一例。第 13 年度岐阜県周産期研究会(岐阜) H13,5,19

中川美紀,杉山三知代,篠原有美,山田新尚:先天性横隔膜ヘルニアの 5 症例。第 13 年度岐阜県周産期研究会(岐阜) H13,5,19

佐藤泰昌,古田典夫:PID の 3 症例。第 12 回岐阜県産婦人科感染症研究会(岐阜) H13,5,27

三鴨廣繁:岐阜県下における抗菌薬耐性淋菌の細菌の動向について。第 12 回岐阜県産婦人科感染症研究会(岐阜) H13,5,27

山際三郎,桑原和男:子宮筋腫における腹式単純子宮全摘出術術前の感染症対策。第 12 回岐阜県産婦人科感染症研究会(岐阜) H13,5,27

三鴨廣繁,和泉孝治,早崎 容,安田香子,玉舎輝彦:クラミジア子宮頸管炎に罹患した女性における服薬コンプライアンスの検討。第 49 回日本化学療法学会(横浜) H13,5,30-31

三鴨廣繁,早崎 容,安田香子,玉舎輝彦:感染症 SIRS に対するセフォゾブランの効果。第 49 回日本化学療法学会(横浜) H13,5,30-31

三鴨廣繁,早崎 容,安田香子,玉舎輝彦:セフォセリスの臨床分離嫌気性菌への抗菌力・1995-1999。第 49 回日本化学療法学会(横浜) H13,5,30-31

松波和寿:当院の不妊治療。岡山 ART フォーラム 2001(岡山) H13,6,3・古井辰郎,伊藤美穂,田上慶子,青木生美,今井篤志,玉舎輝彦:不妊症患者における子宮内膜と USTG 画像。平成 13 年度日本不妊学会中部支部学術集会(名古屋) H13,6,9

堀 昌志,橋本 緑,近藤英明:Argone beam coagulator を使用してみる。第 3 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H13,6,22

丹羽憲司,田上慶子,玉舎輝彦:卵巣悪性腫瘍に対する妊孕性温存療法の適応と限界。第 3 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H13,6,22

松波和寿,高木 博,野田克己:脊髄麻酔における使用薬,使用針の検討。第 3 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H13,6,22

篠原有美,杉山三知代,中川美紀,山田新尚:産科手術領域における自己血貯血の試み。第 3 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H13,6,22

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:腹腔鏡下手術における当科の工夫・エンドノット外筒を利用した安全な薬剤局注法。第 3 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H13,6,22

三鴨廣繁,尹 香花,玉舎輝彦:薬剤耐性菌・岐阜県下の一病院における緑膿菌 bla IMP 保有株についての検討。第 1 回岐阜県感染症研究会(岐阜) H13,6,22

丹羽憲司:TJ・TXWeekly 中間報告。岐阜大学卵巣腫瘍研究会(岐阜) H13,6,23

山本和重,伊藤邦彦,廣瀬玲子,中西順子:腹腔鏡下手術における当科の工夫。第 3 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H13,6,27

田上慶子,丹羽憲司,玉舎輝彦:マウス子宮内膜発癌に対するイソフラボンの影響。第 74 回日本内分科学会学術総会(横浜) H13,6,29-7,1

豊木 廣,藤本次良,青木生美,玉舎輝彦:子宮内膜癌における血管新生とその内分泌関与。第 74 回日本内分科学会学術総会(横浜) H13,6,29-7,1

青木生美,藤本次良,豊木 廣,玉舎輝彦:内膜症における血管新生とその内分泌関与。第 74 回日本内分科学会学術総会(横浜) H13,6,29-7,1

古井辰郎:リゾホスファチジン酸(LPA)の分解機構・卵巣癌 GnRH 受容体との共役。第 74 回日本内分科学会学術総会(横浜) H13,6,29-7,1

三鴨廣繁,尹 香花,早崎 容,玉舎輝彦:岐阜県下における抗菌薬耐性淋菌の最近の動向。第 19 回日本産婦人科感染症研究会(旭川) H13,7,7

高橋雄一郎,岩垣重紀,操 由美子,川鱈市郎,玉舎輝彦:NICU を有しない当科における IUGR の人工羊水注入療法を含めた管理について。第 37 回日本新生児学会総会(横浜) H13,7,15-16

岩垣重紀,高橋雄一郎,操 由美子,川鱈市郎,玉舎輝彦:NICU を有しない岐阜大学医学部産婦人科における IUGR105 例の管理について・症例の背景。第 37 回日本新生児学会総会(横浜) H13,7,15-16

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:2 回の腹腔鏡下手術後に生児を得た浸潤子宮頸癌合併不妊症の一症例。第 41 回日本産科婦人科内視鏡学会(長崎) H13,8,3

松波和寿:当院における不妊症のとりのくみ。東濃産婦人科医会(多治見) H13,8,23

荒堀憲二:女性受刑者の性被害 30 名(38 ケース)の分析。第 20 回日本思春期学会(広島) H13,8,25

岩垣重紀,高橋雄一郎,操 由美子,川鱈市郎,玉舎輝彦:CST positive に先行して胎児血流再分配の増加が認められた IDDM 合併妊娠の一例。第 24 回日本産科婦人科 ME 学会(福岡) H13,8,25-26

篠原有美,中川美紀,山田新尚,青木生美:当科における粘膜下子宮筋腫と分娩筋腫の治療の現状。第 7 回岐阜ホルモ  
ンと婦人科疾患研究会(岐阜) H13,8,26

橋本 緑,大西尚美,堀 昌志,近藤英明:リユープリン投与によって筋腫の necrosis を来した 2 症例。第 7 回岐阜ホル  
モンと婦人科疾患研究会(岐阜) H13,8,26

山際三郎,桑原和男:温泉浴妊娠。日中上海産婦人科学術講演会(中国,上海) H13,8,28

丹羽憲司,連 増林,高 景春,田上慶子,玉舎輝彦:マウス子宮内膜発癌における cyclooxygenase(Cox)-2 発現と十  
十全大補湯による抑制効果。第 21 回産婦人科漢方研究会学術集会(東京) H13,9,9

佐藤泰昌,古田典夫:薬剤性嘔吐症に対する半夏入り漢方製剤の使用経験。第 21 回産婦人科漢方研究会学術集会(東  
京) H13,9,9

山際三郎,桑原和男:温泉と妊娠。第 109 回東海産婦人科学会(名古屋) H13,9,9

松波和寿:生殖医療の進歩現在過去未来。オルガノン勉強会(名古屋) H13,9,12

山本和重:腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術(体内法)における自作回収袋による経膈回収の試み。第 14 回日本内視鏡外科学  
会総会(札幌) H13,9,20

豊木 廣,藤本次良,青木生美,長谷光洋,玉舎輝彦:子宮癌における IL-8 発現の臨床的意義。第 60 回日本癌学会(横  
浜) H13,9,26-28

横山康宏,篠原有美,玉舎輝彦:子宮内膜癌細胞の抗癌剤感受性における PTEN の意義。第 60 回日本癌学会(横浜)  
H13,9,26-28

青木生美,藤本次良,豊木 廣,長谷光洋,玉舎輝彦:卵巣癌腹膜播種における VEGF 発現の臨床的意義。第 60 回日本  
癌学会(横浜) H13,9,26-28

田上慶子,丹羽憲司,連 増林,高 景春,玉舎輝彦:マウス子宮内膜発癌に対する十全大補湯,四物湯の抑制効果。第  
60 回日本癌学会(横浜) H13,9,26-28

丹羽憲司,連 増林,高 景春,田上慶子,森 秀樹,玉舎輝彦:マウス子宮内膜においてエストロゲン投与により過剰発  
現される cyclooxygenase(COX)-2 に対するアスピリンの抑制作用。第 60 回日本癌学会(横浜) H13,9,26-28

松波和寿:当院の体外受精の状況。第 18 回病院協会学会(大垣) H13,9,30

山際三郎,桑原和男:温泉と妊娠。第 122 回飛騨臨床医会(高山) H13,10,5

佐藤泰昌,古田典夫,三嶋廣繁,玉舎輝彦:抗癌剤投与時における半夏入り漢方製剤の使用経験。第 4 回岐阜東洋医学  
研究会(岐阜) H13,10,13

篠原有美,中川美紀,山田新尚,青木生美:当科における産科領域の貯血式自己血輸血の試みと現状。第 9 回岐阜臨床  
輸血研究会(岐阜大学内) H13,10,26

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術(体内法)における自作回収袋による経膈回収の  
試み。第 3 回東海産婦人科内視鏡懇話会(名古屋) H13,10,27

堀 昌志,橋本 緑,近藤英明:外来診療におけるヒステロファイバースコープの必要性・子宮体癌の早期発見例。第  
3 回東海産婦人科内視鏡懇話会(名古屋) H13,10,27

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:大量出血症例の取り扱い。第 3 回東海産婦人科内視鏡懇話会(名古屋) H13,  
10,27

松波和寿,高木 博:多量の胸水貯留を呈した OHSS の一例。第 13 回岐阜不妊内分泌研究会(岐阜) H13,10,27

伊藤美穂,古井辰郎,玉舎輝彦:PCO 症候群と OHSS。第 13 回岐阜不妊内分泌研究会(岐阜) H13,10,27

操 由美子,高橋雄一郎,岩垣重紀,川鱈市郎,玉舎輝彦:早期発症型 TTTS における子宮収縮の影響について。第 26  
回岐阜県未熟児新生児懇話会(岐阜) H13,10,28

丹羽憲司,田上慶子,早崎 容,佐藤恵理子,玉舎輝彦:進行・再発子宮頸癌に対する放射線,フルツロン併用療法の  
有用性。第 7 回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜) H13,11,2

青木生美,山田新尚,中川美紀,篠原有美:エトポシド経口投与が QOL 改善に有効であった卵巣未分化癌の一症例。第  
7 回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜) H13,11,2

豊木 廣,横山康宏:悪性顆粒膜細胞腫の一例。第 7 回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜) H13,11,2

篠原有美,中川美紀,山田新尚,青木生美:脳梗塞症状にて発見された卵巣明細胞腺癌の一例。第 7 回岐阜婦人科癌治  
療研究会(岐阜) H13,11,2

廣瀬玲子,中西順子,山本和重,伊藤邦彦:卵巣明細胞腺癌・治療中に脳塞を合併した 2 例。第 7 回岐阜婦人科癌治  
療研究会(岐阜) H13,11,2

田上慶子:婦人科悪性腫瘍患者の周術期における E-selectin,IL-12 の変動とシメチジンの影響。第 39 回日本癌治療学  
会(広島) H13,11,7-9

古井辰郎,今井篤志,玉舎輝彦:卵巣癌細胞におけるリゾフォスファチジン酸の不活化機構。第 39 回日本癌治療学会  
(広島) H13,11,7-9

藤本次良:女性生殖器官癌における tumor dormancy therapy。第 39 回日本癌治療学会(広島) H13,11,7-9

古井辰郎,伊藤美穂,田上慶子,青木生美,岩垣重紀,伊藤直樹,玉舎輝彦:不妊症患者における子宮内膜超音波像とホルモン異常の関係。第46回日本不妊学会(東京)H13,11,8-9

松波和寿:35リットルの胸水貯留を示した卵巣過剰刺激症候群の一例。第46回日本不妊学会(東京)H13,11,8-9

田上慶子,丹羽憲司,連増林,高景春,玉舎輝彦:マウス子宮内膜発癌に対する甘草エキスの抑制作用とCyclooxygenase(Cox)-1,2発現,サイトカイン発現との関連。第31回日本東洋医学会東海支部学術総会(名古屋)H13,11,11

平野聡子,高橋誠治,伊藤直樹,玉舎輝彦:臍帯血単核球のサイトカイン産生に対するダイオキシン類の影響。第6回日本生殖内分泌学会(東京)H13,11,16

田上慶子,丹羽憲司,連増林,高景春,玉舎輝彦:マウス子宮内膜発癌に対するイソフラボンの抑制作用。第9回日本ステロイドホルモン学会(東京)H13,11,17

青木生美,藤本次良,豊木廣,玉舎輝彦:子宮内膜癌の転移過程におけるエストロゲン受容体およびの臨床的意義。第9回日本ステロイドホルモン学会(東京)H13,11,17

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:腹腔鏡下手術における当科の工夫・エンドノット外筒を利用した安全な薬剤局注法。第24回日本産婦人科手術学会(大阪)H13,12,1

丹羽憲司,伊藤直樹,玉舎輝彦:婦人科癌化学療法後の血小板減少症に対するM-CSF製剤(ミリモスチム)の有用性。第2回岐阜婦人科癌化学療法研究会(岐阜)H13,12,2

三鴨廣繁,早崎容,和泉孝治,玉舎輝彦:岐阜県下の淋菌性子宮頸管炎患者における咽頭からの淋菌の検出状況について。第49回日本化学療法学会西日本支部総会(名古屋)H13,12,7

三鴨廣繁,早崎容,玉舎輝彦:岐阜県下における抗菌薬耐性淋菌の動向。第49回日本化学療法学会西日本支部総会(名古屋)H13,12,7

連増林,丹羽憲司,高景春,田上慶子,玉舎輝彦:マウス子宮内膜発癌に対する十全大補湯の抑制作用とCyclooxygenase(Cox)-1,2発現,サイトカイン発現との関連。第10回日本東洋医学会東海支部岐阜県部会(岐阜)H13,12,8

山田新尚:岐阜県立岐阜病院児童虐待予防連絡委員会活動の現況・日本の子どもの虐待防止研究会。第7回学術集会(神戸)H13,12,15

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術(体内法)における自作回収袋による経腔回収の試み。第7回岐阜内視鏡外科研究会(岐阜)H13,12,22

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:腹腔鏡下手術における当科の工夫・エンドノット外筒を利用した安全な薬剤局注法。第7回岐阜内視鏡外科研究会(岐阜)H13,12,22

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:救急医療と内視鏡手術・当科における緊急腹腔鏡下手術の現状。第7回岐阜内視鏡外科研究会(岐阜)H13,12,22

山際三郎:温泉と妊娠。第17回岐阜県母性衛生学会学術講演会(岐阜)H14,1,19

永田春美,山田新尚:多胎妊婦の不安や要望についての検討・多胎児を出産した母親への聞き取り調査を実施して。第17回岐阜県母性衛生学会学術講演会(岐阜)H14,1,19

中川美紀:岐阜県の障害児の現状と当科の分娩例における後遺症の発生状況について。第17回岐阜県母性衛生学会学術講演会(岐阜)H14,1,19

佐藤英理子,高橋雄一郎,岩垣重紀,川鱈市郎,玉舎輝彦:早期発症TTTSの受血児における右心系の破綻から左心不全にいたる期間の周産期モニターについて。第110回東海産婦人科学会(名古屋)H14,3,3

藤本次良,青木生美,豊木廣,Khatun S,玉舎輝彦:婦人科疾患におけるエストロゲン受容体の発現の臨床的意義。第1回日本内分泌学会東海支部学術集会(名古屋)H14,3,23

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:腹腔内大量出血症例に対する腹腔鏡下手術の妥当性について。第7回岐阜外科侵襲研究会(岐阜)H14,4,5

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:救急医療における内視鏡手術の重要性についての検討・当科における緊急腹腔鏡下手術の現状解析から。第54回日本産科婦人科学会(岐阜)H14,4,8

青木生美,藤本次良,豊木廣,長谷光洋,玉舎輝彦:子宮癌における浸潤マクロファージの臨床的意義。第54回日本産科婦人科学会(東京)H14,4,6-9

田上慶子,丹羽憲司,伊藤直樹,玉舎輝彦:子宮体癌のMPA療法における過凝固状態に対するlow dose aspirin療法の有用性。第54回日本産科婦人科学会(東京)H14,4,6-9

三鴨廣繁,古井辰郎,玉舎輝彦:淋菌性子宮頸管炎患者における咽頭からの淋菌の検出状況と検出菌の薬剤感受性について。第54回日本産科婦人科学会(東京)H14,4,6-9

豊木廣,藤本次良,青木生美,長谷光洋,玉舎輝彦:卵巣癌とくに腹膜播種巣に対する新しい治療戦略としての腫瘍休眠療法の開発。第54回日本産科婦人科学会(東京)H14,4,6-9

古井辰郎,今井篤志,飯田晃司,玉舎輝彦:卵巣癌細胞におけるゴナドトロピン放出因子(GnRH)受容体活性化とリゾホスファチジン酸(LPA)分解酵素の細胞内局在の再分布。第54回日本産科婦人科学会(東京)H14,4,6-9

高橋誠治,平野聡子,田上慶子,丹羽憲司,伊藤直樹,玉舎輝彦:ダイオキシン類の顆粒膜細胞のサイトカイン産生への影響。第54回日本産科婦人科学会(東京)H14,4,6-9

高橋雄一郎,岩垣重紀,中川由美子,川鱒市郎,玉舎輝彦:早期発症型 TTTS の妊娠 20 週以前での診断とその意義について。第 27 回岐阜県未熟児新生児懇話会(岐阜) H14,4,13

三鴨廣繁,安田香子,早崎 容,玉舎輝彦,伊藤邦彦:腹膜炎患者におけるセフォゾブランの抗サイトカイン作用についての検討。第 50 回日本化学療法学会総会(神戸) H14,5,9-11

三鴨廣繁:監視培養によるカンジダ性真菌性腹膜炎の発症予知についての検討。第 50 回日本化学療法学会総会(神戸) H14,5,9-11

三鴨廣繁,玉舎輝彦:岐阜県下の 2 病院から分離された A 群連鎖球菌についての検討。第 50 回日本化学療法学会総会(神戸) H14,5,9-11

三鴨廣繁:婦人科領域における最小侵襲手術時代の感染発症阻止化学療法。第 50 回日本化学療法学会総会(神戸) H14,5,9-11

田上慶子,丹羽憲司,玉舎輝彦:マウス子宮内膜発癌に対する十全大補湯,四物湯の抑制作用と COX-2 発現との関連。第 53 回日本東洋医学会学術総会(名古屋) H14,5,31-6,2

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:腹腔内大量出血症例に対する腹腔鏡下手術の妥当性について。第 4 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H14,6,7

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:救急医療における内視鏡手術の重要性についての検討・当科における緊急腹腔鏡下手術の現状解析から。第 4 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H14,6,7

真鍋修一,河合志乃,中村浩美,竹田明宏:新しいコンピューター制御バイポーラ電気メス(リガシユア・ベッセルシーリングシステム)の使用経験。第 4 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H14,6,7

桑原和男,山際三郎:子宮脱の術式(膣状端仙棘帯固定術)について。第 4 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H14,6,7

篠原有美,平野聡子,中川美紀,山田新尚:当科における TCR の現状。第 4 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H14,6,7

松波和寿,高木 博,野田克己:婦人科手術のクリニカルパス。第 4 回岐阜産婦人科手術管理研究会(岐阜) H14,6,7

藤本次良,青木生美,豊木 廣,玉舎輝彦:子宮内膜癌における腫瘍休眠療法。第 27 回日本外科系連合学会学術集会(岡山) H14,6,21-22

豊木 廣,藤本次良,青木生美,玉舎輝彦:内膜症における growth arrest-specific gene 6 の発現の臨床的意義。第 75 回日本内分泌学会学術総会(大阪) H14,6,28-30

青木生美,藤本次良,豊木 廣,玉舎輝彦:子宮内膜における血管新生とその内分泌関与。第 75 回日本内分泌学会学術総会(大阪) H14,6,28-30

田上慶子,丹羽憲司,伊藤直樹,玉舎輝彦:植物性エストロゲンによる子宮内膜発癌抑制作用と ER- $\alpha$ , $\beta$  の発現との関連。第 75 回日本内分泌学会学術総会(大阪) H14,6,28-30

横山康宏,篠原有美,玉舎輝彦:子宮内膜癌細胞の細胞増殖因子依存性への PTEN の関与。第 75 回日本内分泌学会学術総会(大阪) H14,6,28-30

三鴨廣繁,玉舎輝彦:SSI に関する臨床的検討。第 20 回日本産婦人科感染症研究会学術講演会(東京) H14,6,29

三鴨廣繁,尹 香花,玉舎輝彦:日本人女性の子宮頸管における Mycoplasma genitalium の検出。第 20 回日本産婦人科感染症研究会学術講演会(東京) H14,6,29

篠原有美,平野聡子,中川美紀,山田新尚:妊娠中期に発症した脳卒中合併妊婦の一例。岐阜県産科婦人科学会周産期研究会(岐阜) H14,7,6

中川美紀,平野聡子,篠原有美,山田新尚:羊水除去と羊膜穿破により良好な予後を得た TTTS の一例。岐阜県産科婦人科学会周産期研究会(岐阜) H14,7,6

平野聡子,篠原有美,中川美紀,山田新尚,青木生美:二分脊椎患者の双胎妊娠の一例。岐阜県産科婦人科学会周産期研究会(岐阜) H14,7,6

高橋雄一郎,岩垣重紀,中川由美子,川鱒市郎,玉舎輝彦:妊娠 10 週代における早期発症型双胎間輸血症候群のスクリーニングによる重症化予防の可能性・岐阜大学プロトコル。岐阜県産科婦人科学会周産期研究会(岐阜) H14,7,6

中西順子,廣瀬玲子,山本和重,伊藤邦彦:妊娠後期に服毒自殺によって昏睡状態に陥った妊婦の一例。岐阜県産科婦人科学会周産期研究会(岐阜) H14,7,6

高木 博,松波和寿,野田克己:脊髄麻酔における使用薬・針の検討。岐阜県産科婦人科学会周産期研究会(岐阜) H14,7,6

藤本次良,青木生美,豊木 廣,佐藤英理子,玉舎輝彦:子宮内膜癌における血管新生と内分泌関与。第 1 回日本婦人科がん分子標的研究会学術集会(加賀) H14,7,12-13

横山康宏,唐 柳林,篠原有美,玉舎輝彦:子宮内膜癌細胞の細胞増殖因子依存症への PTEN の関与。第 1 回日本婦人科がん分子標的研究会学術集会(加賀) H14,7,12-13

高橋雄一郎,中川由美子,岩垣重紀,川鱒市郎,玉舎輝彦:妊娠 14 週の早期発症型 TTTS の一診断例・TTTS の発症予防は可能か?。第 38 回日本新生児学会総会(神戸) H14,7,14-16

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:救急医療における内視鏡手術の重要性についての検討・当科における緊急腹腔鏡下手術の現状解析から。第 42 回日本産科婦人科内視鏡学会(東京) H14,8,1

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:腹腔鏡下手術後に妊娠に至った非交通性副角子宮/同側卵巢チョコレート嚢胞を伴った単角子宮合併不妊症の一症例。第42回日本産科婦人科内視鏡学会(東京)H14,8,2

古井辰郎,今井篤志,杉山三知代,孫文壘,玉舎輝彦:ゴナドトロピン放出因子(GnRH)による卵巣癌増殖因子(OCAF/LPA)分解酵素の局在変化。第3回ホルモンと癌研究会(仙台)H14,8,2-3

篠原有美,平野聡子,中川美紀,山田新尚:ECUM(体外限外濾過法)を化学療法に併用した絨毛癌の一症例。第8回岐阜ホルモンと婦人科疾患研究会(岐阜)H14,9,1

久保真,矢田啓二:当科における子宮内膜症の腹腔鏡下手術の現況・チョコレート嚢腫,特に挙児希望例を中心として。第8回岐阜ホルモンと婦人科疾患研究会(岐阜)H14,9,1

竹田明広,真鍋修一,細野覚代,中村浩美:子宮筋腫に対する子宮全摘術施行症例の検討・特に術前GnRHアナログ投与の有用性について。第8回岐阜ホルモンと婦人科疾患研究会(岐阜)H14,9,1

木村こずえ,山田新尚:多胎妊婦の要望についての検討。第43回日本母性衛生学会(旭川)H14,9,6

佐藤泰昌,古田典夫:更年期のしびれに対する漢方治療経験。第22回産婦人科漢方研究会(旭川)H14,9,8

丹羽憲司,連増林,高景春,田上慶子,玉舎輝彦:子宮内膜癌におけるCOX-2の過剰発現と甘草エキス,十全大補湯の抑制作用との関連。第22回産婦人科漢方研究会(旭川)H14,9,8

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:腹腔鏡下手術後に妊娠に至った非交通性副角子宮/同側卵巢チョコレート嚢胞を伴った単角子宮合併不妊症の一症例。第111回東海産科婦人科学会(名古屋)H14,9,15

二宮望祥,丹羽憲司,成川希,田上慶子,玉舎輝彦:若年性子宮体癌温存症例11例の長期的転帰。第111回東海産科婦人科学会(名古屋)H14,9,15

矢野竜一郎,高橋雄一郎,川鱈市郎,玉舎輝彦:18トリソミが疑われる胎児ジストレスの管理方針(産科における看取りか,緊急帝王切開術か?)。第111回東海産科婦人科学会(名古屋)H14,9,15

牧野弘,高橋雄一郎,岩垣重紀,川鱈市郎,玉舎輝彦:胎児横隔膜弛緩症のMRI所見。第111回東海産科婦人科学会(名古屋)H14,9,15

山本和重,平工由香,中西順子,伊藤邦彦:パイポラーカッピングフォーセプス(パイコアグR)の使用感について。第15回日本内視鏡科学会総会(東京)H14,9,19

横山康宏,玉舎輝彦:PTEN遺伝子導入による増殖因子感受性の亢進とその機序。第61回日本癌学会総会(東京)H14,10,1-3

連増林,丹羽憲司,高景春,田上慶子,玉舎輝彦:マウス子宮内膜癌におけるアスピリンによる抑制作用。第61回日本癌学会総会(東京)H14,10,1-3

藤本次良,青木生美,豊木廣,佐藤英理子,玉舎輝彦:子宮内膜癌における血管新生と新しい治療戦略。第61回日本癌学会総会(東京)H14,10,1-3

山際三郎:温泉と妊娠,分娩。第47回日本不妊学会学術講演会(岐阜)H14,10,2-4

藤本次良,青木生美,豊木廣,佐藤英理子,玉舎輝彦:子宮頸部進行癌の新しい治療戦略・腫瘍休眠療法の開発。第40回日本癌治療学会総会(東京)H14,10,16-18

丹羽憲司,田上慶子,伊藤直樹,玉舎輝彦:直腸/膀胱浸潤を有する進行子宮頸癌に対する治療法の選択と長期予後。第40回日本癌治療学会総会(東京)H14,10,16-18

山本和重,平工由香,中西順子,伊藤邦彦:パイポラーカッピングフォーセプス(パイコアグR)の使用感について。第4回東海産婦人科内視鏡懇話会(名古屋)H14,10,19

山本和重,平工由香,中西順子,伊藤邦彦:腹腔鏡下広汎子宮全摘/骨盤リンパ節廓清手術4症例の経験。第8回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H14,11,1

中川美紀,平野聡子,篠原有美,山田新尚:大量の血性腹水を伴った子宮内膜症の1例。第8回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H14,11,1

豊木廣,横山康宏:Sertoli-Leydig cell tumorの一例。第8回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H14,11,1

篠原有美,平野聡子,中川美紀,山田新尚:卵巣腫瘍と思われた腹膜原発serous papillary adenocarcinomaの一例。第8回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H14,11,1

中川美紀,平野聡子,篠原有美,山田新尚:大量の血性腹水を伴った子宮内膜症の一例。第8回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H14,11,1

早崎容,荒堀憲二,藤本次良:当科で経験した,広汎子宮全摘術後,難治性リンパ瘻の一例。第8回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H14,11,1

細野覚代,真鍋修一,中村浩美,竹田明広:卵巣癌を合併した皮膚筋炎の一症例。第8回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H14,11,1

山本和重,平工由香,中西順子,伊藤邦彦:腹腔鏡下広汎子宮全摘/骨盤リンパ節廓清術4症例の経験。第8回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H14,11,1

田上慶子,丹羽憲司,伊藤直樹,玉舎輝彦:婦人科癌化学療法における悪心・嘔吐に対するグラニセトロン単独療法とステロイド併用療法の比較-The functional living index-emesis調査表を用いたクロスオーバー法による検討-。第8回岐阜婦人科癌治療研究会(岐阜)H14,11,1

田上慶子,丹羽憲司,玉舎輝彦:子宮内膜癌における COX-2 の発現と甘草エキス,十全大補湯の抑制作用との関連。第 32 回日本東洋医学会東海支部学術総会(名古屋) H14,11,10

樋口真琴,山田新尚:切迫早産妊婦に対する妊婦中および分娩後の看護の検討。第 41 回全国自治体病院学会(静岡) H14,11,14

鈴木美砂子,山田新尚:地域中核病院における心理的援助のあり方。第 41 回全国自治体病院学会(静岡) H14,11,14

古井辰郎:大学の立場。第 14 年度女性のための公開講座(岐阜) H14,11,16

松波和寿,高木 博,野田克己:ART におけるヒューナーテストの意義。第 14 回岐阜不妊内分泌研究会(岐阜) H14,11,16

山本和重,平工由香,中西順子,伊藤邦彦:腹腔鏡下手術後に妊娠に至った非交通性副角子宮/同側卵巣チョコレート嚢胞を伴った単角子宮合併不妊症の一症例。第 14 回岐阜不妊内分泌研究会(岐阜) H14,11,16

松波和寿,高木 博,野田克己:原因不明不妊症におけるヒューナーテストの意味。第 14 回岐阜不妊内分泌研究会(岐阜) H14,11,16

古井辰郎,今井篤志,矢野竜一郎,中川由美子,玉舎輝彦:高テストステロン血症を示した妊婦の一例。第 14 回岐阜不妊内分泌研究会(岐阜) H14,11,16

篠原有美,平野聡子,中川美紀,山田新尚:悪性腫瘍が疑われる非典型的経過をたどった子宮内膜症の治療経験。第 14 回岐阜不妊内分泌研究会(岐阜) H14,11,16

中川美紀,平野聡子,篠原有美,山田新尚:28 週未満の分娩例における産科管理と児の予後。第 28 回岐阜県未熟児新生児懇話会(岐阜) H14,11,16

高橋雄一郎,岩垣重紀,中川由美子,川鱈市郎,玉舎輝彦:岐阜県の周産期の現状・岐阜県全域の産科医へのアンケート結果から。第 28 回岐阜県未熟児新生児懇話会(岐阜) H14,11,16

松波和寿,高木 博,野田克己:手術式のパス形式への展開の試み。第 3 回クリニカルパス学会(岐阜) H14,11,22

山本和重,中西順子,廣瀬玲子,伊藤邦彦:腹腔鏡下手術における当科の工夫・子宮把持器ストッパーの試作。第 25 回日本産婦人科手術学会(東京) H14,11,30

田上慶子,丹羽憲司,伊藤直樹,玉舎輝彦:ダイオキシンのマウス子宮に及ぼす影響。第 7 回日本生殖内分泌学会(大阪) H14,12,5

二宮望祥,三嶋廣繁,伊藤邦彦,玉舎輝彦:クラミジア子宮頸管炎の治療効果判定時期についての検討。日本化学療法学会(広島) H14,12,5-6

三嶋廣繁,二宮望祥,玉舎輝彦:クラミジア性咽頭炎についての調査結果報告。日本感染症学会(福岡) H14,12,7-8

佐藤泰昌,古田典夫:中年女性のしびれに対する漢方治療経験。第 11 回日本東洋医学会東海支部岐阜県部会(岐阜) H14,12,14

丹羽憲司,連 増林,田上慶子,高 景春,玉舎輝彦:子宮内膜癌における COX-2 発現と十全大補湯による抑制作用。第 11 回日本東洋医学会東海支部岐阜県部会(岐阜) H14,12,14

丹羽憲司,連 増林,田上慶子,高 景春,玉舎輝彦:子宮内膜癌,内膜増殖症における COX-2 発現と MPA,アスピリン併用療法。第 3 回岐阜婦人科癌化学療法研究会(岐阜) H14,12,14

山本和重,平工由香,中西順子,伊藤邦彦:パイポラーカッピングフォーセプス(パイコアグR)の使用感について。第 8 回岐阜内視鏡外科研究会(岐阜) H14,12,14

山本和重,平工由香,中西順子,伊藤邦彦:腹腔鏡下手術後に妊娠に至った非交通性副角子宮/同側卵巣チョコレート嚢胞を伴った単角子宮合併不妊症の一症例。第 8 回岐阜内視鏡外科研究会(岐阜) H14,12,14

山本和重,平工由香,中西順子,伊藤邦彦:腹腔鏡下手術における当科の工夫・子宮把持器ストッパーの試作。第 8 回岐阜内視鏡外科研究会(岐阜) H14,12,14

山本和重,平工由香,中西順子,伊藤邦彦:卵巣嚢腫核出後の縫合法についての一考察・死腔縫合は,はたして必要なのか。第 8 回岐阜内視鏡外科研究会(岐阜) H14,12,14

山本和重,平工由香,中西順子,伊藤邦彦:腹腔鏡下広汎子宮全摘/骨盤リンパ節廓清 4 症例の経験。第 8 回岐阜内視鏡外科研究会(岐阜) H14,12,14

丹羽憲司,連 増林,田上慶子,高 景春,玉舎輝彦:卵巣癌治療の変換とその予後因子。第 3 回岐阜卵巣腫瘍研究会(岐阜) H14,12,20

中川美紀,平野聡子,篠原有美,山田新尚:当科における在胎 28 週未満の分娩例の現状。東海産婦人科学会(名古屋) H15,3,2

篠原有美,平野聡子,中川美紀,山田新尚:当科における産科領域の貯血式自己血輸血の試みと現状。東海産婦人科学会(名古屋) H15,3,2

成川 希,高橋雄一郎,川鱈市郎,玉舎輝彦:IVF-ET により妊婦し早期より TTTS を発症した 2 例。東海産婦人科学会(名古屋) H15,3,2

矢野竜一郎,丹羽憲司,田上慶子:上皮性卵巣癌の治療と予後因子。東海産婦人科学会(名古屋) H15,3,2

#### (口腔病態学分野)

国内学会等:講演 11 題,シンポジウム 4 題,一般演題 58 題(当分野関連病院所属の者が筆頭演者のもの 17 題,他施設・他分野/講座所属の者が筆頭演者のもの 4 題を含む)

国際学会：一般演題 4 題（他施設・他分野 / 講座所属の者が筆頭演者の演題 1 題を含む）

（免疫病理学分野）

（国内）：Takashi Nakayama, Masanao Saio, Ying Liu, Yilin Li, Hai Yu, Hiromichi Ando, Naoyuki Ohe, Tomoo Sato, Hiroyasu Akatsu, Miyuki Kinebuchi, Margit Balazs, Roza Adany, Tsuyoshi Takami : Studies on Alzheimer's Disease by Immunohistochemistry, In Situ Hybridization, and Comparative Genomic Hybridization. 23rd International congress of IAP NAGOYA October 16 2000

玉川紀之, 安藤弘道, 齊尾征直, 大江直行, 矢野大仁, 篠田 淳, 坂井 昇: B7.1 導入腫瘍細胞を用いた頭蓋内抗腫瘍免疫応答の解析. 第 10 回日本脳腫瘍カンファレンス 2001 年 12 月 24 日大分

（国外）：Radoja S, Saio M, Vukmanovic S and Frey A. B : Murine CD8+ tumor infiltrating T-cells have defective perforin-mediated cytotoxic activity despite the normal function of Mitogen activated Protein Kinase / Extracellular Regulatory Kinase 2 and Phosphatidylinositol 3-Kinase. FASEB Summer Research Conferences: signal Transduction in the Immune System. 2000 Sxton's River, Vermont, USA

Masanao Saio, Sasa Radoja, Alan B. Frey : Tumor-infiltrating macrophages induce apoptosis in activated CD8+ T cells by a mechanism requiring cell contact and mediated by the cell-associated form of Tumor Necrosis Factor-alpha. Cancer Research Institute 2000 New York, USA

Alan B. Frey, Masanao Saio, Sasa Radoja : Tumor-infiltrating macrophages induce apoptosis in activated CD8+ T cells by a mechanism requiring cell contact and mediated by the cell-associated form of Tumor Necrosis Factor-??? The annual meeting of the American association of immunologists. March 31 to April 4, 2001 Orlando, Florida, USA

Hisashi Tsurumi, Michio Sawada, Toshiki Yamada, Takeshi Hara, Kenji Fukuno, Hideko Goto, Senji Kasahara, Hideko Goto, Masami Oyama, Tsuyoshi Takami, Hisataka Moriwaki : THP-COP regimen in the treatment of elderly patients with aggressive non-Hodgkin's lymphoma - Phase II study-. The 29th World Congress of the International Society of Hematology. August 25-28 2002 Seoul, Korea

（感染制御学分野）

高橋 優三 日本寄生虫学会（評議員 継続中），日本臨床寄生虫学会（評議員 継続中），日本医学教育学会（評議員 継続中）日本衛生動物学会西日本支部（幹事 継続中），International Trichinellosis Committee（Active Member），Parasitology（Editorial Board），長野 功 日本寄生虫学会（評議員 継続中）

（小児病態学分野）

教授 近藤直実：日本小児科学会（評議員，1996-，代議員，2002-2004，施設認定指導責任医，1995-），日本アレルギー学会（理事 2002-2005，評議員，1986-，指導医，1991-，専門医，1991-，認定医，1989-），日本アレルギー学会認定施設（1991-），日本小児アレルギー学会（評議員，1993-，理事，1994-1997,1999-2002,2002-2005，治療・管理ガイドライン委員会，2001-，食物アレルギー委員会，1999-），日本小児科学会東海地方会（幹事，1995-，理事，1997-），日本人類遺伝学会（評議員，1997-，指導医，1995-，認定医，1994-），日本人類遺伝学会臨床遺伝学認定医制度研修施設認定（1991-），日本小児遺伝医学会（幹事，1997-），日本小児科学会（認定医試験（出題担当）委員，1997-，中部地区資格認定委員会委員，2003-2005），日本アレルギー学会（認定医，認定専門医試験問題作成委員，1997-1999,1999-2001，将来計画委員，2000-2005，国際交流委員，2001-2005，資格審査委員，1999-2003，教育研修委員会副委員長，2003-2005），日本ムコ多糖症研究会（幹事，1997-），日本遺伝子診療学会（評議員，1999-2000,2000-2002），日本小児保健協会（評議員，1998-），日本アレルギー協会（評議員，1999-，理事，2000-，国際交流基金運営委員，2000-，会誌委員，2002-）

助教授 下澤伸行：日本小児科学会（専門医，代議員），日本人類遺伝学会（専門医，指導医），日本小児神経学会（専門医），小児遺伝学会

講師 金子英雄：日本小児科学会（専門医），日本アレルギー学会（評議員，認定医），日本血液学会（専門医）

講師 深尾敏幸：日本小児科学会（専門医，1990-），日本人類遺伝学会（専門医，1994-，指導医，1996-，評議員，2003-），日本先天代謝異常学会（評議員，2003-），日本アレルギー学会（認定医，2003-）

伊上良輔：日本小児科学会（専門医），日本アレルギー学会（評議員，認定専門医）

加藤善一郎：日本小児科学会（専門医），日本人類遺伝学会（専門医，指導医），日本小児神経学会（専門医）

寺本貴英：日本小児科学会（専門医）日本アレルギー学会（評議員，認定専門医 2003-）

磯貝光治：日本小児科学会（専門医），（財）骨髓移植推進財団 調整医師 小児白血病研究会（JACLS）運営委員 小児白血病研究会（JACLS）ALL 小委員会委員 中部小児がんトータルケア研究会 幹事 東海小児造血幹細胞移植研究会 世話人 東海小児血液懇話会 世話人 東海小児がん研究会神経芽腫委員会 委員 東海血液フォーラム 幹事（財）東海骨髓バンク 運営委員 岐阜血液疾患研究会 世話人 岐阜小児血液腫瘍研究会 世話人

松井永子：日本小児科学会（専門医 1998-），日本アレルギー学会（評議員，認定医 2003-）

折居建治：日本小児科学会（専門医）

中村こず枝：日本小児科学会（専門医）麻酔科標榜医

青木美奈子：日本小児科学会（専門医）

（皮膚病態学分野）

第 25 回日本研究皮膚科学会総会・学術大会（2000 年 9 月 1 日 -2 日，岐阜グランドホテル，北島康雄），第 3 回ポスト

コンgres JSID フォーラム (2000年9月2日-3日, 岐阜グランドホテル, 北島康雄), 第53回日本皮膚科学会中部支部総会・学術大会 (2002年9月15日-16日, 岐阜グランドホテル, 北島康雄), 第222回日本皮膚科学会東海地方会 (2002年12月8日, 愛知県医師会館, 北島康雄)

北島康雄: 日本皮膚科学会理事, 日本皮膚科学会学術委員会委員長, 日本乾癬学会理事, 日本皮膚悪性腫瘍学会理事, 日本研究皮膚科学会理事長 (2000年まで), 日本研究皮膚科学会監事 (2001年から), 国際研究皮膚科学会プログラム委員, 日本真菌学会評議員, 日本皮膚科学会中部支部学術大会会長 (2002年), J. Dermatological Science 編集委員, J. Dermatology 編集委員, 厚生労働省特定疾患稀少皮膚難治性疾患・班長, 厚生労働省悪性黒色腫研究班・研究協力者, 厚生労働省アトピー性皮膚炎調査研究班・研究協力者

( 麻酔・蘇生学分野 )

教授 土肥修司: 日本麻酔科学会 (評議員, 1989-), 日本集中治療学会 (評議員・倫理委員長 1989-), 日本麻酔・薬理学会 (理事, 1993-), 日本ペインクリニック学会 (理事・評議員, 1997-), 日本臨床モニター学会 (評議員, 1995-), 日本臨床麻酔学会 (理事・評議員, 1995-), 日本蘇生学会 (理事・評議員, 1995-), 日本手術部医学会 (評議員, 1995-), 日本循環制御医学会 (評議員, 1996-)

( 疫学・予防医学分野 )

教授 清水弘之: 日本公衆衛生学会 (評議員, 1994 -), 日本衛生学会 (評議員, 1989 -), 日本疫学会 (評議員, 1991 -), 日本がん疫学研究会 (幹事) 日本癌学会 (評議員, 1994 -), 助教授 永田知里: 日本がん疫学研究会 (幹事, 2000 -)

( 法医学分野 )

教授 大谷 勲: 5th International Symposium on Advances in Legal Medicine (会長, 1999 - 2002), 日本法医学会 (評議員, 継続中), 日本賠償科学会 (評議員, 継続中), 日本鑑識科学技術学会 (評議員, 継続中, 副理事長, 2000 - 継続中)  
教授 武内康雄: 日本法医学会 (評議員, 継続中), 法医病理研究会 (運営委員, 継続中)  
助手 永井 淳: 日本毛髪美容学会 (評議員, 継続中)  
教授 武内康雄: 法医病理 (編集委員長)

( スポーツ医科学分野 )

研究成果は日本体力医学会を中心に, 臨床スポーツ医学会などに研究成果の発表を行い, 海外の論文にも積極的に投稿している。また, 県におけるスポーツ医科学に関する研究会や講習会などに積極的に参加し, スポーツ医科学の啓蒙を行っている。

( 臨床検査医学分野 )

(1) 学術学会の役員, 委員等: 教授 清島 満: 日本臨床検査医学会 (評議員, 1996-, 臨床化学専門部会委員長, 2001-), 日本動脈硬化化学会 (評議員, 1996-), 日本臨床化学会 (評議員, 1997-), 日本臨床検査自動化学会 (評議員, 1996-), 日本臨床代謝学会 (評議員, 1997-), 日本臨床検査医学会東海・北陸支部長 (2002-), 日本臨床化学会東海・北陸支部長 (2001-2003). 助教授 下川邦泰: 日本臨床検査医学会 (評議員, 1998-), 日本病理学会 (評議員, 1970-), 日本外科病理学会 (プログラム委員会委員, 1996-), 日本食道疾患研究会 (病理組織検討委員会委員, 1998-). 講師 斉藤邦明: 日本トリプトファン研究会 (評議員, 1995-). 助手 藤井秀比古: 日本アレルギー学会 (評議員, 2002-). (2) 学会誌の編集委員等: 教授 清島 満: 臨床検査技師国家試験出題委員 (1999-), 臨床病理 (査読委員), 動脈硬化 (査読委員), Ann Clin Biochem (査読委員), Biochim Biophys Acta (査読委員), 医療と検査機器・試薬 (編集同人). 講師 斉藤邦明: Brain Research (査読委員), J Neurochemistry (査読委員), J Histochem Cytochem (査読委員), Ann Clin Biochem (査読委員). (3) 学会等の主催: 第5回日本外科病理学会学術総会 (2000年10月21-22日, 岐阜, 下川邦泰). 第44回食道色素研究会 (2000年11月23日, 岐阜, 下川邦泰)

( 放射線・腫瘍・画像医学分野 )

教授 星 博昭: 日本医学放射線学会 (専門医, 1984-; 評議員, 1993; 専門医認定委員, 1995-), 日本医学放射線学会・中部地方会 (世話人, 1995-), 日本医学会 (認定医, 1990-; 評議員, 1993-), 日本核医学界・中部地方会 (世話人, 1995-), 北関東医学会 (評議員, 1995-), 断層映像研究会 (評議員, 1997-), 日本画像医学会 (評議員, 1998-), 日本心臓核医学会 (評議員, 1998-), 電子医療情報フォーラム (評議員, 1999-), 脳神経核医学研究会 (世話人, 1999-)  
助教授 松井英介: 日本気管支学会 (評議員, 1993-; 監事, 1996-), 日本気管支学会・中部支部会 (評議員, 1993-), 日本肺癌学界 (評議員, 1993-; 気管支鏡所見分類委員, 1986-), 中部肺癌学会 (評議員, 1993-), 日本がん検診断学会 (評議員, 1998-), 日本気胸学会 (評議員, 1998-), 日本気管支学会 (気管支鏡指導医, 1999-), 日本呼吸器学会 (専門医, 1995-), 11th  
助教授 後藤裕夫: 日本医学放射線学会・中部地方会 (世話人, 2000-), 日本消化器集団検診学会 (評議員, 1993-)  
助教授 兼松雅之: 日本医学放射線学会 (代議員, 2002-), 日本血管造影・インターベンショナルラジオロジー学会 (評議員, 2000-), 国際 MR 医学会 (ISMRM, Journal of Magnetic Imaging 登録査読員, 2000-), 日本肝動脈塞栓療法研究会 (世話人, 1997-), 腹部放射線研究会 (世話人, 1999-), 臨床画像 メジカルビュー社 (編集協力委員, 2002-)  
講師 桐生拓司: 日本気管支学会 (気管支鏡指導医, 2000-), 地方じん肺 (診査医, 2001-), 日本医学放射線学会 (専門医, 2001-), 日本肺癌学会 (評議員, 2003-), 胸部放射線研究会 (世話人 2002-), 日本呼吸器学会 (専門医, 1995-), 日本内科学会 (専門医, 1993-), 胸部 X 線診断を語る会 (世話人, 2001-), 講師 林 真也: 日本医学放射線学会 (専

門医, 1994-), 日本放射線腫瘍学会(認定医, 1999-, プログラム委員 2003-), 東海放射線腫瘍研究会(世話人, 1999-), 東海放射線治療研究会(世話人, 2002-)

(産業衛生学分野)

助教授 井奈波良一: 日本衛生学会(評議員, 継続中), 日本産業衛生学会(評議員, 継続中), 日本民族衛生学会(評議員, 継続中), 日本温泉気候物理医学会(評議員, 継続中)

(東洋医学講座(ツムラ))

赤尾清剛 関節リウマチに対する鍼灸治療の多施設ランダム化比較試験 背景因子と治療効果について

2003, 3月, 第47回日本リウマチ学会総会

2003, 4月, 第54回日本東洋医学会学術学会

2003, 6月, 第52回全日本鍼灸学会学術大会

(遺伝子治療再生医学講座(フェロー))

小財健一郎 Mario Boni Award 2001(第4回米国・カナダ・欧州・日本合同整形外科基礎学会/欧州整形外科学会 2001年度最優秀賞)(Rhodes, Greece) Adenovirus-mediated interleukin-2 gene transduction only into the primary tumor inhibits lung metastasis of osteosarcoma; Direct evidence in animal models reflecting clinical pathology 6.1-2(2001)

(組織・器官形成統御部門)

2000年7月から2003年3月まで

国内学会発表 34回

国際学会発表 10回

講演その他 20回(国内の大学及び研究機関)

(高次神経・反射部門)

川島卓: 日本生理学会(評議員)

(微生物・バイオインフォマティクス部門)

教授 江崎孝行: 日本細菌学会(評議員, 2000-2002), 日本細菌学会(用語委員, 1996-), 日本細菌学会(パイオハザード委員, 1996-2003), 日本臨床微生物学会(監事, 2001-2003), 日本環境感染学会(評議員, 1996-), 日本感染症学会(評議員, 1996-), International Committee on Systematic Bacteriology (1996-2003), 裁定委員 Judicial committee of International Committee on Systematic Bacteriology (2002-), 命名小委員会 Subcommittee of the Taxonomy of Staphylococcus and Streptococcus (1996-2003), 日米コレラ専門部会(会員, 1997-), 遺伝子診療学会(評議員, 1996-), 河村好章: 日本臨床微生物学会(評議員, 2001-), 学会-研究会主催, 第12回日本臨床微生物学会 2001年, 第37回日本細菌学会中部支部総会 2000年, 第21回微生物分類研究会 2001年, 第10回 Lancefield レンサ球菌研究会 2001年

(生命機能分子設計部門)

T. Ishikawa, M. Tien Kuo, K. Furuta, M. Suzuki, "MRP Gene Family: From Biological Function to Drug Molecular Design", IFCC-Roche Conference, Kyoto, April 16-19, 2000. Human Genomics, The Basis of the Medicine of Tomorrow "Validating and Using Pharmacogenomics", April 16-19, Kyoto (2000)

H. Doi, M. Suzuki, M. Bjorkman, B. Langstrom, Y. Watanabe, R. Noyori, "Realization of high coupling efficiency in the rapid Stille methylation for the synthesis of 11C-labeled tolylisocarbacyclins toward the in vivo investigation of a IP2 receptor in a human brain", 2000 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2000), December 15, Hawaii, USA (2000)

T. Hosoya, H. Aoyama, T. Ikemoto, Y. Kihara, M. Endo, M. Suzuki, "An azido-functionalized dantrolene derivative as an efficient probe for photoaffinity labeling in the study of molecular mechanism of excitation-contraction coupling in the skeletal muscle", 2000 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2000), December 16, Hawaii, USA (2000)

K. Tomokiyo, K. Furuta, T. Satoh, Y. Watanabe, M. Suzuki, "Designed prostaglandins exerting nerve protective effects (1): Promotion of neurite outgrowth", 2000 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2000), December 16, Hawaii, USA (2000)

K. Furuta, K. Tomokiyo, T. Satoh, Y. Watanabe, M. Suzuki, "Designed prostaglandins exerting nerve protective effects (2): Prevention of neuronal cell death", 2000 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2000), December 16, Hawaii, USA (2000)

H. Koyama, M. Suzuki, R. Noyori, "The effect of dimethylzinc on alkylation of lithium enolates", 2000 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2000), December 17, Hawaii, USA (2000)

M. Suzuki, "Designed Probes with Novel Bio-functions", UPPSALA UNIVERSITY PET CENTRE 10th Anniversary with a symposium on PET IN DRUG DEVELOPMENT, August 15-19, Uppsala, Sweden (2001)

Y. Sasaki, M. Ikenoya, N. Yamamoto, M. Suzuki, H. Hidaka, "NOVEL AND SPECIFIC Rho-KINASE INHIBITOR, H1152P, DIRECTED AGAINST THE Rho-KINASE INVOLVED PATHWAY", IPK'2001 2nd international conference on Inhibitors of Protein Kinases, September 9-15, Warsaw, POLAND (2001). CELL. BIOL. MOL. LETT. 6, 506 (2001)

Y. Watanabe, K. Takahashi, H. Engler, M. Bjorkman, K. Kato, H. Doi, T. Hosoya, Yu. Watanabe, M. Fredrikson, R. Noyori, M. Suzuki, B. Langstrom, "PET IMAGING OF CNS-TYPE PROSTACYCLIN RECEPTOR IN THE HUMAN AND MONKEY

BRAIN", New Perspectives of Receptor Imaging by PET: A Satellites Symposium for 8th International Conference on Functional Mapping of the Human Brain, June 1 (2002)

T. Hosoya, O. Yamada, Y. Kondo, K. Komori, M. Wakao, H. Koyama, M. Suzuki, "Efficient synthesis to supply TIC derivatives with antiapoptotic activity", INTERNATIONAL CONFERENCE ON FATIGUE SCIENCE, June 9-11, Sandhamn, Sweden (2002)

M. Suzuki, K. Furuta, H. Doi, K. Kato, T. Hosoya, Yu. Watanabe, T. Satoh, Y. Cui, Y. Kataoka, M. Bjorkman, H. Takamatsu, H. Tsukada, M. Nakanishi, R. Noyori, B. Langstrom, Y. Watanabe, "Design of novel prostaglandins with antiapoptotic activities", INTERNATIONAL CONFERENCE ON FATIGUE SCIENCE, June 9-11, Sandhamn, Sweden (2002)

Y. Hirata, K. Furuta, M. Suzuki, K. Kiuchi, "Manganese-induced apoptosis is suppressed by NEPP11, a novel inhibitor of the JNK signaling pathway", Society for Neuroscience, 32nd Annual Meeting Abstract, November 2-7, Orlando, USA (2002)

鈴木正昭, 大山倫史, 福永広文, 細谷孝充, 渡辺由美子, 渡辺恭良, 野依良治:「脳内 IP2 受容体へ高結合親和性を有する 15-deoxy-TIC のトリチウム標識化とその活用」, 第 44 回放射化学討論会, 神戸, 9 月 12-14 日 (2000)

細谷孝充, 青山洋史, 池本隆昭, 木原康隆, 遠藤 實, 鈴木正昭:「筋興奮収縮連関解析用特異的分子プローブの設計とその活用」, 特定領域研究「未解明生物現象を司る鍵化学物質」 生物現象の物質科学的理解をめざして 短寿命・希少性の克服 第一回公開シンポジウム, 名古屋, 9 月 27-28 日 (2000)

佐藤託実, 古田享史, 友清圭一郎, 名村尚武, 鈴木正昭, 渡辺恭良:「シクロペンテン型プロスタグランジンを基本骨格とした神経栄養因子様低分子化合物の開発」, 第 73 回日本生化学会大会, 横浜, 10 月 11-14 日 (2000)。発表抄録集, 生化学, 72 (8), 930 (2000)

鈴木正昭, 古山浩子, 野依良治:「シクロペンタノンリチウムエノラートのアルキル化および水素交換反応における二量体の重要性」, 日本化学会第 79 春季年会, 神戸, 3 月 28-31 日 (2001)

鈴木正昭:「生体内分子科学:新機能プロスタグランジンの創製と分子イメージング」, 第 1 回岐阜シンポジウム 学術創成研究発足記念, 岐阜, 9 月 13-14 日 (2001)

鈴木正昭, 古山浩子, 野依良治:「シクロペンタノンリチウムエノラートの構造および反応性に対する HMPA の効果:二量体の重要性とアルキル化および水素交換反応の分子機構」, 第 48 回有機金属化学討論会 横浜 9 月 18-19 日 (2001)

鈴木正昭, 福永広文, 細谷孝充, 竹内恭子, 野依良治, 渡辺由美子, 渡辺恭良:「中枢神経型プロスタサイクリン受容体 (IP2) の光親和性標識」, 日本化学会第 80 秋季年会, 千葉, 9 月 20-23 日 (2001)

古田享史, 佐藤託実, 渡辺恭良, 鈴木正昭:「神経栄養因子様作用を示す新規プロスタグランジンの合成」, 日本化学会第 80 秋季年会, 千葉, 9 月 20-23 日 (2001)

細谷孝充, 青山洋史, 池本隆昭, 木原康隆, 遠藤 實, 鈴木正昭:「ダントロレン類縁体の高効率合成法:骨格筋興奮収縮連関機構探索プローブの開発」, 日本化学会第 80 秋季年会, 千葉, 9 月 20-23 日 (2001)

鈴木正昭, 土居久志, 加藤孝一, Bjorkman Margareta, Langstrom Bengt, 渡辺恭良, 野依良治:「ヒト脳への適用を目的とした短寿命 11C 含有 PET トレーサー合成のための高速メチル化反応」, 日本化学会第 80 秋季年会, 千葉, 9 月 20-23 日 (2001)

鈴木正昭, 古山浩子, 野依良治:「シクロペンタノンリチウムエノラート:HMPA の効果と反応分子機構」, 日本化学会第 80 秋季年会, 千葉, 9 月 20-23 日 (2001)

細谷孝充, 青山洋史, 鈴木正昭, 池本隆昭, 木原康隆, 遠藤 實:「筋興奮収縮連関解析用特異的分子プローブの設計とその活用」, 日本化学会第 80 秋季年会, 特定領域研究「未解明生物現象を司る鍵化学物質」第 3 回公開シンポジウム, 千葉, 9 月 20-23 日 (2001)

渡辺由美子, 鈴木正昭, Bengt Langstrom, 渡辺恭良:「新規中枢神経型プロスタサイクリン受容体」, 第 24 回日本神経科学・第 44 回日本神経化学合同大会, 京都, 9 月 26-28 日 (2001)

佐藤託実, 中塚大策, 石川保幸, 畠中 寛, 油谷浩幸, 古田享史, 鈴木正昭, 渡辺恭良:「Heme oxygenase-1 の誘導を介した神経栄養因子様低分子化合物による神経細胞生存維持機構」, 第 24 回日本神経科学・第 44 回日本神経化学合同大会, 京都, 9 月 26-28 日 (2001)

鈴木正昭, 細谷孝充, 青山洋史, 池本隆昭, 木原康隆, 遠藤 實, 竹内恭子, 福永広文, 野依良治, 渡辺由美子, 渡辺恭良:「中枢神経系型 PGI2 受容体および骨格筋小胞体からの Ca<sup>2+</sup> 放出制御分子の捕獲・同定のための光親和性標識プローブの開発」, 学術創成研究「生物新機能と創薬をめざす生体内分子科学」第 2 回シンポジウム, 名古屋, 2 月 2 日 (2002)

古田享史, 鈴木正昭, 佐藤託実, 渡辺恭良:「神経栄養因子様作用を示す新規プロスタグランジン類縁体」, 学術創成研究「生物新機能と創薬をめざす生体内分子科学」第 2 回シンポジウム, 名古屋, 2 月 2 日 (2002)

小野木博, 村木倫子, 小泉 順, 細谷孝充, 小泉智信, 古市喜義, 渋谷浩司, 鈴木正昭, 萩原正敏:「合成化合物による選択的スライシングの制御」, 学術創成研究「生物新機能と創薬をめざす生体内分子科学」第 2 回シンポジウム, 名古屋, 2 月 2 日 (2002)

渡辺恭良, 高橋佳代, 渡辺由美子, 崔 翼龍, 片岡洋祐, 佐藤拓巳, 鈴木正昭, 細谷孝充, Bengt Langstrom, 加藤孝一, 土居久志, Margareta Bjorkman, Henry Engler, 野依良治:「中枢神経系型プロスタサイクリン受容体の PET イメージング」, 学術創成研究「生物新機能と創薬をめざす生体内分子科学」第 2 回シンポジウム, 名古屋, 2 月 2 日 (2002) 宮崎 聡, 古田享史, 鈴木正昭, 木内一壽, 平田洋子「ジエン型プロスタグランジン NEPP11 の JNK 経路活性化阻

害によるアポトーシス抑制効果」, 第 75 回日本生化学会大会, 京都, 10 月 14-17 日 (2002)

古田享史, 鈴木正昭, 佐藤拓己, 渡辺恭良, 石川智久, 油谷浩幸, 平田洋子, 木内一壽, 中西 真:「新規シクロペンテノン型プロスタグランジンの創製と機能」学術創成研究「生物新機能と創薬をめざす生体内分子科学」第 3 回シンポジウム, 名古屋, 11 月 25 日 (2002)

井上智晴, 鈴木正昭, 古田享史, 中西 真:「設計エノン型プロスタグランジンによる IKK $\alpha$  および NAK の阻害作用」, 第 25 回日本分子生物学会年会, 横浜, 12 月 11-14 日 (2003)

鈴木正昭,「生体内分子科学: 分子プローブ概念とその展開」, 学術創成研究「生物新機能と創薬をめざす生体内分子科学」第 4 回シンポジウム, 名古屋, 1 月 7-8 日 (2003)

前田将秀, 後藤孝之, 佐藤拓己, 渡辺恭良, 古田享史, 鈴木正昭:「神経保護活性を有する新規 J 型プロスタグランジンの創製」, 日本化学会第 83 春季年会, 東京, 3 月 18-21 日

井上智晴, 後藤孝之, 前田将秀, 中西 真, 古田享史, 鈴木正昭:「設計エノン型プロスタグランジンによる IKK 阻害作用」, 日本化学会第 83 春季年会, 東京, 3 月 18-21 日 (2003)

(知能イメージ情報部門)

藤田廣志:

1998.7 ~ 現在: 日本医用画像工学会・幹事

1998.10 ~ 現在: 日本乳腺甲状腺超音波診断会議・幹事

1999.1 ~ 現在: 医用画像認知研究会・世話人

1999.4 ~ 2003.3: 日本放射線技術学会・常務理事

1999.4 ~ 2001.3: 日本放射線技術学会・表彰委員会委員長

1999.6 ~ 2002.5: 医用画像情報学会・常務理事, 編集委員長

1999.4 ~ 2003.3: 厚生省がん研究助成金 (長谷川班) 共同研究者

1999.6 ~ 2003.3: 厚生省がん研究助成金 (遠藤班) 班員

1999.7 ~ 現在: Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS)・Program Committee member

1999.11 ~ 現在: コンピュータ支援画像診断学会・理事

2000.4 ~ 2002.3: 日本放射線技術学会・学術委員会「マンモグラフィのデータベース作成班」班長

2000.5 ~ 2003.2: 日本放射線技術学会・将来構想特別委員会委員

2000.9 ~ 現在: International Workshop on Digital Mammography (IWDM)・Scientific Committee member

2001.1: JAMIT Frontier 2001 in Okinawa 大会長 (世話人)

2001.3 ~ 現在: 日本医学物理学会・評議員

2001.4 ~ 2003.3: 日本放射線技術学会・学術委員長

2001.5 ~ 2003.5: 電子情報通信学会・医用画像研究専門委員会幹事

2001.5 ~ 2003.5: 日本エムイー学会・評議員

2002.4 ~ 2003.3: 日本放射線技術学会・学術委員会「マンモグラフィ CAD の臨床評価に関する研究班」班長

2002.6 ~ 現在: 医用画像情報学会・総務理事

2002.6 ~ 現在: International Conference on Virtual Systems and Multimedia (VSMM)・Program Committee member

2002.7 ~ 現在: 日本ラジオロジ協会 (JRC)・理事

2002.7 ~ 現在: 日本バーチャルリアリティ学会・第 8 回大会 (岐阜市) 実行委員会委員, プログラム委員長

原 武史:

1999.4 ~ 現在: 日本放射線技術学会・画像分科会委員

1999.4 ~ 現在: 日本放射線技術学会・総務委員会 WWW ページ管理班班員

1999.6 ~ 2003.3: 厚生省がん研究助成金 (長谷川班) 共同研究者

1999.6 ~ 2003.3: 厚生省がん研究助成金 (遠藤班) 共同研究者

1999.6 ~ 現在: 医用画像情報学会・編集委員

2002.6 ~ 現在: 医用画像情報学会・常務理事

(再生応用 (循環器内科学) 部門)

教授 藤原久義: 日本循環器学会 (評議員・財務幹事), 日本内科学会 (評議員), 日本動脈硬化学会 (評議員), 日本臨床生理学会 (評議員), 日本冠疾患学会 (評議員), 日本心不全学会 (理事), 日本臨床薬理学会 (評議員), アメリカ心臓病学会 (Fellow), 日本循環制御医学会 (評議員), 日本臨床心臓病学会 (評議員), 日本心電学会 (評議員)

助教授 湊口信也: 日本循環器学会東海支部 (評議員), 日本循環制御医学会 (評議員), 日本心不全学会 (評議員)

助教授 西垣和彦: 日本心不全学会 (評議員), 日本心血管カテーテル治療学会 (評議員)

講師 竹村元三: 日本循環器学会東海支部 (評議員), 日本内科学会東海支部 (評議員)

(倫理・社会医学部門)

平成 13 (2001) 年 5 月から日本再生医療学会の倫理委員会委員長に就任し, 再生医療における倫理問題等の検討を進めてきた。平成 14 (2002) 年 4 月に開催された第 1 回日本再生医療学会総会では教育講演を行い, 学会会員など参加者に対し, 「再生医療における生命倫理問題について」をテーマに, 再生医科学研究を実施する際の倫理的配慮につい

で啓蒙活動を行った。同様に、日本移植学会では倫理委員会委員（平成 12（2001）年から）、日本遺伝子診療学会では倫理問題委員会委員として、当該分野における生命倫理に関わる諸問題について専門的な立場で意見を述べた。また、専門の医事法ならびにバイオエシックスの研究領域に関しては、下記のとおり（表 1）、所属学会の学術集會に参加し、情報収集などを積極的に行った。

表 1 所属学会一覧

日本社会医療学会会員・理事（H14）	日本医学教育学会（H4）
日本再生医療学会会員（H13）・評議員（倫理委員会委員長）	日本医事法学会会員（H1）
日本 SIDS 学会会員（H13）	日本蘇生学会会員（H1）
防衛法学会通常会員（H11）	日本生命倫理学会正会員（S63）
日本移植学会会員（H10）（平成 12 年より「倫理委員会委員」）	日本保険医学会会員（S62）
日本法医学会会員（H6）	日本私法学会会員（S62）
日本遺伝子診療学会会員（H5）（平成 7 年より「倫理問題委員会委員」）	日本賠償科学学会会員（S59）
日本 DNA 多型学会会員（H5）	日本医療情報学会正会員（S59）

家族性腫瘍研究会（H13）、臍・臍島移植研究会会員（H10）など研究会関係は省略

（輸血部）

学会活動：講師 大塚節子；日本輸血学会評議員（1992-）、日本輸血学会東海支部会幹事（1992-）、日本輸血学会適正委員会 I & A 小委員会委員（1998-）、日本輸血学会輸血療法委員会 I & A 小委員会委員（1999-）、日本アフェレーシス学会中部地方会世話人（1997-）、第 32 回日本輸血学会東海支部会学術集會例会長（1998）、日本血液代替物学会評議員（1999-）、日本輸血学会雑誌査読、認定輸血検査技師制度指定施設（1995-）、輸血医学認定医制度認定施設（2003-）、社会との連携：講師 大塚節子；（財）東海骨髄バンク、運営委員（1989-92）；（財）骨髄移植推進財団 東海北陸地区調整医師（1991-）；岐阜県血液製剤使用適正化懇談会委員（1993-）；岐阜県骨髄移植対策連絡協議会委員（1993-）；東海（地区大学輸血部 / 血液センター）輸血問題懇話会委員（1996-）；岐阜自己血輸血研究会（現岐阜臨床輸血研究会）事務局（1995-）；第 1 回岐阜自己血輸血研究会当番世話人（1995）、第 3 回岐阜自己血輸血研究会当番世話人（1996）；第 6 回岐阜自己血輸血研究会当番世話人（1999）；「第 25 回全国国立大学付属病院輸血部会議」開催（1993）、全国国立大学付属病院輸血部会議 I & A working group chair（1997-）、輸血セミナー開催、1 回 / 年（1999-）

（救急部）

救急部副部長（助教授）森 義雄（日本外科学会認定医、日本外科学会専門医、日本外科学会指導医、日本消化器外科学会認定医、日本胸部外科学会認定医、日本胸部外科学会指導医）、日本外科学会（評議員）、日本移植学会（評議員）、中部外科学会（評議員）、東海外科学会（評議員）、リム・サルベージ研究会（幹事）、日本輸血学会東海支部会（評議員）、日本救急医学会東海地方会（幹事）、身体障害者医学判定囑託医師、岐阜市救急業務高度化専門委員会委員、岐阜市救急医療情報収集装置運用協議会委員、岐阜県保健医療推進医療協議会医療アクセス専門委員会委員、岐阜県広域災害・救急医療情報システム運営委員会委員、岐阜県消防学校非常勤講師、腎移植講演会兼相談会相談員、岐阜県メディカルコントロール協議会委員、岐阜地域メディカルコントロール協議会委員  
救急部助手 加藤雅康（日本脳神経外科専門医）

（総合診療部）

教授 石塚達夫：日本内科学会（専門医、認定医、評議員）、日本内科学会東海支部（評議員）、日本内科学会認定専門医会（評議員）、日本糖尿病学会（指導医、専門医、評議員）、日本糖尿病協会国際委員、日本内分泌学会（評議員、代議員）、日本老年病学会（評議員）、日本病態栄養学会（評議員）、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医、認定専門医  
助教授 森田浩之：日本内分泌学会（代議員）、日本内科学会東海支部（評議員）  
講師 宇野嘉弘：日本内科学会東海支部（評議員）  
教授 石塚達夫：Diabetes Research and Clinical Practice（査読委員）American Journal of physiology, Diabetes, Endocrinology（査読委員）、日本内科学会内科専門医会誌（編集委員）、第 62 回日本糖尿病学会中部地方会（岐阜大学、2001 年 10 月 14 日）、社会との連携、国・地方公共団体の審議会、委員会への参加状況  
教授 石塚達夫：岐阜県健康診断岐阜モデル検討委員会（委員長）

（薬剤部）

教授 片桐義博：日本臨床薬理学会（評議員、1995-）、日本医療薬学会（評議員、1996-）、日本 TDM 学会（評議員、1996-）、日本薬剤学会（評議員、2001-）  
教授 片桐義博：TDM 研究（編集委員）

( 生体支援センター )

- 藤本修平, 池康嘉, 酒巻哲夫, 森下靖雄, 村上啓雄, 紀ノ定保臣, 草野展周, 太田吉夫, 合地明, 高橋優彦, 大前喜央, 杉本篤司, 鬼頭政, 片桐明, 有坂幸夫: 国立大学医学部附属病院共通ソフト「感染症管理システム」の開発. 第22回医療情報学連合大会(第3回日本医療情報学会学術大会)2002年11月14日 福岡
- 村上啓雄: シンポジウム「ICTが有効に機能するために - 今, チーム活動に求められるもの -」ICTチーム活動の紹介. 第4回国立大学医学部附属病院感染対策協議会研修会 2002年12月4日 京都
- 村上啓雄: 呼吸器感染症 - 市中肺炎を中心に. 岐阜市内科会講演会 2003年1月23日 岐阜
- 村上啓雄: エイズ拠点病院医療従事者海外実地研修(サンフランシスコ, 2002.10.19 - 11.3)に参加して. 岐阜県エイズカウンセリング担当者研修会 2003年3月4日 岐阜
- 村上啓雄: 職業感染対策 - アンケートフィードバック. 第7回岐阜院内感染対策検討会 2003年3月8日 岐阜
- 山田俊樹, 鶴見寿, 澤田道夫, 村上啓雄, 森脇久隆, 笠原千嗣, 大山正巳: 造血管悪性腫瘍治療中の肝膿瘍 - 最近経験した真菌性肝脾膿瘍症例を中心に -. 感染症学術講演会 ~ 深在性真菌症の治療をめぐる2003年3月15日 岐阜
- 内藤智雄, 村上啓雄, 森脇久隆: 主題演題 - 劇症肝炎の治療をめぐる最近の展開 「劇症肝炎死亡例における内科的治療法の問題点」. 第88回日本消化器病学会総会 2002年4月17日 旭川
- 村上啓雄: 高齢者施設における感染対策 - アンケートフィードバック. 第5回岐阜院内感染対策検討会 2002年5月25日 岐阜
- 内藤智雄, 内木隆文, 村上啓雄, 森脇久隆: シンポジウム - 劇症肝炎に対する肝移植の適応, 予後および問題点「劇症肝炎予後予測法の再評価」. 第28回日本急性肝不全研究会 2002年6月12日 大阪
- 三鴨廣繁, 村上啓雄, 森脇久隆: 院内感染のアウトブレイク時の対応事例. 第2回岐阜県感染症研究会 2002年6月14日 岐阜
- 村上啓雄: ディスカッション「院内感染対策と医療経済」. 第1回東海感染対策セミナー 2002年7月17日 名古屋
- 村上啓雄: シンポジウム【血管留置カテーテル感染防止への取り組み】4.「栄養管理と感染制御を統合した患者支援」. 第17回東海院内感染対策研究会 2002年8月31日 津
- 村上啓雄: 病院感染対策の基本. 第43回岐阜滅菌業務研究会 2002年9月7日 岐阜
- 岩砂淳平, 内藤智雄, 村上啓雄, 山田俊樹, 安田一朗, 植松孝広, 奥野正隆, 加藤則廣, 森脇久隆: Streptococcus milleri group によると考えられた市中肺炎の1例. 呼吸器感染症学術講演会 2002年9月20日 岐阜
- 村上啓雄: 結核対策 - アンケートフィードバック. 第6回岐阜院内感染対策検討会 2002年9月28日 岐阜
- 村上啓雄: インフルエンザ ~ 最新の話. 岐阜県保険医協会講演会 2002年10月12日 岐阜
- 山田清文, 村上啓雄, 田中優司, 内木隆文, 三輪佳行, 山田泰弘, 永木正仁, 奥野正隆, 加藤則廣, 森脇久隆: 成人の肺炎型Q熱の一例. 第188回日本内科学会東海地方会 2002年10月19日 名古屋
- 内藤智雄, 村上啓雄, 森脇久隆: 主題演題 - 肝炎ウイルス以外の成因による急性肝不全の病態と治療「非A非B型に分類される劇症肝炎の特徴」. DDW-2002(第6回日本肝臓学会大会)2002年10月25日 横浜
- 村上啓雄: 病院感染対策の基本. 第1回岐阜院内感染対策検討会 2000年11月18日 岐阜
- 内藤智雄, 内木隆文, 村上啓雄, 加藤則廣, 森脇久隆: 高齢者における劇症肝炎症例の臨床的検討. 第3回日本高齢消化器医学会議 2001年1月27日 米子
- 三鴨廣繁, 村上啓雄, 森脇久隆: 塩化ベンザルコニウム消毒薬の微生物汚染状況に関する検討. 第16回日本環境感染学会総会 2001年2月23日 東京
- 村上啓雄, 内藤智雄, 内木隆文, 安藤量基, 永木正仁, 加藤則廣, 森脇久隆: 劇症肝炎の予後予測因子についての再検討. 第98回日本内科学会講演会 2001年4月14日 横浜
- 内藤智雄, 村上啓雄, 森脇久隆: 劇症肝炎に対する肝移植適応ガイドラインについての再検討. 第87回日本消化器病学会総会 主題演題 2001年4月20日 東京
- 村上啓雄: 消化器疾患と病院感染対策. 第94回日本消化器病学会東海支部例会 教育講演 2001年6月16日 岐阜
- 澤村治樹, 村上啓雄, 森川秀美, 加藤直樹, 石原哲, 後藤千寿, 岩田尚, 三鴨廣繁, 河村好章, 森脇久隆, 太田浩敏, 後藤清, 清島満: スライドラテックス凝集法によるPBP2'検出キットの有用性について. 第14回臨床微生物迅速診断研究会 2001年6月24日 福岡
- 村上啓雄: 病院感染 - 予防と対策 -. 第10回東海消化器内視鏡消毒研究会 2001年8月25日 岐阜
- 内藤智雄, 内木隆文, 村上啓雄, 森脇久隆, 村上啓雄: 急性肝炎重症型に対するステロイドパルス療法の効果に関する検討. 第4回東海肝病態研究会 2001年9月21日 名古屋
- 村上啓雄: パネルディスカッション「EBMに基づいた医療現場の院内感染対策 1. 医師の立場から」. 第15回東海院内感染対策研究会 2001年10月6日 岐阜
- 村上啓雄: 誤嚥性肺炎 ~ 診断・治療・予防. 岐阜県保険医協会研究会 2000年10月15日 岐阜
- 福島秀樹, 荒木寛司, 伊藤康弘, 芋瀬基明, 三輪佳行, 内藤智雄, 山田泰弘, 村上啓雄, 加藤則廣, 森脇久隆, 長野功, 高橋優三: 大腸内視鏡検査にて発見された鞭虫症の1例. 第111回岐阜感染症談話会 2000年10月16日 岐阜

( 医学教育開発研究センター ( 全国共同利用施設 ) )

学会の役員, 委員等) センター長・教授 高橋優三: 日本医学教育学会 ( 理事 )

教授 鈴木康之：日本小児科学会（代議員），日本医学教育学会（評議員）  
 助教授 丹羽雅之：日本薬理学会（評議員），日本臨床薬理学会（評議員），日本炎症・再生医学会（評議員）  
 助教授 藤崎和彦：日本医学教育学会（理事），日本社会医学会（評議員），日本医療経済学会（幹事），日本家庭医療学会（世話人），日本プライマリケア教育連絡協議会（世話人），日本保健医療行動科学会（副会長），日本医療コミュニケーション学会（会長）  
 学会誌の編集委員等）センター長・教授 高橋優三：Japanese Medical Education Today（編集委員）  
 助教授 藤崎和彦：Japanese Medical Education Today（編集委員）  
 学会等の主催）第3回医学教育セミナーとワークショップ（2001年8月27日-30日，岐阜）  
 第4回医学教育セミナーとワークショップ（2002年5月24日-26日，岐阜）  
 第5回医学教育セミナーとワークショップ（2002年8月26日-28日，大垣）  
 第6回医学教育セミナーとワークショップ（2002年11月16日-17日，岐阜）  
 第7回医学教育セミナーとワークショップ（2003年1月25日-26日，久留米）  
 第2回国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修（2001年11月8日-10日，岐阜）  
 第3回国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修（2002年11月12日-14日，岐阜）

#### 4 本学部における人体解剖の実情

##### 解剖体数

区 分	平成10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
正常解剖収集数	39	30	33	43	40
病理解剖件数	75	64	74	50	54